

国補 三輪小学校 西校舎長寿命化改修建築工事

建築主体工事								
SHEET No	SHEET TITLE	SCALE (A1) (A3)	SHEET No	SHEET TITLE	SCALE (A1) (A3)	SHEET No	SHEET TITLE	SCALE (A1) (A3)
特-01	特記仕様書 (1)	A1:NON A3:NON	A-33	改修 2階平面詳細図 (2)	A1:1/50 A3:1/100	A-73	サイン図 (キープラン・意匠図)	A1:1/2 A3:1/4
特-02	特記仕様書 (2)	A1:NON A3:NON	A-34	改修 2階平面詳細図 (3)	A1:1/50 A3:1/100	A-74	法規チェック図	A1:NON A3:NON
特-03	特記仕様書 (3)	A1:NON A3:NON	A-35	改修 3階平面詳細図 (1)	A1:1/50 A3:1/100	A-75	外壁現状調査図	A1:1/150 A3:1/300
特-04	特記仕様書 (4)	A1:NON A3:NON	A-36	改修 3階平面詳細図 (2)	A1:1/50 A3:1/100	A-76	仮設計画図	A1:1/300 A3:1/600
特-05	特記仕様書 (5)	A1:NON A3:NON	A-37	改修 3階平面詳細図 (3)	A1:1/50 A3:1/100	A-77	仮設詳細図 ポンプ庫・受水槽改修図	A1:1/100 A3:1/200
特-06	特記仕様書 (6)	A1:NON A3:NON	A-38	改修 展開図 (1)	A1:1/50~60 A3:1/100~1/120	A-78	コンクリート造受水槽改修図	A1:1/30 A3:1/60
特-07	工事区分表	A1:NON A3:NON	A-39	改修 展開図 (2)	A1:1/50~60 A3:1/100~1/120			
			A-40	改修 展開図 (3)	A1:1/50~1/60 A3:1/100~1/120			
A-01	案内図・配置図・外構図・概略工程表	A1:1/300 A3:1/600	A-41	改修 展開図 (4)	A1:1/50~1/60 A3:1/100~1/120			
A-02	改修建物求積図・面積表	A1:1/200 A3:1/400	A-42	改修 展開図 (5)	A1:1/50~1/60 A3:1/100~1/120			
A-03	外部仕上表	A1:NON A3:NON	A-43	改修 展開図 (6)	A1:1/50~1/60 A3:1/100~1/120			
A-04	内部仕上表 (1)	A1:NON A3:NON	A-44	改修 展開図 (7)	A1:1/50~1/60 A3:1/100~1/120			
A-05	内部仕上表 (2)	A1:NON A3:NON	A-45	改修 展開図 (8)	A1:1/50~1/60 A3:1/100~1/120			
A-06	1階平面図 (既存・改修)	A1:1/150 A3:1/300	A-46	雑詳細図 (1)	A1:1/5~1/50 A3:1/10~1/100			
A-07	2階平面図 (既存・改修)	A1:1/150 A3:1/300	A-47	雑詳細図 (2)	A1:1/5~1/50 A3:1/10~1/100			
A-08	3階平面図 (既存・改修)	A1:1/150 A3:1/300	A-48	雑詳細図 (3)	A1:1/5~1/50 A3:1/10~1/100			
A-09	屋根伏図 (既存・改修)	A1:1/150 A3:1/300	A-49	雑詳細図 (4)	A1:1/5~1/50 A3:1/10~1/100			
A-10	南面立面図 (既存・改修)	A1:1/150 A3:1/300	A-50	1階建具キープラン	A1:1/150 A3:1/300			
A-11	北面立面図 (既存・改修)	A1:1/150 A3:1/300	A-51	2階建具キープラン	A1:1/150 A3:1/300			
A-12	西面立面図 (既存・改修)・立面図凡例	A1:1/150 A3:1/300	A-52	3階建具キープラン	A1:1/150 A3:1/300			
A-13	解体撤去矩計図 (1)	A1:1/30 A3:1/60	A-53	建具表 (1)	A1:1/50 A3:1/100			
A-14	解体撤去矩計図 (2)	A1:1/30 A3:1/60	A-54	建具表 (2)	A1:1/50 A3:1/100			
A-15	改修矩計図 (1)	A1:1/30 A3:1/60	A-55	建具詳細参考図 (1)	A1:1/20 A3:1/40			
A-16	改修矩計図 (2)	A1:1/30 A3:1/60	A-56	建具詳細参考図 (2)	A1:1/20 A3:1/40			
A-17	解体撤去矩計図 (3)・改修矩計図 (3)	A1:1/30 A3:1/60	A-57	1・2階家具キープラン	A1:1/150 A3:1/300			
A-18	1階天井伏図 (既存・改修)	A1:1/150 A3:1/300	A-58	3階家具キープラン	A1:1/150 A3:1/300			
A-19	2階天井伏図 (既存・改修)	A1:1/150 A3:1/300	A-59	家具詳細図 (1)	A1:1/20 A3:1/40			
A-20	3階天井伏図 (既存・改修)	A1:1/150 A3:1/300	A-60	家具詳細図 (2)	A1:1/20 A3:1/40			
A-21	撤去図 (1) 普通教室・特別支援教室 平詳・展開図	A1:1/30, 1/50 A3:1/60, 1/100	A-61	家具詳細図 (3)	A1:1/20 A3:1/40			
A-22	撤去図 (2) 1階第2理科室 平詳・展開図	A1:1/30, 1/50 A3:1/60, 1/100	A-62	家具詳細図 (4)	A1:1/20 A3:1/40			
A-23	撤去図 (3) 1階第1理科室 平詳・展開図	A1:1/30, 1/50 A3:1/60, 1/100	A-63	家具詳細図 (5)	A1:1/20 A3:1/40			
A-24	撤去図 (4) 1階理科準備室・保健室 平詳・展開図	A1:1/30, 1/50 A3:1/60, 1/100	A-64	家具詳細図 (6)	A1:1/20 A3:1/40			
A-25	撤去図 (5) 2階家庭科室 平詳・展開図	A1:1/30, 1/50 A3:1/60, 1/100	A-65	家具詳細図 (7)	A1:1/20 A3:1/40			
A-26	撤去図 (6) 2階調理室 平詳・展開図	A1:1/30, 1/50 A3:1/60, 1/100	A-66	家具詳細図 (8)	A1:1/20 A3:1/40			
A-27	撤去図 (7) 3階第2音楽室 平詳・展開図	A1:1/30, 1/50 A3:1/60, 1/100	A-67	家具詳細図 (9)	A1:1/20 A3:1/40			
A-28	撤去図 (8) 3階第1音楽室・音楽準備室 平詳・展開図	A1:1/30, 1/50 A3:1/60, 1/100	A-68	家具詳細図 (10)	A1:1/20 A3:1/40			
A-29	改修 1階平面詳細図 (1)	A1:1/50 A3:1/100	A-69	家具詳細図 (11)	A1:1/20 A3:1/40			
A-30	改修 1階平面詳細図 (2)	A1:1/50 A3:1/100	A-70	家具詳細図 (12)	A1:1/20 A3:1/40			
A-31	改修 1階平面詳細図 (3)	A1:1/50 A3:1/100	A-71	家具詳細図 (13)	A1:1/20 A3:1/40			
A-32	改修 2階平面詳細図 (1)	A1:1/50 A3:1/100	A-72	家具詳細図 (14)	A1:1/20 A3:1/40			

※ シール工法 (ひび割れ幅 0.2mm未満) [4.3.8]
・ バテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂
・ 充填工法 (モルタル撤去部 0.25㎡/1ヵ所 以下の場合) [4.3.9]
・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル
・ モルタル塗替え工法 [4.3.10]
塗厚 ※ 図示
塗厚 25mm を超える場合の補強 ※ 行う ・ 行わない ・ 図示
・ アンカーピンニング注入工法 [4.3.11~16]
改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)
7ホトﾞの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 注入量
一般部 指定部 一般部 指定部
・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※ 16 ※ 25 ※ 25ml
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25ml
・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50ml
・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50ml
4 タイル張り仕上げ外壁の改修
既存タイル張りの撤去 [4.4.2~4.4.4]
外壁タイル張り全面 ・ 図示の範囲
撤去範囲 ※ 下地モルタルまで ・ 張付けモルタルまで ・ タイルのみ
材料 [4.4.5]
アンカーピンニング注入工法
・ エポキシ樹脂
・ ポリマーセメントスラリー
アンカーピンの材質
※ ステンレス SUS 304、呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したものと
注入口付アンカーピンニング注入工法
・ エポキシ樹脂
・ ポリマーセメントスラリー
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス SUS 304、呼び径外径 6mm
タイル張替え工法及びタイル部分張替え工法
タイル部分張替え工法用張付け材料
※ ポリマーセメントモルタル
・ 外装タイル接着剤張りの接着剤 (目地詰め ※ 行う ・ 行わない)
タイルの種類
主な用途の 形状寸法 吸水率の区分 うわぐすり 役物 色 再生材の 耐塩性 備考
施工箇所 (mm) I類 II類 III類 施軸無軸 ありなし 標準 特注 適用 適用 ありなし
役物：標準的な曲がり (小口、標準、二丁、屏風) の役物は一体成形とする。
シーリング材
打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系
伸縮調整目地、その他の目地 ※ 変性シリコーン系
※ 樹脂注入工法 [4.4.6]
注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量 (ml/m) 備考
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0 以下 ※ 200~300 ※
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~0.3 未満 ※ 50~100 ※ 40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上~0.5 未満 ※ 100~200 ※ 70
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上~1.0 以下 ※ 150~250 ※ 130
注入材料
※ 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形
コア抜取りによる確認 ※ 行わない
・ 行う (抜取り部の補修方法：)
・ タイル部分張替え工法 [4.4.7]
※ 張替え面積が0.25㎡を超える場合は、タイル張替え工法による
・ タイル張替え工法 [4.4.8]
伸縮調整目地及び、ひび割れ誘発目地
位置 ※ 改修標仕 表4.4.2による ・ 図示
タイルの見本検及び試験張り [4.4.8]
見本検 ・ 行う ※ 行わない
試験張り ・ 行う ※ 行わない
セメントモルタルによるタイル張り [4.4.8]
下地モルタル塗りのコンクリート素地面の地下処理方法
・ 目荒し工法 (改修標仕4.3.10(3)(㉚)による)
下地モルタルの接着剤試験 (・ 行う ・ 行わない) [4.4.8]
壁タイル張りの工法 [4.4.8][表4.4.5]
内外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り
内外装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り
有機系接着剤によるタイル張り [4.4.8]
下地調整材塗りをを行うコンクリート素地面の地下処理方法 [4.4.8]
・ 目荒し工法 (改修標仕4.3.10(3)(㉚)による)

下地調整材塗りの接着剤試験 (・ 行う ・ 行わない) [4.4.8]
壁タイル張りの工法 [4.4.8]
外装タイル ※ 外装タイル接着剤張り
ユニットタイル ※ 外装タイル接着剤張り
目地詰め (※ 行う ・ 行わない) [4.4.8]
・ アンカーピンニング注入工法 [4.4.9~4.4.14]
改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合)
7ホトﾞの本数 (本/㎡) 注入口の箇所数 (箇所/㎡) 充填量 注入量
一般部 指定部 一般部 指定部
・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※ 16 ※ 25 ※ 25ml
・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25ml
・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50ml
・ 注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25ml
・ 注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50ml
5 ⑤ 仕上塗材仕上げ外壁等の改修
③ 薄付け仕上塗材 [4.5.2][表4.5.1]
呼び名 仕上げの形状 工 法
・ 外装薄塗材 Si
・ 砂壁状
・ ゆず肌状 ・ 吹付け
・ ゆず肌状 ・ ロ-う塗り
・ さざ波状
・ 可とう形外装薄塗材 Si
・ 砂壁状
・ ゆず肌状 ・ 吹付け
・ ゆず肌状 ・ ロ-う塗り
・ さざ波状
※ 外装薄塗材 E (見上げ面)
・ 砂壁状
・ ゆず肌状
・ 吹付け
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ こて塗り
・ ゆず肌状 ・ ロ-う塗り
・ さざ波状
・ 着色骨材砂壁状
・ 吹付け
・ こて塗り
・ 可とう形外装薄塗材 E
・ 砂壁状
・ ゆず肌状 ・ 吹付け
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ こて塗り
・ ゆず肌状 ・ ロ-う塗り
・ さざ波状
・ 吹付け
・ 凹凸状
・ 吹付け
・ 砂壁状
・ 吹付け
・ 外装薄塗材 S
・ 砂壁状
・ 吹付け
・ 厚付け仕上塗材 [4.5.2][表4.5.1]
呼び名 仕上げの形状 工 法
・ 外装厚塗材 C
・ 吹放し
・ 凸部処理
・ 吹付け
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ こて塗り
・ 外装厚塗材 Si
・ 吹放し
・ 凸部処理
・ 吹付け
・ 外装厚塗材 E
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ こて塗り
・ 凹凸状
・ ロ-う塗り
・ ひき起こし
・ 吹付け
・ 吹放し
・ 凸部処理
・ 吹付け
・ 平たん状
・ 凹凸状
・ こて塗り
・ 凹凸状
・ ロ-う塗り
・ ひき起こし
④ 可とう形改修用仕上塗材 [4.5.2][表4.5.1][表4.5.2]
呼び名 仕上げの形状 工 法 耐水性 溶媒 外観 上塗材 樹脂
※ 可とう形改修塗材 E
・ 平たん状 ・ ロ-う塗り
・ 1種 ※ 水系
○ つやあり
・ フリル系
・ 可とう形改修塗材 RE
・ さざ波状 ・ ロ-う塗り
・ 2種 ※ 水系
○ つやなし
・ シリル系
・ 可とう形改修塗材 CE
・ ゆず肌状
・ 吹付け
・ 3種
・ フリル系
・ ガリフロン系
・ フッ素系
・ 吹付け

既存塗膜等の除去及び下地処理及び下地調整 [4.5.4][表4.5.4~8]
工 法 処理範囲 下面の補修
・ サンダー工法 ※ 既存仕上面全体
(既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)
4-1又は4-3による
・ 高圧水洗工法 ※ 既存仕上面全体
(既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の劣化部とする)
・ 塗膜はく離剤工法 ※ 既存仕上面全体
・ 水洗い工法 ※ 上記処理範囲以外の既存仕上面全体
下地調整材 [4.5.5]
※ 下地調整塗材 (※C-1 ・ C-2 ・ CM-2
・ ポリマーセメントモルタル
・ 防水形仕上げ塗材主材を使用)
マステック塗材塗り [4.6.2][表4.6.1]
工種 ・ A種 ・ B種
5 ① 改修工法の適用 [5.1.3]
建具の種類 仕上げ工法 撤去工法 適用箇所
○アルミニウム製建具
○鋼製建具
○外部
○内部
・ 鋼製軽量建具
・ ステンレス製建具
※ 建具表による ・ 図示
※ 建具表による ・ 図示
※ 建具表による ・ 図示
※ 建具表による ・ 図示
2 見本の製作等 [5.1.5]
建具見本製作 ・ 行う (建具符号：) ※ 行わない
特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号：) ※ 行わない
3 防犯建物部品 [5.1.7]
・ 適用する (図示) ・ 適用しない
④ アルミニウム製建具 [5.2.2][表 5.2.1]
外部に面する建具
種 別 耐風圧性 気圧性 水密性 枠見込み (mm) 施工箇所
A種 S-4 A-3 W-4 ※ 70 ※ 図示
B種 S-5
C種 S-6 A-4 W-5 100
表面処理 ※ BB-1種 ・ BB-2種 (・ブランク系 ・ ブラック ・ シンナー) [5.2.4][表 5.2.2]
水切板、ぜん板等 ※ 図示による [5.2.5]
結露水の処理方法 ※ 図示による [5.2.4]
防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () [5.2.2]
断熱ドアセット、断熱サッシ ☑ ・ 適用する 断熱性の等級 () [5.2.2]
耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () [5.2.4][表 5.2.2]
屋内建具 [5.2.4][表 5.2.2]
表面処理 ※ BC-1 種又は BB-1 種
・ BC-2 種又は BB-2 種 (・ブランク系 ・ ブラック ・ シンナー)
防虫網の材料 [5.2.3]
網の種類 ※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 (SUS 316)
形 式 ※ 外部可動式 ・ 固定式
6 樹脂製建具 [5.3.2][表 5.3.1]
外部に面する建具
種 別 耐風圧性 気圧性 水密性 枠見込み (mm) 施工箇所
A種 S-4 W-4 ※ 70 ※ 図示
B種 S-5 A-4 W-5
C種 S-6
遮音性能等級 ・ T-1種 ・ T-2種
断熱性能等級 ・ H-4種 ・ H-5種 ・ H-6種 ・ H-7種 ・ H-8種
日射熱取得等級 ・ N-1種 ・ N-2種 ・ N-3種
表面色 ※ 標準色 ・ 特注色 [5.3.4]
7 鋼製建具 [5.1.4]
防火戸の指定 ※ 建具表による [5.1.4]
特定防火設備の戸 ・ 適用する [5.4.4]
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2][表 5.4.1]
耐風圧性 ○ S-4 ・ S-5 ・ S-6 [5.4.2]
防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () [5.4.2]
断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () [5.4.2]
耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () [5.4.2]
片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合の鋼板の厚さ ※ 図示 [5.4.4]
くつずりの仕上 ※ ステンレス鋼板 HL [5.4.4]
8 鋼製軽量建具 [5.5.2]
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2]
防音ドアセット、防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () [5.5.2]
断熱ドアセット、断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () [5.5.2]
耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追随性の等級 () [5.5.2]
片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合の鋼板の厚さ ※ 図示 [5.5.4]
9 ステンレス製建具 [5.6.2]
簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.6.2]
耐風圧性の適用は建具表による [5.6.3]
鋼材の種類
施工箇所 鋼材の種類
屋外 ※ SUS304又はSUS430J1L
屋内 ※ SUS430 ・ SUS304又はSUS430J1L
特定防火設備の戸 ・ 適用あり [表 5.6.1]
表面仕上げ ※ HL程度 ・ 鏡面仕上げ [5.6.4]
曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (補強あり) [5.6.5]
くつずりの仕上 ※ ステンレス鋼板 HL

⑩ 木製建具 [5.7.2][表5.7.1]
建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・ B種 [5.7.2][表5.7.1]
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ [5.7.2]
枠、くつずりの材料 ・ 建具表による [5.7.2]
① アラッシュ戸 [5.7.2][表5.7.2]
表面材の合板の種類
合板の種類 表面材の品質等 備考
○普通合板
接着の程度
※水掛り箇所1類、その他2類以上
・ 面
・ 接着剤による区分 ()
・ 接着剤による区分 ()
・ ()
・ 天然木化粧合板
接着の程度
※水掛り箇所1類、その他2類以上
・ 面
・ 接着剤による区分 ()
・ 接着剤による区分 ()
・ 難燃性による区分 ()
・ ()
・ 特殊加工化粧合板
接着の程度
※水掛り箇所1類、その他2類以上
・ 面
・ 接着剤による区分 ()
・ 接着剤による区分 ()
・ 難燃性による区分 ()
・ ()
・ MDF
表裏面の状態による区分 ()
曲げ強さによる区分 ()
接着剤による区分 ()
難燃性による区分 ()
・ ()
表面材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ [5.7.3]
表面板の厚さ ※表5.7.6による [5.7.3]
引戸の定規線 ・ 召し合せかまちいんろう付きとする [5.7.4]
・ かまち戸 [5.7.2][5.7.3][表5.7.9]
かまち機種 () 鏡板機種 ()
見込み寸法 ※36mm ・ 建具表による
・ ふすま [5.7.2][表5.7.3][5.7.3][表5.7.7][5.7.4][表5.7.10]
種類、工法 ・ I型 ・ II型
上張り ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上 ・ 生地縁 (素地) ・ 生地縁 (ウレタンクイヤー塗装)
見込み寸法 ※19.5mm ・ 建具表による
・ 戸ぶすま [5.7.2][5.7.3][表5.7.7][5.7.4]
表面材の種類、品質等 ()
見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による
・ 紙張り脚子 [5.7.2][表5.7.4][5.7.3][表5.7.11]
見込み寸法 ※30mm ・ 建具表による
⑪ 建具用金物 [5.8.2]
金物の種類・見え掛り部の材質等 [5.8.2]
※改修標仕 表5.8.1及び適用 (備考欄の特記事項も含め) は、建具表による
・ 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標仕 表5.8.2による
・ 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標仕 表5.8.3による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標仕 表5.8.4による
木製建具に使用する戸車及びレール
※改修標仕 表5.8.3による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置
○建具表による
12 鍵 [5.8.4]
マスターキー ※ 製作する ・ 製作しない [5.8.4]
鍵の製作本数等 ※ 3本1組 ・ () 本 鍵箱 ※ 必要 ・ 不要
13 自動ドア開閉装置 [5.9.2]
戸の開閉方式 ・ 図示による
自動ドア開閉装置の性能 [5.9.2]
駆動装置の性能
※引き戸用駆動装置の場合、改修標仕 表5.9.11による
防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない
・ 車椅子使用者用扉出入口の引き戸用駆動装置の性能
※引き戸用駆動装置の場合、改修標仕 表5.9.21による
防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない
検出装置の性能
※引き戸用駆動装置の場合、改修標仕 表5.9.31による
防錆の適用 ・ 適用する ・ 適用しない
引き戸用検出装置の種類は、改修標仕 表5.9.41による [5.9.2]
種類 ・ 光線 (反射) センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー
・ 電波センサー ・ タッチスイッチ (・ 無線式 ・ 光電式) ・ 押しボタンスイッチ
・ 車椅子使用者用扉スイッチ (・ 大形 (閉・開) 押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ)
凍結防止装置 ・ 適用する ・ 適用しない [5.9.2]
14 自閉式上吊り引戸装置 [5.10.3]
性能 ※改修標仕 表5.10.11による ・ 図示による
⑮ 重量シャッター [5.11.2]
シャッターの種類 [5.11.2]
シャッターの種類 閉開方式の種類
・ 管理用シャッター ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式
・ 外壁用防火シャッター ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式
・ 屋内用防火シャッター ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式
○防火防煙シャッター ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式

タフテッドカーベット [6.9.2~3][表 6.9.2]
バイル形状 バイル長(mm) 工 法 帯電性 備考
カットバイル ※5~7 ※全面接着工法 ・適用する
ループバイル ※4~6 ・グリッパー工法 ・適用しない
カット、ループ併用 ・

タイルカーベット [6.9.2~3][表 6.9.2]
種類 バイル形状 寸法 総厚さ(mm) 施工箇所 備考
※ 第一種 ※ ループバイル ※ 500×500 ※ 6.5
※ 第二種 ・ カットバイル ・ ・

見切り、押え金物
・適用する(材質、形状等)
・適用しない
タイルカーベットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し
平場 ※市松敷き ・模様流し
階段 ・市松敷き ※模様流し

27) セッコウボード、その他ボード及び合板張り
材料 [6.13.2][表 6.13.1]
規格名称 種 類 厚さ(mm)等
木質系セッコウボード
・硬質木毛セメント板 G ・15・20・25
・中質木毛セメント板 G ・15・20・25
・普通木毛セメント板 G ・15・20・25
・硬質木片セメント板 G ・12・15・18・21
・普通木片セメント板 G ・30

MD F及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 [6.13.2]
※ F☆☆☆☆
ボード表面への化粧紙仕上げの有無
・有り(種類:)

天井ボードの重ね張りの張り付け方法 [6.13.3]
(ロックウール吸音板を除く)

セッコウボードの目地工法 [6.13.3]
種類
・図示(仕上げ表)による
セッコウボードのエッジの種類(突付け工法、目透し工法の場合)
・図示による

28) 壁紙張り
材料 [6.13.2]
種 類 規 格 防虫処理
・普通合板 G 表面の樹種名() 板面の品質() 厚さ(mm)() ・行う
・天然木化粧合板 G 化粧板の樹種名() 厚さ(mm)() ・行う
・化粧加工の方法(・オパール・プリント・塗装) ・行う
・特殊加工化粧合板 G 表面性能() 厚さ(mm)() ・行わない

合板のホルムアルデヒド放散量 [6.13.2]
※改修標仕 6.13.2(2)(4)のいずれかによる

合板の張り付け A種 B種 [6.13.3][表 6.13.3]

29) 壁紙張り
種類 [6.14.2]
壁紙の種類
紙 繊維(織物) アラスチック 無機質 塩化ビニル その他
防火性能 備考
各室・廊下 ・ ・ ・ ・ ・ ・不燃・準不燃・難燃 提示クロス

30) モルタル塗り
モルタル [6.15.3]
既設目地材 ・設ける 施工箇所() 形状(・図示)
・設けない
床の目地 ・設ける 目地割 ※2m程度(最大目地間隔 3m程度)
種類 ※押し目地
・設けない

外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 [6.15.6]

30) タイル張り
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [6.16.2]
位置 (※改修標仕 6.16.2による)
見本焼 ・行う ※行わない
試験張り ・行う ※行わない

31) セルフレベリング材
種類 ・セッコウ系 ・セメント系 [6.17.2][表 6.17.1]
塗厚 mm

32) 断熱材
断熱材名 種類(記号) 厚さ(mm) 施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スチレン層なし)
・硬質ウレタンフォーム断熱材
・グラスウール断熱材

33) 浴室天井材
市販品
材質 表面仕上げ 性能 幅(mm) 備考
※アルミニウム製 ※焼付け塗装品 準不燃品 ※200 回り縁は種付きとし
・アルマイト処理品 ・100 製造所の標準品とする。

34) フリーアクセスフロア
材料等 [20.2.2]
構造 寸法(mm) 高さ(mm) 耐震性能 所定荷重 表面仕上げ材 備考
・支柱調整式 ・ ・ ・ ・ ・ ・
・置敷式 ・ ・ ・ ・ ・ ・

35) 可動間仕切
材料等 [20.2.3]
構造形式による種類 構成基材の種類 n'材の表面仕上げ 遮音性能(dB/500Hz)
・スライド式(内蔵) ・ ・ ※ 対応樹種既付又は対応樹種既付付
・スライド式(露出) ・ ・ ・ 壁紙張り
・スライドn'材式 ・ ・
・n'材式 ・ ・

36) 移動間仕切
材料等 [20.2.4]
操作方法による種類 圧縮装置の操作方法 n'材の表面材 遮音性(dB/500Hz)
・手動式 ・フック式 ※鋼板 仕上げ ※焼付塗装 ・36未満
・電動式 ・ハンドル式 ※鋼板 ・壁紙張り ・36以上
部分電動式

37) トイレブース
材料等 [20.2.5]
パネル表面材の材質 脚部の種類 ドアエッジの材質
・対応樹種系化粧板 ※幅木タイプ ・アルミニウム製
・対応樹種系化粧板 ・ステンレス製 ・表面材と同材

38) 手すり
材料等 [20.2.6]
種 別 表面仕上げ 直径(mm) 施工箇所 備考
※集成材 ・対応樹種系 ・ ※35・45 (市販品)
・ステンレス ・HL
・銅製 ・EP-G・SOP
・ビニル製ハンドル

39) 階段滑止め
材料等 [20.2.7]
材 種 形状 寸法(mm) 取付工法
・ステンレス製(SUS304) ・ひも型 ・ ※接着工法
・黄銅製押出型材 ・ダイヤ型 ・ ・埋込み工法
・アルミニウム製押出型材

40) 黒板及びホワイトボード
材料等 [20.2.9]
種 類 寸法(mm) 色 彩 備 考
・黒板 ※焼付け ※緑・黒 ※平面 ・曲面
・ほうろう ・ ※上下可動式
・ホワイトボード ※白

41) 表示
・衝突防止表示 (20.2.11)
形状、寸法(・30φ)
材質(・ステンレス製)
・非常用進入口等の表示等 ※消防法に適合する市販品
・

42) ブラインド
材料等 [20.2.14]
・横形ブラインド
種類 ※ギア式 ・コード式 ・操作棒式
幅、高さ ・図示による
スラットの幅 ※25mm
材質
スラット ※アルミニウム合金製
ヘッドボックス ※鋼製
ボトムレール ※鋼製

43) ロールスクリーン
材料等 [20.2.15]
材 種 品質 遮光性能 操作方式 幅、高さ 取付箇所
・ポリエステル ・ ・ ・1級 ・電動式 ・図示
・ ・ ・2級 ・スプリング式 ・ ・
・ ・ ・3級 ・チェーン式 ・ ・

44) カーテン
材料等 [2.3.1][5.1.6]
形式 開閉操作方式 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付箇所 備考
・ツェル ・片引き ・手引き ・つまみひだ ・防炎加工 ・図示
・ダブ ・別分け ・ひも引き (三つ山ひだ、二つ山ひだ)
・ ・電動 ・箱ひだ、片ひだ
・ プレーンひだ (暗幕)

23) 合成樹脂塗床
合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
種類 [6.10.3][表 6.10.4~8]

種類 種 類 工 法 仕上げの種類 施工箇所
・厚膜型塗床材(弾性樹脂系塗床材)
・厚膜型塗床材(非樹脂系塗床材)
・薄膜型塗床材(非樹脂系塗床材)

24) 防塵用塗料塗り
材料 水性アクリル系塗料 (※標準色)
仕上種類 ※平滑仕上げ ・防汚仕上げ
塗布量 プライマー塗りのうす主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5 kg/m²以上とする

25) フローリング張り
フローリングのホルムアルデヒド放散量
※改修標仕 6.11.2(2)による

単層フローリング G [6.11.2~7][表 6.11.1~5]
種 類 工 法 樹 種 厚 さ、幅 及 び 長 さ
・フローリング1等
・フローリング2等

複合フローリング G [6.11.2~7][表 6.11.1~5]
種 類 工 法 樹 種 厚 さ、幅 及 び 長 さ
・複合フローリング(天然木化粧)
・複合フローリング(樹脂系)

26) 畳敷き
接着工法の場合の不陸調整材
※合成樹脂発泡シート

種類 [6.12.2]
・A種 ・B種 ・C種
・D種(畳床・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)

・衝撃緩和型畳
畳表(JIS A 5902) ・C1 ・C2

6 内装改修工事

45	カーテンレール	既存利用 ・ 既存再使用する ○ 新設する	
	材料等	レール及びブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 レールの材料による区分 ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ ステンレス製 レールの仕上げ ※アルマイト レールの形状 ※角形 カーテンの付属物 フック (ひるかん) ※鋼製 ・ 樹脂製	
	46	ブラインドボックス 及びカーテンボックス	既存利用 ・ 既存再使用する ○ 新設する
	47	天井点検口	溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ※ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示による 材質 ○ 集成材 (仕上げ: CL) ・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 種別 (標仕 表14.2.1) ・ BC-1種 BC-2種 色合い ・ 標準色 () ・ 特注色 () ・ 鋼製 (仕上げ:)
	48	床点検口	溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ※ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示による 材質 ○ 集成材 (仕上げ: CL) ・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 種別 (標仕 表14.2.1) ・ BC-1種 BC-2種 色合い ・ 標準色 () ・ 特注色 () ・ 鋼製 (仕上げ:)

4 錆止め塗料塗り

種別 [7.4.2~7.4.3][表7.4.1~7.4.6]

下地面等	錆止め塗料の種類 新規 塗替え	工程の種類	
		新規	塗替え
鉄鋼面	見え掛り部分	SOP A種 1回目 C種 2,3回目 D種	RAの場合 1回目 C種 2,3回目 D種 RBの場合 E種
	見え隠れ部分	EP-G A種 ※ B種	A種 ※ B種
垂鉛めっき等	鋼製建具	SOP A種 ※ B種	A種 ※ B種
	DP B種	改修標仕 表7.4.6	
鋼面	EP-G C種	A種 ※ B種	C種
	SOP A種 ※ B種	A種 ※ B種	C種
以外	DP B種	改修標仕 表7.4.6	
	SOP C種	A種 ※ B種	C種

種別 [7.5.2~7.13.2][表7.5.1~7.13.1]

塗装の種類

塗装の種類	塗装面	工程	
		新規	塗替え
・合成樹脂割合ベイト塗り (SOP)	・ 木部 (屋外)	※A種	※B種
	・ 木部 (屋内)	※B種	※B種
	・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種	※B種
	・ 亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種
・珪藻土塗り (CL)	・ 木部	※A種	※B種
	・ 珪藻土系非水分散形塗料 (NAD)	※B種	※B種
・耐水性塗料塗り (DP)	・ 鉄鋼面	※A種	・ A種 ・ B種 ・ C種
	・ コクリト面	※A種	・ A種 ・ B種 ・ C種
	・ 珪藻土面	※A種	・ A種 ・ B種 ・ C種
	・ 珪藻土面	※A種	・ A種 ・ B種 ・ C種

5 塗装塗り

9 環境配慮改修工事

① 石綿含有建材の除去後の仕上げ

石綿含有建材の除去後の仕上げ ※外壁改修工事参照 [9.1.1]

② 石綿粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]

○ 行う (測定名称及び測定点は下表による)

測定名称	測定時期	測定場所	測定点	備考
・ 測定1	処理作業前	処理作業室内	各1点	—
・ 測定2	—	施工区画周辺又は敷地境界	計1点	—
・ 測定3	処理作業中	処理作業室内	各1点	—
※ 測定4	—	仕上り作業入口	各1点	空気の流れを確認
※ 測定5	—	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各1点	除じん装置の性能確認
※ 測定6	—	施工区画周辺又は敷地境界	計4点	4方向各1点
※ 測定7	処理作業後	処理作業室内	各1点	—
・ 測定8	(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	計4点	4方向各1点
・ 測定9	処理作業後シート	処理作業室内	各1点	—
・ 測定10	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計1点	—

測定箇所 ※ 図示

○ 外壁、煙突、第1・第2音楽室・音楽準備室、第1理科室

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法—第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

計数機器	位相差顕微鏡
ノズル径	25 mm
試料の吸引流量	1 l/min
試料の吸引時間	5 min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野
計数アスベスト	直径 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さ×直径比 3:1 以上
定量限界	50 f/l

報告書の作成 (記録する項目)

ア、測定結果

イ、測定位置 (測定高さとともに図面に記載する。)

エ、サンプリング条件 (サンプリングフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)

オ、マウントング方法

カ、顕微鏡視野面積、計数視野数

キ、測定時 (各測定場所ごと) 天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

3 7x⁶ 含有吹付け材の除去 (レベル1)

アスベスト含有吹付け材の除去 [9.1.3]

・ 行う 除去方法は 9.1.3 によるほか、除去の部位・内容に応じた除去は専門事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※ 密封処理 (二重袋梱包)

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

アスベスト含有吹付け材の処分

・ 埋立処分

・ 熔融施設

・ 無害化処理施設

4 7x⁶ 含有保温材等の除去 (レベル2)

アスベスト含有保温材の除去 [9.1.4]

○ 行う (※ 手ばらし ・ 手ばらし以外)

作働場の隔離

○ 行う ・ 行わない

アスベスト含有保温材等の処分

○ 埋立処分

・ 熔融施設

・ 無害化処理施設

5 7x⁶ 含有成形板の除去 (レベル3)

アスベスト含有成形板の除去 [9.1.5]

○ 行う

隔離養生 (負担不要)

○ 行う ※1 ・ 行わない

注1： けい酸カルシウム板第一種の場合は必須

アスベスト含有成形板の処分

○ 埋立処分

・ 熔融施設

・ 無害化処理施設

6 7x⁶ 含有仕上塗材の除去

除去方法

・ 集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa以上)

・ 湿式集じん装置付きディスクグラインダー工法

※ 乾式集じん装置付きディスクグラインダー工法

・ 剝離剤工法

・ 超音波ケレン工法

隔離養生 (負担不要)

○ 行う ・ 行わない

アスベスト含有仕上塗材の処分

○ 埋立処分

・ 熔融施設

・ 無害化処理施設

7 作業結果の確認・報告

石綿含有建材の除去等作業完了後は、適切に作業が行われたこと及び取り残しがないことを確認すること。

また、確認した結果を発注者に書面で報告すること。

8 外断熱改修工事

断熱材の種類 [9.2.2]

材料名

・ ビーズ法ポリスチレンフォーム (ノンフロロ [G])

・ 押出法ポリスチレンフォーム A種 (ノンフロロ [G])

・ 硬質ウレタンフォーム (ノンフロロ [G]) ・ フェノールフォーム

・ ロックウール ・ グラスウール

外装材の種類 [9.2.2]

防火性能

既存外壁の仕上げ材の撤去

・ 有り ・ なし

下部の清掃及び下地調整

※ 断熱材製造所の指定する仕様

欠損分の改修 ・ 行う ・ 行わない

透気層

・ 有り (mm) ・ なし

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 適用する ・ 適用しない

試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承認を受ける

特記無き事項は、製造所の仕様による。

9 断熱・防露改修工事

断熱材 (ノンフロロ) [9.3.2~9.3.4]

工法	材料名	種別及び品質	厚さ (mm)
・ 断熱材打ち込み工法	JIS A 9521		
・ 建築用断熱材	・ ビーズ法 [®] 硬質ポリスチレンフォーム (ノンフロロなし)		
	・ 硬質ウレタンフォーム		
	・ フェノールフォーム		
○ 断熱材現場発泡工法	建築物断熱用吹付け硬質ポリスチレンフォーム (難燃性)	○ A種1 ・ A種1H	
		・ A種2 ・ A種2H	
		・ A種3	
		・ B種	
・ 断熱材後張り工法	JIS A 9521		
・ 建築用断熱材	・ ビーズ法 [®] 硬質ポリスチレンフォーム (ノンフロロなし)		
	・ 硬質ウレタンフォーム		
	・ フェノールフォーム		

10 屋上緑化改修工事

植栽基盤及び材料 [9.4.2]

※ 屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※ 図示

見切材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※ 図示

11 透水性アスファルト舗装改修工事

路盤材料 [9.5.4][表9.5.3]

※ 再生クラッシュラン (RC-40)

・ クラッシュラン鉄鋼スラグ (CS-40)

・ クラッシュラン (C-40) G

透水性の高いものを使用する

路盤の締固め試験 ※ 行う [9.5.4]

遮断層、凍上抑制層及びフィルタ層の材料 (厚さは図示) [9.5.4][表9.5.1]

遮断層 ※ 川砂、海砂又は良質な山砂

凍上抑制層 ※ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン 切り込み砂利 ・ 砂

フィルタ層 ※ ごみ、泥等の有機物を含まない砂

盛土に用いる材料 [9.5.3][表9.28.1]

・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種

路床安定処理 [9.5.3][表9.5.2]

※ 添加材料による安定処理

種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメント B種

・ 高炉セメント B種

・ 生石灰 ()

添加量 kg/m³ (目標 OBR ※ 5 以上)

路床土の支持力比試験 ※ 行う (※ 乱した土 ・ 乱さない土)

路床締固め度の試験 ※ 行う [9.5.3]

砂の粒度試験 ※ 行う [9.5.3]

開粒度アスファルト混合物 [9.5.7][表9.5.5][表9.5.6]

歩道部 ※ ストレートアスファルト

開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ※ 行わない ・ 行う [9.5.9]

12 PCB含有シーリング材処分

第一次判定

現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び PCB 含有分析の可否を判定する

採取箇所 計 箇所

採取箇所 ※ 図示

第二次判定

専門分析機関にて PCB 含有量の分析を行う

分析回数 計 箇所

除去処理工事

除去範囲 ※ 図示

撤去方法 ・ 「標準施工要領書 (日本シーリング工事業共同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による

7 塗装改修工事

① 材料

② 下地調整

③ 素地ごしらえ

8 耐震改修工事等

④ 材料

⑤ 下地調整

⑥ 素地ごしらえ

⑦ 耐震改修工事等

⑧ 材料

⑨ 下地調整

⑩ 素地ごしらえ

⑪ 耐震改修工事等

⑫ 材料

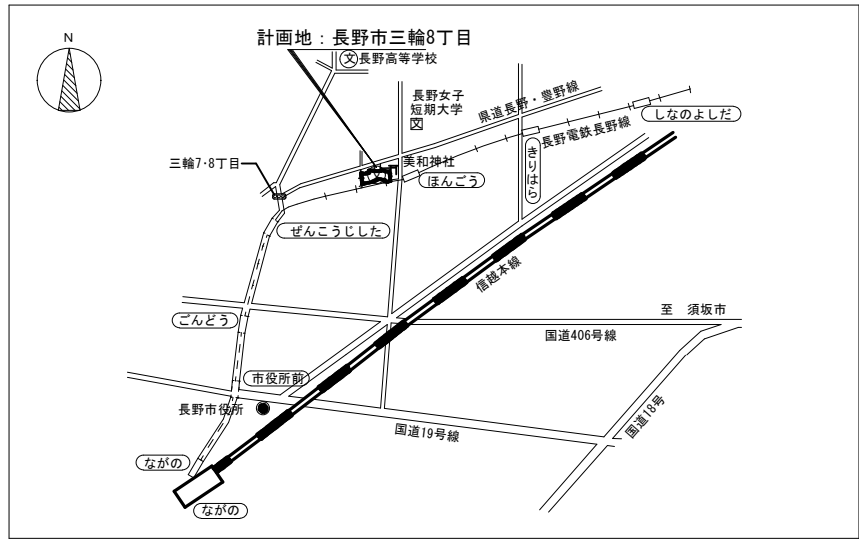
⑬ 下地調整

⑭ 素地ごしらえ

⑮ 耐震改修工事等

工事区分表

項目				A	E	M	備考	項目				A	E	M	備考	項目				A	E	M	備考								
躯体関係								仕上げ関係								屋外排水設備・外構								電気配線配管							
1. RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリーブ材及び取付け	O	O	O				1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	O				1. 雨水	屋外雨水排水設備	O			1. 配管配線	機器用翼の制御室以降の配管配線(接地線共)				2次割							
	補強を要しない型枠材及び取付け	O					補強を要しないボードの切り込み		O	O			斜及び斜ふた		O			機器用翼の制御室への電源供給配管配線					1次割								
	補強を要しない型枠材及び取付け	O	O	O			開口部の墨出し		O	O			雨水タテ巻		O			自動制御と動力量との電源供給の差り配管配線													
	貫通孔・開口部の墨出し	O	O	O			設置鉄骨壁のボックス取付金具及びその取付		O				2. 雑排水・汚水		屋外雑排水及び屋外汚水排水設備		O			機器と附属操作スイッチの差り配管配線											
	貫通孔・開口部の補強	O											斜及び斜ふた		O		小使室用節水装置の制御室以降の配管配線														
	スリーブ・型枠の穴埋め	O	O	O		防火区画・防煙区画	2. 既設間仕切り		切り込み及び補強	O				化粧マンホール上ふたの表面仕上げ	O			注油口内アース端子よりのアース用配管配線						自家用はE							
	埋込形壁埋め及び、箱型の型枠	O					位置ボックス		O								機器類・実機台などへの接続(直接接続するもの)	O													
	既存配管撤去後のスラブ穴埋め	O															天井吊り形FCU及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの差り配管及び位置ボックス	O													
2. SRC造・はり貫通孔	S・SRC造貫通鋼管スリーブ・補強						3. 吊りボルト及びインサート	設置機器・器具・配管・配線・ダクト用	O	O			4. ユニット形浄化槽の躯体	補強及び管土	O			2. その他	電線梯												
	使用されたスリーブの穴埋め					防火区画・防煙区画										天井吊り形FCU及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの差り配管及び位置ボックス	O														
	予備スリーブの穴埋め					防火区画・防煙区画	4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	O	O				ピット形の躯体及び砂充填			電線梯														
	貫通孔・開口部のスミ出し						ウエザーカバー、ベントキャップ		O					上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び繋付等			天井吊り形FCU及び全熱交換形換気扇と操作スイッチとの差り配線		O												
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入あるもの	O					換気扇		O				ピット形以外				構内配電線		O												
	室内の基礎(建築設計図に記入のないもの)	O	O																												
	屋外・屋上の基礎 AG・受水槽・キューピクル	O					5. 通湯まわり	流し合・つり戸棚・水切り器・コンロ台・IHコンロ	O																						
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの						フード(標準詳細図のもの)		O																						
4. 昇降機関連	機器取り付け用アンカー・架台	O	O			建築設計図にあるものはA	6. 外壁まわり	ユニットバス、シャワーユニット					6. 屋外オイルタンク	タンク室の躯体及び砂充填				工事用電力・水道・下水・燃料		O	O	O									
	昇降機・機械室の躯体						既設浴槽(ふたを含む)						上記以外のオイルタンク本体・配管及び繋付等				受電後の電力料金を		O	O	O		(引渡しまでの間)								
	機械室の床開口						浴室及び便所の床排水金物						タンク室形以外				太陽光発電設備(太陽光パネル取付金物以外全て)		O												
	機械室の床配管ピット・蓋・防油堤						7. 便所まわり	洗面カウンター	O																						
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上						鏡		O																						
	昇降機内ピット防水・集水斜・点検用タラップ						ユニット形衛生器具			O																					
5. その他	各層出入口穴あけ・同補強						衛生器具			O																					
	出入口扉・三方弁						便所用手すり		O	O																					
	三方弁取付・締まり調整し・同補強						手すり補強下地		O																						
	昇降機がRC造の時、軌条・中間ビーム・ブラケット他昇降機内の鉄骨部一式						8. 事務室、校長室	ファンコイルカバー																							
	機械室天井フック取付						家具組み込みの洗面番																								
	ホール押印・インジケータ・網案などの壁開口						洗面化粧台																								
	機械室換気設備					ガラリはA	9. フリーアクセスフロア	コンセント・電話・情報等																							
	昇降機がS造の時の中間ビームブラケット受けベース						集合アウトレット用開口																								
EV機械室からインターホンまでの配線工事						2重ピット及びトレンチのマンホールふた		O																							
EV機械室からインターホンまでの配管工事						機器搬入用フック ビーム		O																							
						チェンブロック			O	O																					
						化粧マンホール上ふたの表面仕上げ			O																						
						点検口(天井・床下)			O																						
						換気口等の天井仕上材の取付け			O																						
						自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フロアヒンジ			O																						
						消火器BOX設置工事			O																						
						消火器				O																					
						洗面器取付の下地の補強			O																						
						厨扉補強			O																						
						RC躯体の設備機器取付用穴明け			O	O	O																				
						A L C板・石の設備機器取付用穴明け			O	O	O																				
						一般用手すり			O																						
						防火戸			O														レリーズはEとする								
						防火シャッター			O														レリーズはAとする								
						設備機器取付下地補強			O																						
						既存機器撤去後の補修			O																						



案内図

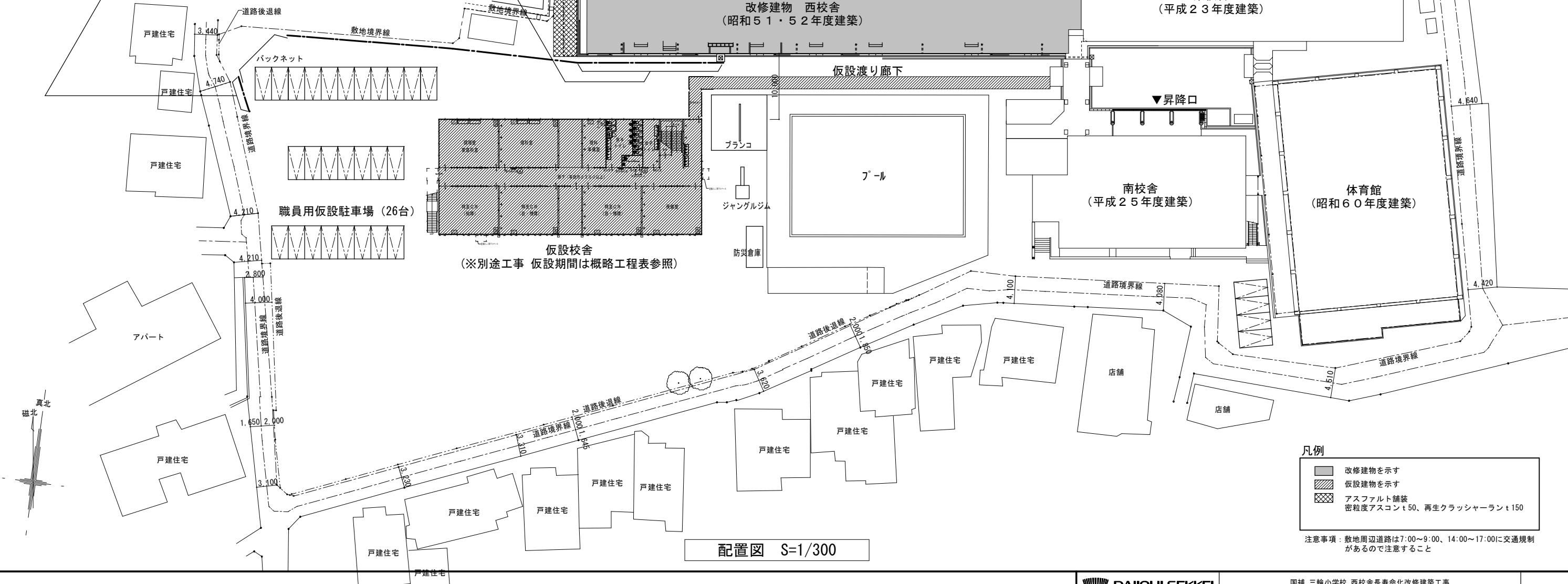
	R5年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年	1月	2月	3月
学校行事			夏休み					引越し	冬休み							夏休み						引越し	冬休み		
仮設校舎 新築工事 (別途工事)			設計・計画通知						建設																撤去
西校舎 改修工事									準備工		夏休み前	工事				夏休中	工事	夏休み後	工事			検査			

概略工程表

※東校舎使用する際の2方向避難確保の為、夏休み中に階段B及び階段B前通路部分
<仮設間仕切囲い範囲>の改修工事を完了する事

- ・既存ポンプ庫：屋根、外壁改修
- ・既存受水槽タンク：シーリング打ち換え
- ・ポンプ庫改修詳細図 参照
- ・既存コンクリート造受水槽 防水改修
- ・改修図 参照

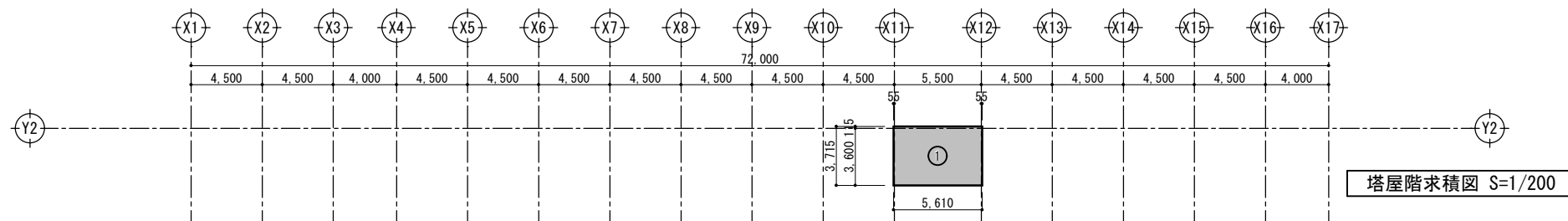
- ハッチング範囲：
アスファルト舗装
- 点線範囲：既存駐車用ゴムマット撤去
1800X2000 t15程度 30枚
- 既存防球ネット：バックネット、フェンスに
ロープ固定されているものを取外後、
再取付 L5.0XH4.0m程度
- 既存防球ネット：バルコニー手摺に
ロープ固定されているものを取外後、
再取付 L22.0XH4.0m程度



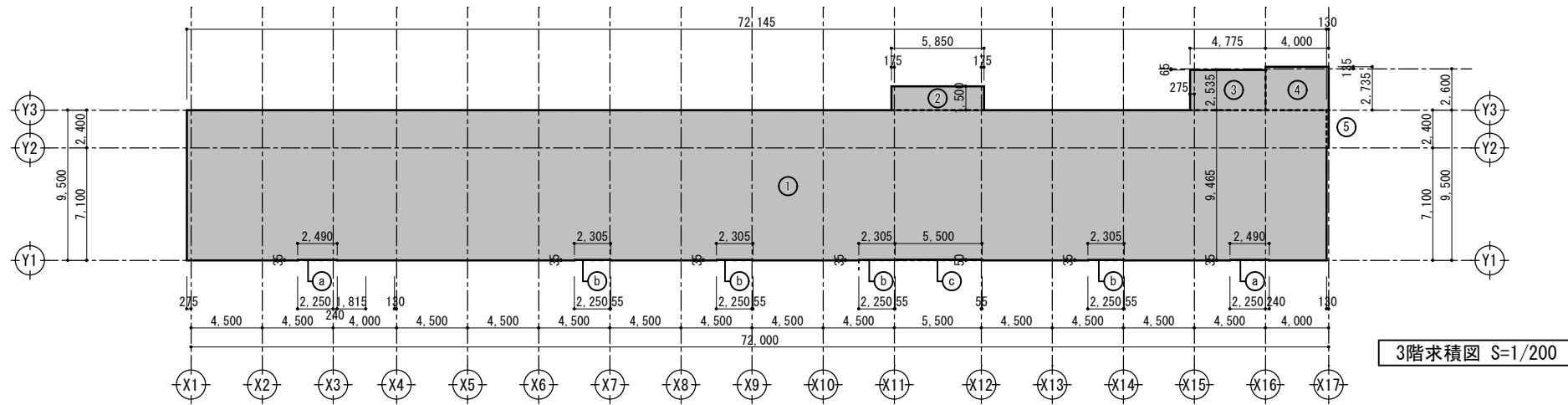
配置図 S=1/300

- 凡例
- 改修建物を示す
 - 仮設建物を示す
 - アスファルト舗装
 - 密粒度アスコン t50、再生クラッシャーラン t150

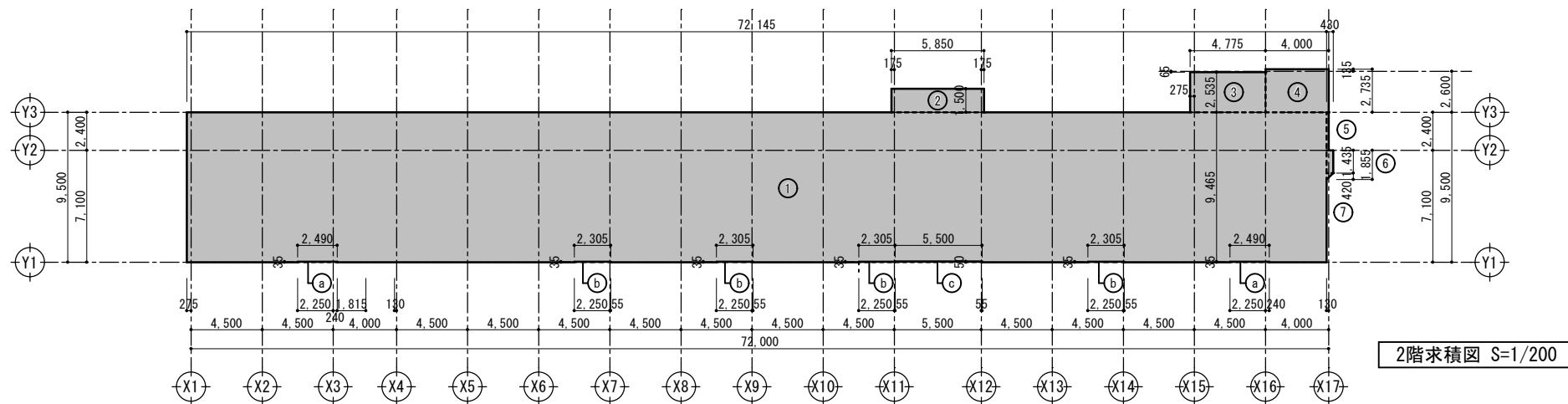
注意事項：敷地周辺道路は7:00~9:00、14:00~17:00に交通規制があるので注意すること



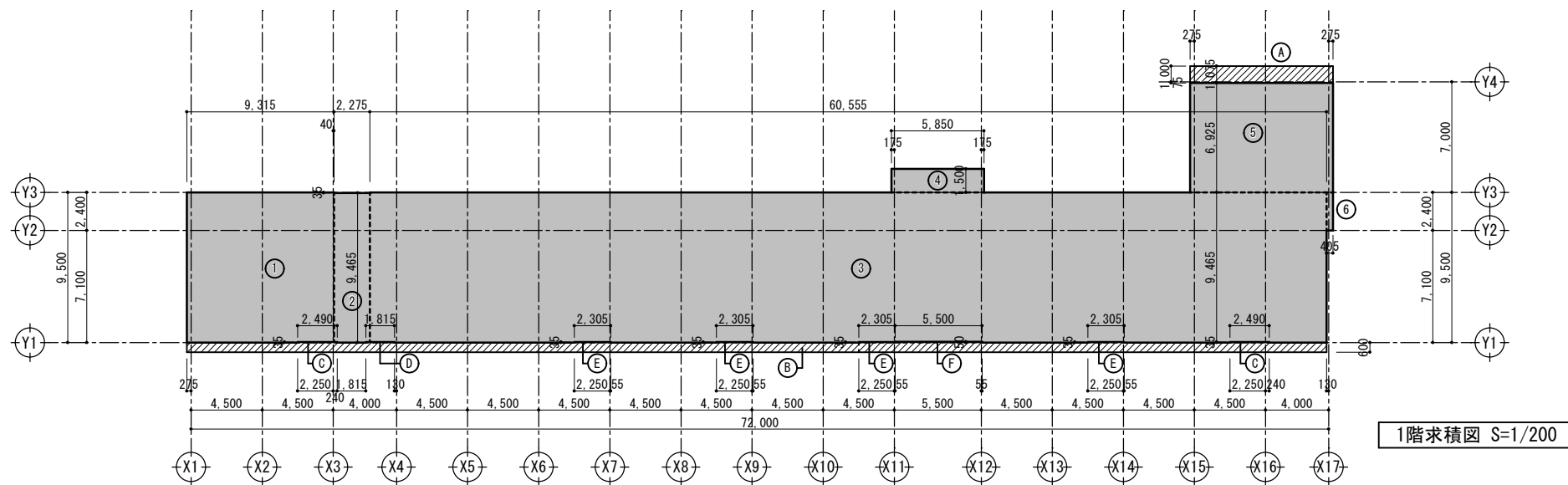
塔屋階求積図 S=1/200



3階求積図 S=1/200

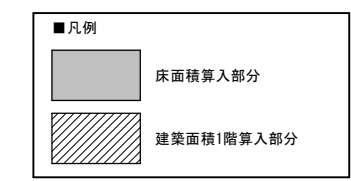


2階求積図 S=1/200



1階求積図 S=1/200

■ 改修建物面積表					
	番号	算定式 (m)	面積 (㎡)		
1階	床面積算入部分				
	1	9.315 × 9.500	88.4925		
	2	2.275 × 9.465	21.532875		
	3	60.555 × 9.500	575.2725		
	4	5.850 × 1.500	8.775		
	5	9.050 × 6.925	62.67125		
	6	0.405 × 2.400	0.972		
	C × 2	▲ 2.490 × 0.035 × 2	▲ 0.1743		
	D	▲ 1.815 × 0.035	▲ 0.063525		
	E × 4	▲ 2.305 × 0.035 × 4	▲ 0.3227		
	F	▲ 5.500 × 0.050	▲ 0.275		
	計		756.8806		
	(1) 1階床面積計 (小数点3位以下四捨五入)		756.88		
2階	床面積算入部分				
	1	72.145 × 9.500	685.3775		
	2	5.850 × 1.500	8.775		
	3	4.775 × 2.535	12.104625		
	4	4.000 × 2.735	10.94		
	5	0.130 × 2.400	0.312		
	6	0.430 × 1.435	0.61705		
	7	0.430 × 0.420 ÷ 2	0.0903		
	a × 2	▲ 2.490 × 0.035 × 2	▲ 0.1743		
	b × 4	▲ 2.305 × 0.035 × 4	▲ 0.3227		
	c	▲ 5.500 × 0.050	▲ 0.275		
	計		717.444475		
	(2) 2階床面積計 (小数点3位以下四捨五入)		717.44		
3階	床面積算入部分				
	1	72.145 × 9.500	685.3775		
	2	5.850 × 1.500	8.775		
	3	4.775 × 2.535	12.104625		
	4	4.000 × 2.735	10.94		
	5	0.130 × 2.400	0.312		
	a × 2	▲ 2.490 × 0.035 × 2	▲ 0.1743		
	b × 4	▲ 2.305 × 0.035 × 4	▲ 0.3227		
	c	▲ 5.500 × 0.050	▲ 0.275		
	計		716.737125		
	(3) 3階床面積計 (小数点3位以下四捨五入)		716.74		
	塔屋階	床面積算入部分	1	5.610 × 3.715	20.84115
	(4) 塔屋階床面積計 (小数点3位以下四捨五入)			20.84	
床面積合計 (1)+(2)+(3)+(4)			2,211.90		
建築面積	建築面積1階加算部分				
	A	9.050 × 1.075	9.72875		
	B	72.145 × 0.600	43.287		
	C × 2	2.490 × 0.035 × 2	0.1743		
	D	1.815 × 0.035	0.063525		
	E × 4	2.305 × 0.035 × 4	0.3227		
	F	5.500 × 0.050	0.275		
計		53.851275			
(5) 建築面積1階加算部分計 (小数点3位以下四捨五入)		53.85			
建築面積 (1)+(5)			810.73		



共通事項				外部仕上				内部仕上																																																			
1. 各項目の※、及び・適用は、特記仕様書と同じとする。 2. (〇-〇-〇) 内の数字は、建築工事標準詳細図(平成28年版)の詳細番号を示す。 3. 略号は、下表による。 4. 特記以外の木部、鉄部、亜鉛メッキ部の見掛りは、SOP塗りとする。				床 (1) 特記以外の下地及び詳細番号は下記による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>仕上種別</th> <th>既存詳細番号</th> <th>改修後詳細番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイル(張付面積小の場合)</td> <td>-</td> <td>(1-01-5)</td> </tr> <tr> <td>タイル(上記以外の場合)</td> <td>-</td> <td>(1-01-6)</td> </tr> <tr> <td>RC</td> <td>-</td> <td>(1-01-3)</td> </tr> <tr> <td>石材(石厚50mm以下)</td> <td>-</td> <td>(1-01-9)</td> </tr> <tr> <td>石材(石厚50mm超える場合)</td> <td>-</td> <td>(1-01-10)</td> </tr> <tr> <td>モルタル、防水モルタル</td> <td>-</td> <td>(1-01-1)</td> </tr> <tr> <td>珪藻ブロック</td> <td>-</td> <td>(1-01-7)</td> </tr> </tbody> </table> (2) 改修後の異なる床仕上の取合で寄置、目地棒が無い場合は(4-31-3)による。				仕上種別	既存詳細番号	改修後詳細番号	タイル(張付面積小の場合)	-	(1-01-5)	タイル(上記以外の場合)	-	(1-01-6)	RC	-	(1-01-3)	石材(石厚50mm以下)	-	(1-01-9)	石材(石厚50mm超える場合)	-	(1-01-10)	モルタル、防水モルタル	-	(1-01-1)	珪藻ブロック	-	(1-01-7)	床 (1) 特記以外の下地及び詳細番号は下記による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>仕上種別</th> <th>既存詳細番号</th> <th>改修後詳細番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CF・FT</td> <td>-</td> <td>(1-01-4)</td> </tr> <tr> <td>磁器質タイル</td> <td>-</td> <td>(1-01-5)又は(1-01-6)</td> </tr> <tr> <td>カーペット</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>畳</td> <td>-</td> <td>(1-02-3)</td> </tr> <tr> <td>天然木化粧複合フローリング</td> <td>-</td> <td>(1-02-8)</td> </tr> <tr> <td>RC・床用塗料・防塵用塗料</td> <td>-</td> <td>(1-01-3)</td> </tr> <tr> <td>モルタル、防水モルタル</td> <td>-</td> <td>(1-01-1)</td> </tr> </tbody> </table> (2) 改修後の異なる床仕上の取合で寄置、目地棒が無い場合は(4-31-3)による。				仕上種別	既存詳細番号	改修後詳細番号	CF・FT	-	(1-01-4)	磁器質タイル	-	(1-01-5)又は(1-01-6)	カーペット	-	-	畳	-	(1-02-3)	天然木化粧複合フローリング	-	(1-02-8)	RC・床用塗料・防塵用塗料	-	(1-01-3)	モルタル、防水モルタル	-	(1-01-1)
				仕上種別	既存詳細番号	改修後詳細番号																																																					
タイル(張付面積小の場合)	-	(1-01-5)																																																									
タイル(上記以外の場合)	-	(1-01-6)																																																									
RC	-	(1-01-3)																																																									
石材(石厚50mm以下)	-	(1-01-9)																																																									
石材(石厚50mm超える場合)	-	(1-01-10)																																																									
モルタル、防水モルタル	-	(1-01-1)																																																									
珪藻ブロック	-	(1-01-7)																																																									
仕上種別	既存詳細番号	改修後詳細番号																																																									
CF・FT	-	(1-01-4)																																																									
磁器質タイル	-	(1-01-5)又は(1-01-6)																																																									
カーペット	-	-																																																									
畳	-	(1-02-3)																																																									
天然木化粧複合フローリング	-	(1-02-8)																																																									
RC・床用塗料・防塵用塗料	-	(1-01-3)																																																									
モルタル、防水モルタル	-	(1-01-1)																																																									
略号 <table border="1"> <thead> <tr> <th>略号</th> <th>仕上材等</th> <th>略号</th> <th>仕上材等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RC()</td> <td>公共建築工事標準仕様書(6. . .)による():打放仕上種別</td> <td>SOP</td> <td>合成樹脂調合ペイント塗</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>EP</td> <td>合成樹脂エマルジョンペイント塗</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>EP-T</td> <td>合成樹脂エマルジョン機積塗</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>EP-G</td> <td>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>EP-M</td> <td>多彩機積塗</td> </tr> </tbody> </table>				略号	仕上材等	略号	仕上材等	RC()	公共建築工事標準仕様書(6. . .)による():打放仕上種別	SOP	合成樹脂調合ペイント塗			EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗			EP-T	合成樹脂エマルジョン機積塗			EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗			EP-M	多彩機積塗	壁・柱・梁 (1) 特記以外の下地及び詳細番号は下記による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>仕上種別</th> <th>既存詳細番号</th> <th>改修後詳細番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>磁器質タイル(型枠先付)</td> <td>-</td> <td>(2-01-9)</td> </tr> <tr> <td>磁器質タイル(密着強)</td> <td>-</td> <td>(2-01-4)</td> </tr> <tr> <td>RC</td> <td>-</td> <td>(2-02-7)~(2-02-11)</td> </tr> <tr> <td>天然石(40mm未満)</td> <td>-</td> <td>(2-02-1)</td> </tr> <tr> <td>天然石(40mm以上70mm以下)</td> <td>-</td> <td>(2-02-2)</td> </tr> <tr> <td>モルタル、防水モルタル</td> <td>-</td> <td>(2-02-12)</td> </tr> <tr> <td>塗材</td> <td>-</td> <td>(2-02-7)~(2-02-11)</td> </tr> </tbody> </table> (2) 改修後のコンクリート打放の出隅面取は20mm、出隅内面取は20×20mmとする。 (3) 改修後の下がり壁の仕上は、壁と同じとする。				仕上種別	既存詳細番号	改修後詳細番号	磁器質タイル(型枠先付)	-	(2-01-9)	磁器質タイル(密着強)	-	(2-01-4)	RC	-	(2-02-7)~(2-02-11)	天然石(40mm未満)	-	(2-02-1)	天然石(40mm以上70mm以下)	-	(2-02-2)	モルタル、防水モルタル	-	(2-02-12)	塗材	-	(2-02-7)~(2-02-11)				
略号	仕上材等	略号	仕上材等																																																								
RC()	公共建築工事標準仕様書(6. . .)による():打放仕上種別	SOP	合成樹脂調合ペイント塗																																																								
		EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗																																																								
		EP-T	合成樹脂エマルジョン機積塗																																																								
		EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗																																																								
		EP-M	多彩機積塗																																																								
仕上種別	既存詳細番号	改修後詳細番号																																																									
磁器質タイル(型枠先付)	-	(2-01-9)																																																									
磁器質タイル(密着強)	-	(2-01-4)																																																									
RC	-	(2-02-7)~(2-02-11)																																																									
天然石(40mm未満)	-	(2-02-1)																																																									
天然石(40mm以上70mm以下)	-	(2-02-2)																																																									
モルタル、防水モルタル	-	(2-02-12)																																																									
塗材	-	(2-02-7)~(2-02-11)																																																									
天井 <table border="1"> <thead> <tr> <th>仕上種別</th> <th colspan="2">既 存</th> <th colspan="2">改 修 後</th> </tr> <tr> <th>詳細番号</th> <th>厚()mm</th> <th>詳細番号</th> <th>厚()mm</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DR</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(3-01-4)</td> <td>※12・12</td> </tr> <tr> <td>DR(凸凹)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(3-01-4)</td> <td>※12・15</td> </tr> <tr> <td>ケイカル板</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(3-01-2)</td> <td>○φ6.0</td> </tr> <tr> <td>GB(NT)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(3-01-2)</td> <td>○φ5</td> </tr> <tr> <td>GB(W)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(3-01-2)</td> <td>○φ5・12.5</td> </tr> <tr> <td>RW又はGW強</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>(3-01-12)</td> <td>・25</td> </tr> </tbody> </table> (3) 改修後の壁~天井の取合は天井付目地(3-11-3、4、7、8:※塩ビ製見切縁・アルミ製見切縁)とする。 (4) 改修後のDRの下張はGB(N)厚5mmとする。 (5) 改修後の外部のDR(軒天)の下張はGB(S)厚12.5mmとする。 (6) 改修後のGB(NT)の大きさ ※910×455mm・910×910mm (7) 改修後の塗装仕上及び壁紙張の場合はGB厚12.5mm(縦目処理工法)とする。				仕上種別	既 存		改 修 後		詳細番号	厚()mm	詳細番号	厚()mm		DR	-	-	(3-01-4)	※12・12	DR(凸凹)	-	-	(3-01-4)	※12・15	ケイカル板	-	-	(3-01-2)	○φ6.0	GB(NT)	-	-	(3-01-2)	○φ5	GB(W)	-	-	(3-01-2)	○φ5・12.5	RW又はGW強	-	-	(3-01-12)	・25	下地の区分 C:コンクリート下地, コンクリートブロック下地, ALC下地, 押出成型セメント板下地 S:軽鉄骨下地, W:木造下地, P:ポリスチレンフォーム床下地(床下地のみ) M:モルタル下地, OA:OAフロア, B:ボード類															
仕上種別	既 存		改 修 後																																																								
詳細番号	厚()mm	詳細番号	厚()mm																																																								
DR	-	-	(3-01-4)	※12・12																																																							
DR(凸凹)	-	-	(3-01-4)	※12・15																																																							
ケイカル板	-	-	(3-01-2)	○φ6.0																																																							
GB(NT)	-	-	(3-01-2)	○φ5																																																							
GB(W)	-	-	(3-01-2)	○φ5・12.5																																																							
RW又はGW強	-	-	(3-01-12)	・25																																																							
内装材料について 内装材料については、下表の国土交通省認定材料(通則的認定又は個別認定)を使用する。				不燃材料 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>認定番号</th> <th>材料名</th> <th>認定番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石膏ボード</td> <td>NM-8612</td> <td>不燃積層石膏ボード</td> <td>NM-8613</td> </tr> <tr> <td></td> <td>NM-8619</td> <td>化粧石膏ボード(木目)</td> <td>NM-8614</td> </tr> <tr> <td>珪酸カルシウム板(TYPE2)</td> <td>NM-8578</td> <td>強化石膏ボード</td> <td>NM-8615</td> </tr> <tr> <td>シーリング石膏ボード t=12.5</td> <td>個別認定品</td> <td>ロックウール化粧吸音板</td> <td>NM-8599</td> </tr> </tbody> </table> 壁紙 壁装材料については、下表の国土交通省認定材料(個別認定)を使用する。				材料名	認定番号	材料名	認定番号	石膏ボード	NM-8612	不燃積層石膏ボード	NM-8613		NM-8619	化粧石膏ボード(木目)	NM-8614	珪酸カルシウム板(TYPE2)	NM-8578	強化石膏ボード	NM-8615	シーリング石膏ボード t=12.5	個別認定品	ロックウール化粧吸音板	NM-8599																																
材料名	認定番号	材料名	認定番号																																																								
石膏ボード	NM-8612	不燃積層石膏ボード	NM-8613																																																								
	NM-8619	化粧石膏ボード(木目)	NM-8614																																																								
珪酸カルシウム板(TYPE2)	NM-8578	強化石膏ボード	NM-8615																																																								
シーリング石膏ボード t=12.5	個別認定品	ロックウール化粧吸音板	NM-8599																																																								
既製品リスト - - -																																																											

■外部仕上表【既存】西校舎
a 図示部分: 躯体【撤去】
c 図示部分: 仕上・下地【撤去】
e 図示部分: 【取外し】
■外部仕上表【改修】西校舎
A 図示部分: 躯体【新設】
C 図示部分: 仕上・下地【新設】
E 図示部分: 【再取付】

■外部仕上表【既存】西校舎				a 図示部分: 躯体【撤去】				c 図示部分: 仕上・下地【撤去】				e 図示部分: 【取外し】				■外部仕上表【改修】西校舎				A 図示部分: 躯体【新設】				C 図示部分: 仕上・下地【新設】				E 図示部分: 【再取付】				
床・土間		基礎・腰壁		外 壁		屋 根		笠木・種		軒 天		建具・手摺		備 考		床・土間		基礎・腰壁		外壁・柱		屋 根		笠木・種		軒 天		建具・手摺		備 考		
【テラス】 コンクリート金縁 目地切 出入口部分階段: 蹴上・踏面共 モルタル金縁 ノンスリップ目地切	f	【基礎】 コンクリート打放 シリコン吹付	d	【外壁】 合板型枠コンクリート打放 目地切 アクリル系リシン吹付 ※一部アスベスト含有 建材(レベル3)	d	【屋根】 片面カラー鉄板 t0.4 真木なし瓦葺葺 アスファルト・フィンク 20kg 木毛セメント板 t25 (T型ジョイナー使用)	c	【軒種】 ステンレス SUS 304 t0.7	c	合板型枠コンクリート打放 目地切 小屋裏換気口: φ150 ABS樹脂ガラリ、防虫網付 アクリル系リシン吹付 ※一部アスベスト含有建材 下地モルタル部分(レベル3)	d	【外部開口部】 アルミサッシ (カバー工法部分は枠を 残す)	c	【外部開口部】 アルミサッシ (カバー工法部分は枠を 残す)	c	【テラス】 既存のまま 一部スロープ設置	F	【基礎】 浮き、ひび割れ部分補修 塗材E塗布	D	【外壁】 浮き、ひび割れ部分補修 (別図参照) 可とう形改修塗材E塗布	D	【屋根】 GL鋼板 t0.4 瓦葺葺 7A7Aアルミ・フィンク 940 t1.0	C	【軒種】 GL鋼板 t0.8 加工	C	クラック補修仕上 可とう形改修塗材E塗布	D	【外部開口部】 アルミサッシ (カバー工法)	C			
【大走り】 コンクリート金縁	f					【種受】 ステンレス SUS 304 FB-4×30 @500	c	【手摺】 バルコニー: スチール製 FP	c																							
【排水構】 合板型枠コンクリート打放 底部:コンクリート金縁 出入口部分: プレキャストコンクリート製 側溝用蓋	f			【外壁打継目地コーキング】 デオコール系	c	【(壁礎)】 片面カラー鉄板 t0.6 ルーフデッキ H=87	b	【(壁礎)】 STK-30 114.3 t3.6 OP	c	【外部開口部周囲】 弾性シーリング	c																					
【バルコニー】 モルタル防水 水洗い ドレン: モルタル防水用 バルコニー中間型 鋼鉄製 φ100 アスファルト焼付	d					【(種突)】 コンクリート打放し 障害: ステンレス SUS 304 t1.2 煙道: 石綿パイプ φ115 ※アスベスト含有建材 (レベル3)	a	【バルコニー笠木】 バルコニー: プレキャストコンクリート	b																							
						【笠木】 カラー鉄板 t0.28 加工	c																									

※ 通り芯X9~X18の外壁及び軒天: 仕上吹付材の下地も取り除きアスベスト含有建材(レベル3)
 ※ アスベスト除去工法については、湿润化及び隔離養生と同等以上の効果を有する工法(集塵装置付の工具を使用する工法)により行うこと

部位	内容	備考
・外部より1m以内のコンクリート又は鉄骨の見え隠れ部分(モルタル塗り部含む) (外壁・内壁・梁・柱・床スラブ・土間)	現場発泡ウレタン t30 吹付(下地清掃)	・内部外部共に施工前に既存下地の浮き及びひび割れ部分に 対策工事を行う(別図参照)
・屋根スラブ天端から1m以内の部分		
・外部に面する開口枠周り	現場発泡ウレタン充填	

■内部仕上表【既存】西校舎

階	室名	床	天井	壁	備考	a 図示部分：躯体【撤去】		c 図示部分：仕上・下地【撤去】		e 図示部分：【取外し】	
						b 図示部分：仕上【撤去】	d 図示部分：【下地調整】	f 既存のまま	f 既存のまま	f 既存のまま	
1階	特支C.R (知障)	フローリングブロック@15 AAC	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
		モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
	特支C.R (自・情障)	フローリングブロック@15 AAC	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
		モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
	保健室	ロンリウム t2.0	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
		モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
	理科準備室	ロンリウム t2.0	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
		モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
第1理科室	ロンリウム t2.0	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	露出配管保護材 ※アスベスト含有建材(レベル2)カーテンレール、カーテン共撤去		
	モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f					
第2理科室	ロンリウム t2.0	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去		
	モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f					
オープンスペース	天然化粧複合フローリング t15 塗装品	f	木製 H100 CL	f	シナ合板 t5.5 CL 石膏ボード t12.5 下地	f	化粧石膏ボード t9.5 LGS	f			
	モルタル下地	f		f	腰壁：唐松羽目板張 t12 CL 合板 t9.0 下地	f					
廊下	ロンリウム t2.0	b	モルタル金鏝 AEP H100	f	モルタル金鏝 AEP(一部：VP)	f	化粧石膏ボード t9.0 LGS	b			
	モルタル下地	d									

■内部仕上表【改修】西校舎

階	室名	床	天井	壁	備考	A 図示部分：躯体【新設】		C 図示部分：仕上・下地【新設】		E 図示部分：【再取付】	
						B 図示部分：仕上【新設】	D 図示部分：【塗替】	F 既存のまま	F 既存のまま	F 既存のまま	
1階	保健室	ビニル床シート t2.0	C	木製 H100 CL	C	シナ合板 t5.5 CL	C	吸音化粧石膏ボード t9.5	B	カーテンレール、カーテン共	
		モルタル下地	C		C	石膏ボード t12.5 下地	C	既存LGS	F		
	特支C.R (知障)	天然化粧複合フローリング t15 塗装品	C	木製 H100 CL	C	シナ合板 t5.5 CL 石膏ボード t12.5 下地/掲示用クロス貼合板 t9.0+石膏ボード t12.5 下地	C	吸音化粧石膏ボード t9.5	B	カーテンレール、カーテン共	ビクチャーレール
		モルタル下地	C		C	腰壁：唐松羽目板張 t12 CL 合板 t9.0 下地	C	既存LGS	F		
	特支C.R (自・情障)	天然化粧複合フローリング t15 塗装品	C	木製 H100 CL	C	シナ合板 t5.5 CL 石膏ボード t12.5 下地/掲示用クロス貼合板 t9.0+石膏ボード t12.5 下地	C	吸音化粧石膏ボード t9.5	B	カーテンレール、カーテン共	ビクチャーレール
		モルタル下地	C		C	腰壁：唐松羽目板張 t12 CL 合板 t9.0 下地	C	既存LGS	F		
	特支C.R (自・情障)	天然化粧複合フローリング t15 塗装品	C	木製 H100 CL	C	シナ合板 t5.5 CL 石膏ボード t12.5 下地/掲示用クロス貼合板 t9.0+石膏ボード t12.5 下地	C	吸音化粧石膏ボード t9.5	B	カーテンレール、カーテン共	ビクチャーレール
		モルタル下地	C		C	腰壁：唐松羽目板張 t12 CL 合板 t9.0 下地	C	既存LGS	F		
多目的室2	天然化粧複合フローリング t15 塗装品	C	木製 H100 CL	C	シナ合板 t5.5 CL	C	吸音化粧石膏ボード t9.5	B	カーテンレール、カーテン共		
	モルタル下地	C		C	石膏ボード t12.5 下地	C	既存LGS	F			
多目的室1	天然化粧複合フローリング t15 塗装品	C	木製 H100 CL	C	シナ合板 t5.5 CL 石膏ボード t12.5 下地/掲示用クロス貼合板 t9.0+石膏ボード t12.5 下地	C	吸音化粧石膏ボード t9.5	B	カーテンレール、カーテン共		
	モルタル下地	C		C	腰壁：唐松羽目板張 t12 CL 合板 t9.0 下地	C	既存LGS	F			
相談室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
廊下	ビニル床シート t2.0	B	木製 H100 CL	C	シナ合板 t5.5 CL 石膏ボード t12.5 下地	C	化粧石膏ボード t9.5	B	ビクチャーレール、物掛フック		
	既存モルタル下地	F		C	腰壁：唐松羽目板張 t12 CL 合板 t9.0 下地	C	既存LGS	F			

2階

C.R④	フローリングブロック@15 AAC	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
	モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
C.R⑤	フローリングブロック@15 AAC	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
	モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
PTA室 地域連携室 学年倉庫	フローリングブロック@15 AAC	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
	モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
特支C.R (自・情障)	フローリングブロック@15 AAC	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
	モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
調理室	ロンリウム t2.0	b	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
	モルタル下地	d		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
家庭科室	ロンリウム t2.0	b	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
	モルタル下地	d		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
廊下	ロンリウム t2.0	b	モルタル金鏝 AEP H100	f	モルタル金鏝 AEP(一部：VP)	f	化粧石膏ボード t9.0 LGS	b		
	モルタル下地	d								

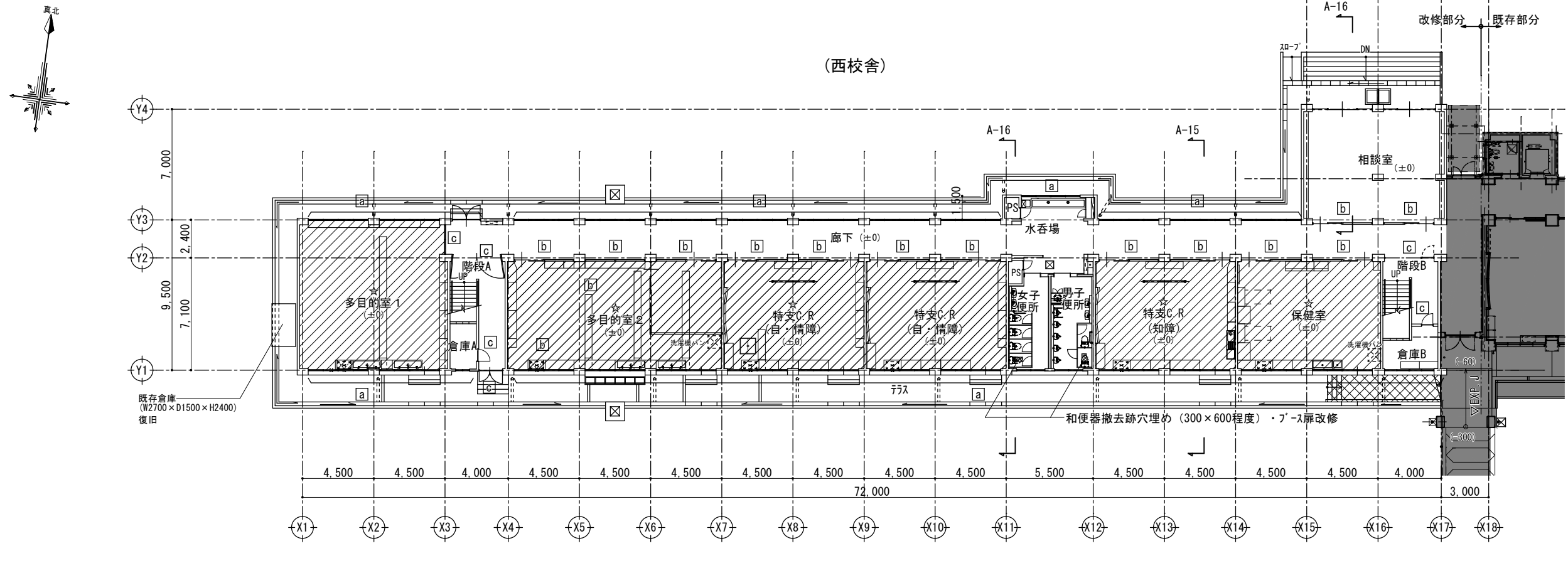
3階

少人数教室	フローリングブロック@15 AAC	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
	モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
C.R⑩	フローリングブロック@15 AAC	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
	モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
C.R⑪	フローリングブロック@15 AAC	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
	モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
資料室	フローリングブロック@15 AAC	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張 LGS	b	カーテンレール、カーテン共撤去	
	モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f				
音楽準備室	天然化粧複合フローリング t15 塗装品	C	木製 H100 CL	C	有効シナ合板 t6.0 CL 裏面：寒冷紗 グラスウール t50	C	吸音化粧石膏ボード t9.5	B	カーテンレール、カーテン共	
	モルタル下地	C		C	LGS下地	C	既存LGS	F		

■内部仕上表【既存】西校舎										■内部仕上表【改修】西校舎																			
a 図示部分：躯体【撤去】					c 図示部分：仕上・下地【撤去】					e 図示部分：【取外し】					A 図示部分：躯体【新設】					C 図示部分：仕上・下地【新設】					E 図示部分：【再取付】				
b 図示部分：仕上【撤去】					d 図示部分：【下地調整】					f 既存のまま					B 図示部分：仕上【新設】					D 図示部分：【塗替】					F 既存のまま				
階	室名	床	撤去内容	巾木	撤去内容	壁	撤去内容	天井	撤去内容	備考	階	室名	床	撤去内容	巾木	撤去内容	壁	撤去内容	天井	撤去内容	備考								
3階	音楽準備室	ロンリウム t2.0	c	モルタル金鏝 AEP H100	f	ラワン合板 t5.5 目透張 OP	c	吸音テックス t9.0 ※アスベスト含有建材(レベル3)	c	カーテンレール、カーテン共撤去	3階	多目的室3	天然木化粧複合フローリング t15 塗装品	C	木製 H100 CL	C	有孔シナ合板 t6.0 CL 裏面：寒冷紗 グラスウール t50	C	吸音化粧石膏ボード t9.5	C	カーテンレール、カーテン共								
		モルタル下地	c		f	腰壁：モルタル金鏝 AEP	f	LGS下地	c				C		C	LGS	C		C										
	第1音楽室	ロンリウム t2.0	c	木製 OP H100	c	有孔ラワン合板 t5.5 目透張 OP 裏面寒冷紗貼 グラスウール t25 充填	c	吸音テックス t9.0 ※アスベスト含有建材(レベル3)	c	カーテンレール、カーテン共撤去	音楽室	音楽室	天然木化粧複合フローリング t15 塗装品	C	木製 H100 CL	C	有孔シナ合板 t6.0 CL 裏面：寒冷紗 グラスウール t50	C	岩綿吸音板 t9.0	C	カーテンレール、カーテン共								
		モルタル下地	c		c		c	木下地	c				C		C	LGS下地	C	石膏ボード t9.5 LGS	C		C								
第2音楽室	ロンリウム t2.0	c	木製 OP H100	c	有孔ラワン合板 t5.5 目透張 OP 裏面寒冷紗貼 グラスウール t25 充填	c	吸音テックス t9.0 ※アスベスト含有建材(レベル3)	c	カーテンレール、カーテン共撤去	廊下	廊下	ビニル床シート t2.0	B	木製 H100 CL	C	シナ合板 t5.5 CL 石膏ボード t12.5下地	C	化粧石膏ボード t9.5 梁型 AEP塗装 ※アスベスト残置の上塗替え	B	ビクチャーレール、物掛け用木製フック、SUS製手摺									
	モルタル下地	c		c		c	木下地	c				F	既存モルタル下地	F		C	LGS	F											
廊下	ロンリウム t2.0	b	モルタル金鏝 AEP H100	f	モルタル金鏝 AEP(一部：VP)	f	化粧石膏ボード t9.0 梁型 モルタル金鏝 AEP ※アスベスト含有建材(レベル3)	f	LGS下地	階段	階段	ビニル床シート t2.0	B	木製 H100 CL	C	シナ合板 t5.5 CL 石膏ボード t12.5下地	C	化粧石膏ボード t9.5 梁型 AEP塗装	B	SUS製ノンスリップ#40 手すり タモ集成材加工 笠木 タモ集成材加工 掲示板									
	モルタル下地	d		f		f		f				F	既存モルタル下地	F		C	LGS	F											
共通	階段	蹴上、踏面共 ロンリウム t=2.0	b	モルタル金鏝 AEP H50	f	(手摺壁)モルタル金鏝 AEP	f	化粧石膏ボード t9.0 段裏合板型枠コンクリート打放	b	手摺、笠木、ノンスリップ、掲示板共撤去	階段下倉庫	階段下倉庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—							
		モルタル下地	d		f		f	LGS下地	f				F	既存モルタル下地	F		C	既存LGS	F										
階段下倉庫	カラクリート金鏝	f	モルタル金鏝 H100	f	コンクリート素地	f	合板型枠コンクリート打放(段裏共)	f		水飲場	水飲場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								
	—	—	—	—	—	—	—	—	—			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								
水飲場	長尺塩ビシート t2.0	f	木製 H100 CL	f	シナ合板 t5.5 目透かし張 CL	f	化粧石膏ボード t9.5	f		男子WC	男子WC	和式便器改修部分 ビニル床シート t2.0	C	—	—	—	—	化粧石膏ボード t9.5	B	ビニル床シート：抗菌・耐尿・防滑・防汚仕様									
	モルタル下地	f		f	耐水石膏ボード t12.5	f	LGS下地	f				C	モルタル下地	C		C		C	既存LGS	F									
男子WC	和式便器改修部分 長尺塩ビシート t2.5	c	床材立上 H100	f	化粧ケイカル板 t6.0 目地シール	f	化粧石膏ボード t9.5	b		女子WC	女子WC	和式便器改修部分 ビニル床シート t2.0	C	—	—	—	—	化粧石膏ボード t9.5	B	ビニル床シート：抗菌・耐尿・防滑・防汚仕様									
	モルタル下地	c		f	耐水石膏ボード t12.5	f	LGS下地	f				C	モルタル下地	C		C		C	既存LGS	F									
女子WC	和式便器改修部分 長尺塩ビシート t2.5	c	床材立上 H100	f	化粧ケイカル板 t6.0 目地シール	f	化粧石膏ボード t9.5	b				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								
	モルタル下地	c		f	耐水石膏ボード t12.5	f	LGS下地	f				C	モルタル下地	C		C		C	既存LGS	F									

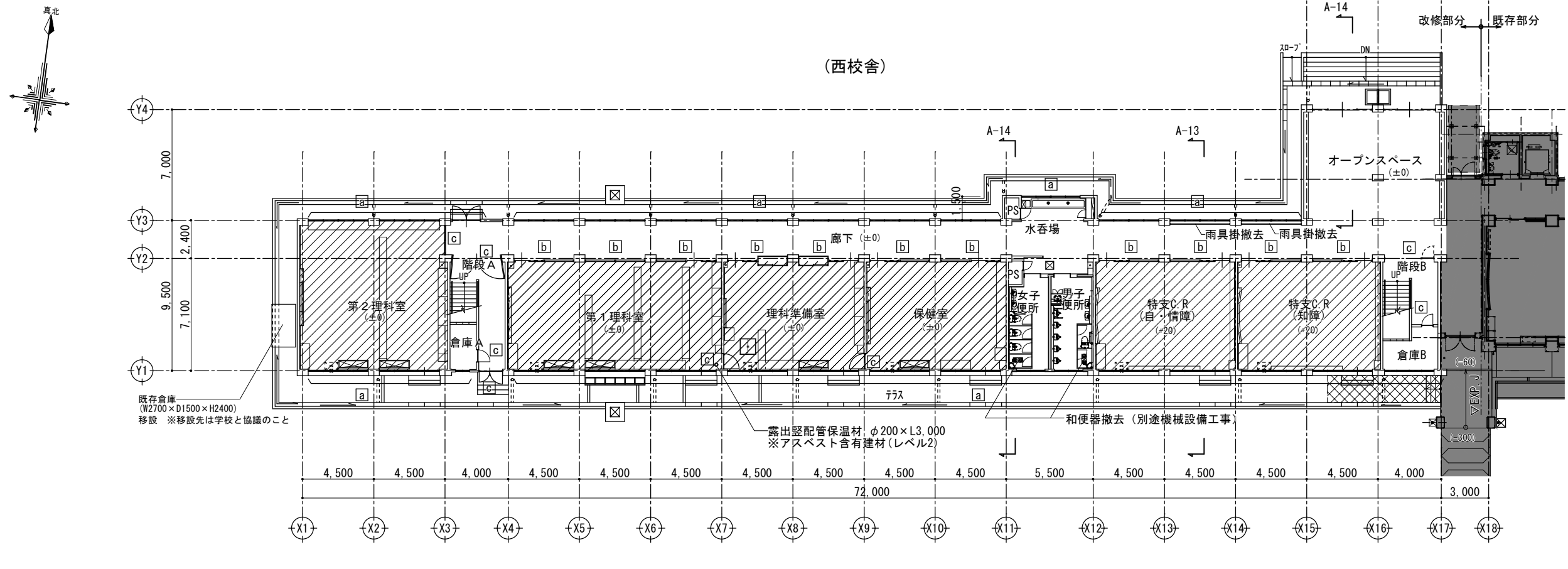
特記事項 ※内部壁<モルタル金にてAEP/VP>は下地モルタルがアスベスト含有建材であり、LGS下地のアンカー打ち込み時は集塵装置付工具を使用する等、特記仕様書(5)に従い適切に処理を行うこと

改修1階平面図



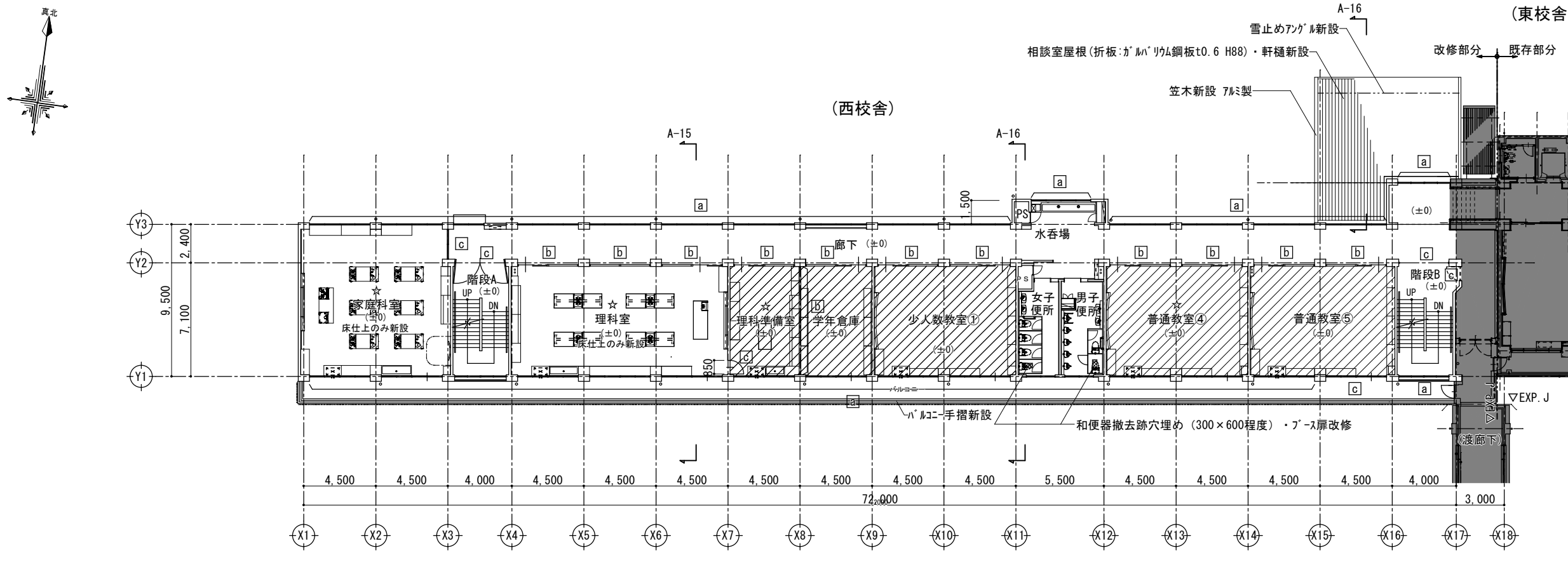
- ... 壁新設部分
- ... 改修外部分
- ... 床モジュール新設部分
- ... 床RC躯体新設部分
- [a] ... サッシ新設(加パ-工法)
- [b] ... スクールパーテーション新設
- [c] ... サッシ建具新設(建具枠共)
- (+ . .) ... FLレベル
- ☆ ... 化学物質濃度測定室

既存1階平面図

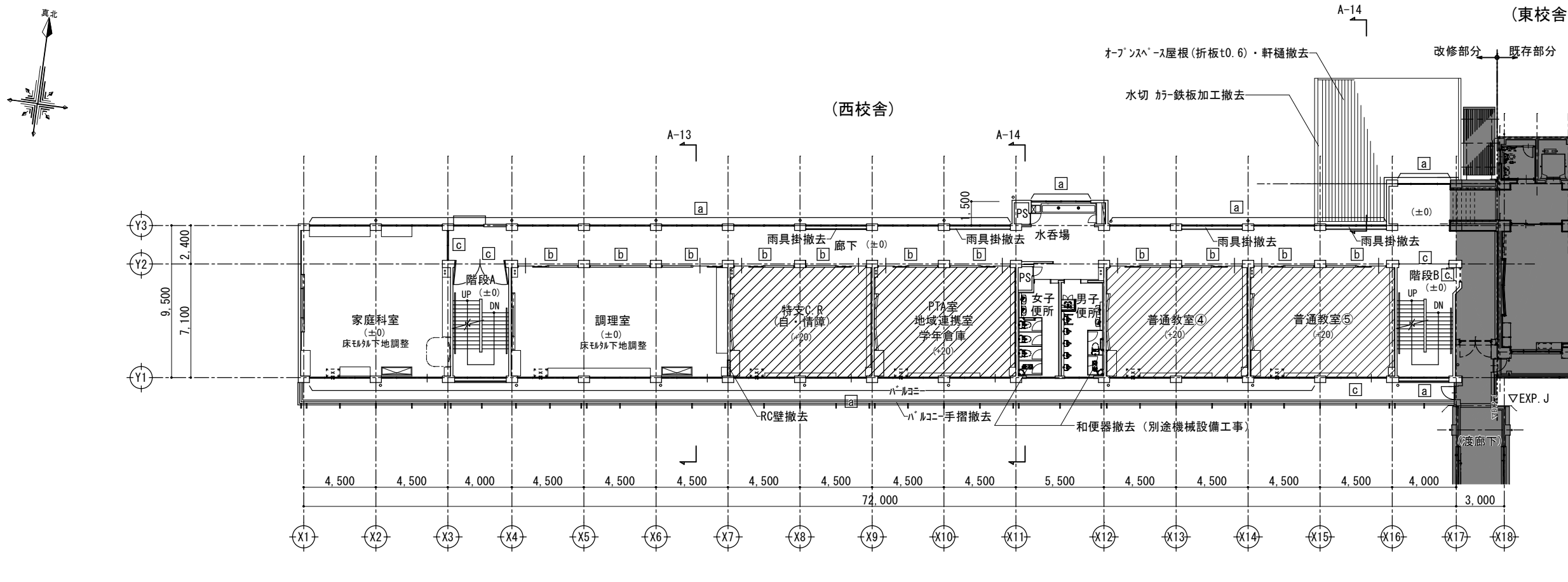


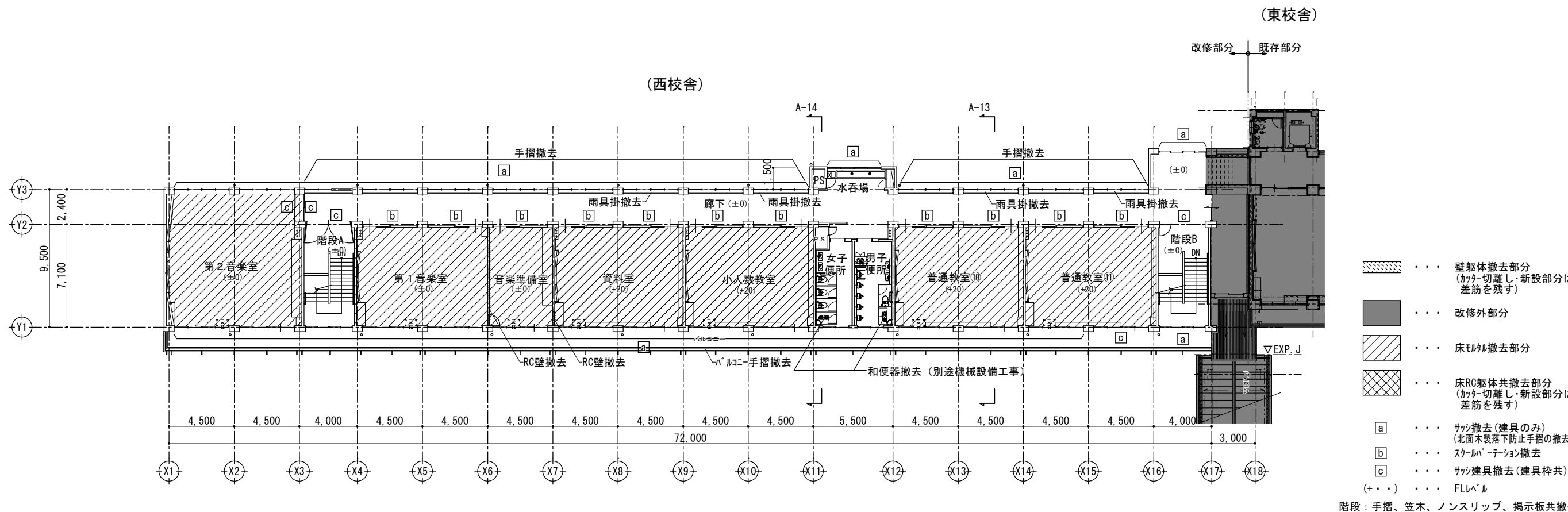
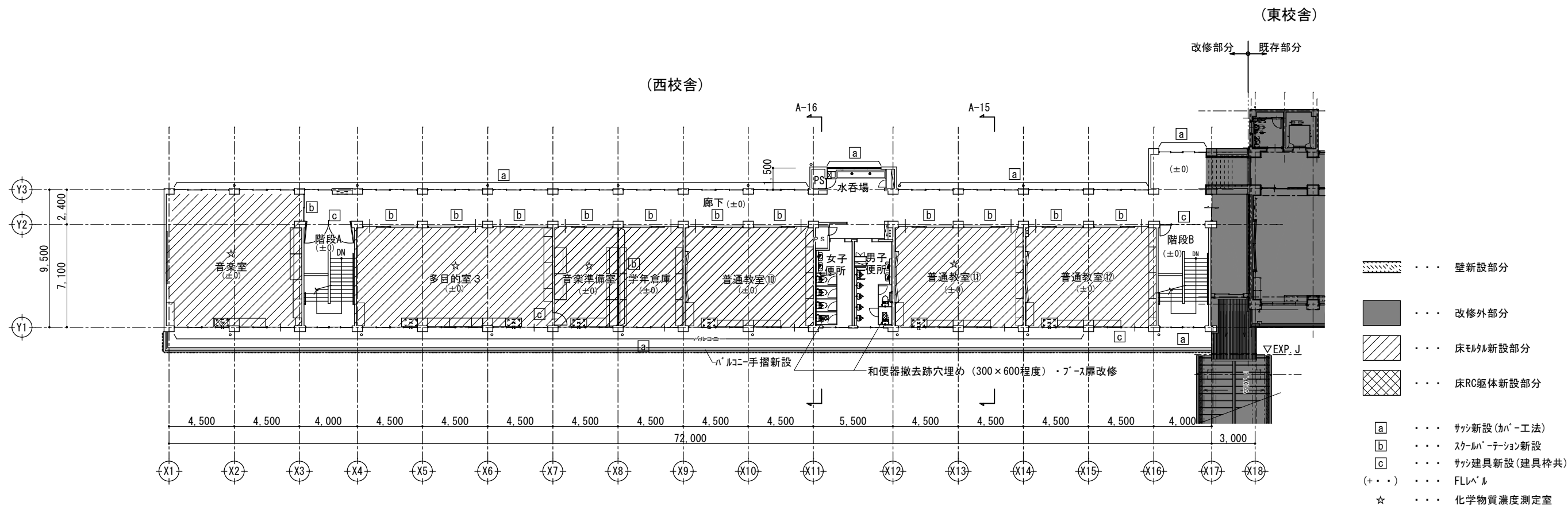
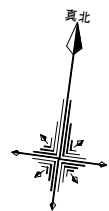
- ... 壁躯体撤去部分
(カッター切離し・新設部分は
差筋を残す)
 - ... 改修外部分
 - ... 床モジュール撤去部分
 - ... 床RC躯体共撤去部分
(カッター切離し・新設部分は
差筋を残す)
 - [a] ... サッシ撤去(建具のみ)
 - [b] ... スクールパーテーション撤去
 - [c] ... サッシ建具撤去(建具枠共)
 - (+ . .) ... FLレベル
- 階段：手摺、笠木、ノンスリップ、掲示板共撤去

改修2階平面図

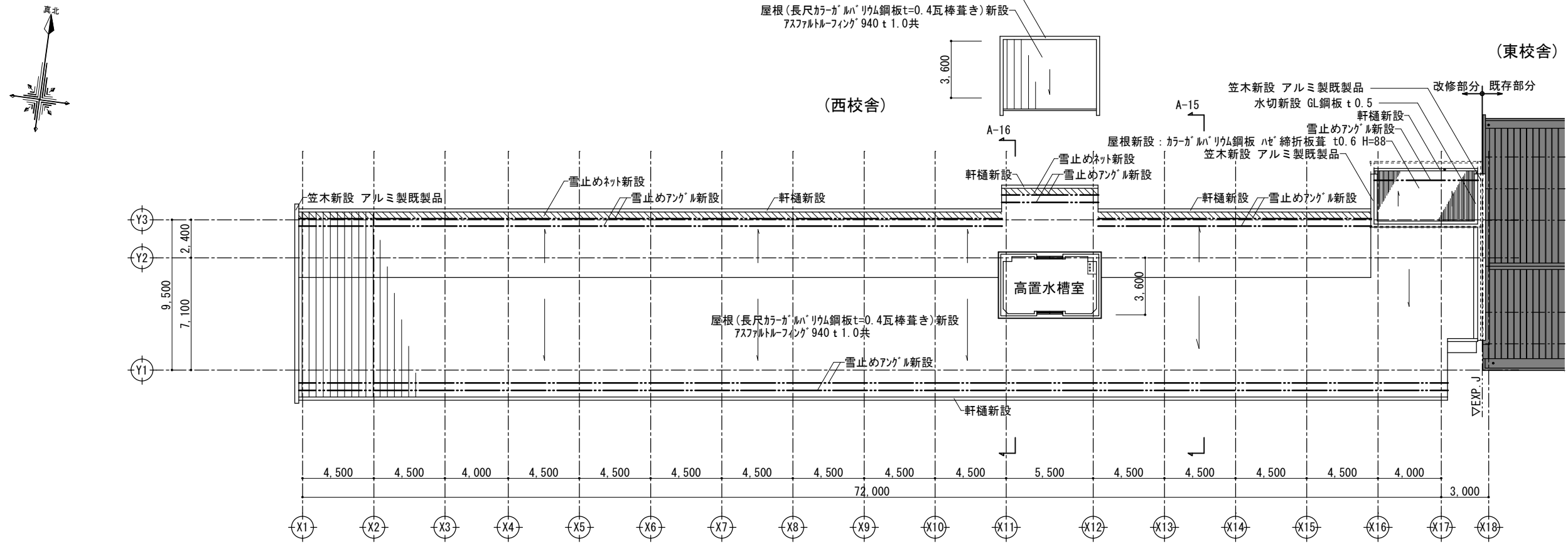


既存2階平面図

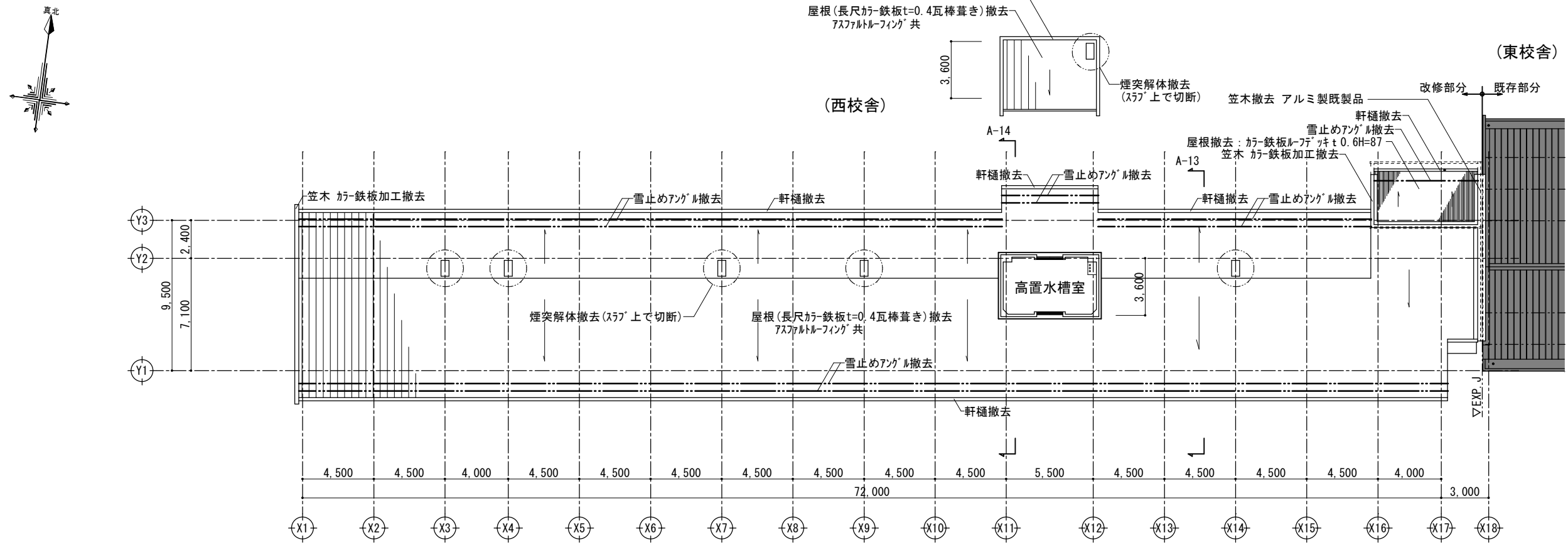




改修屋根伏図

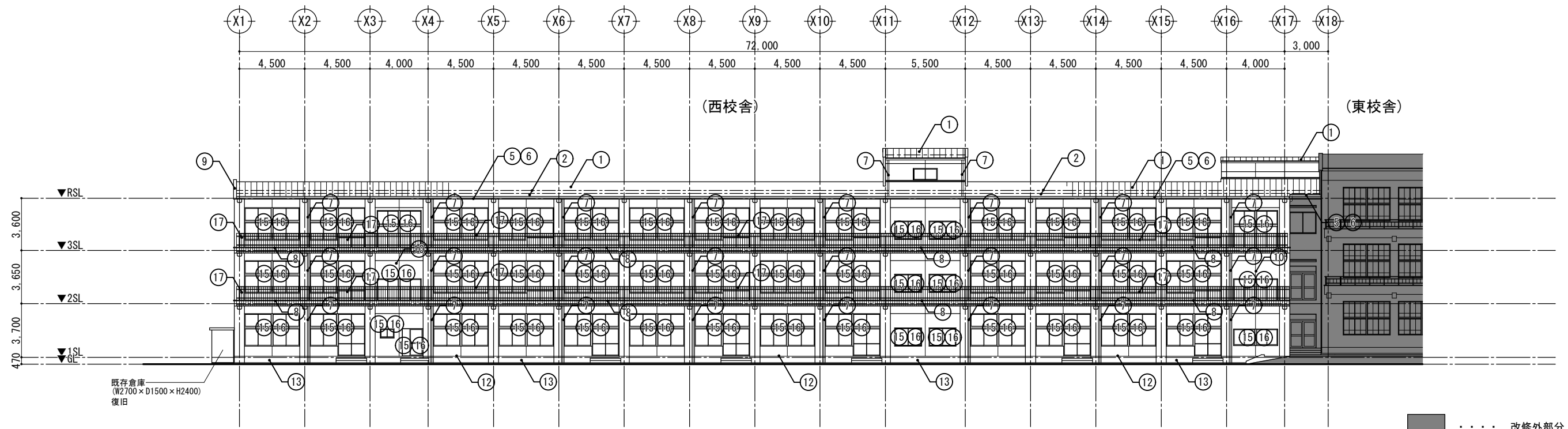


既存屋根伏図



改修南面立面図

RC躯体新設部分

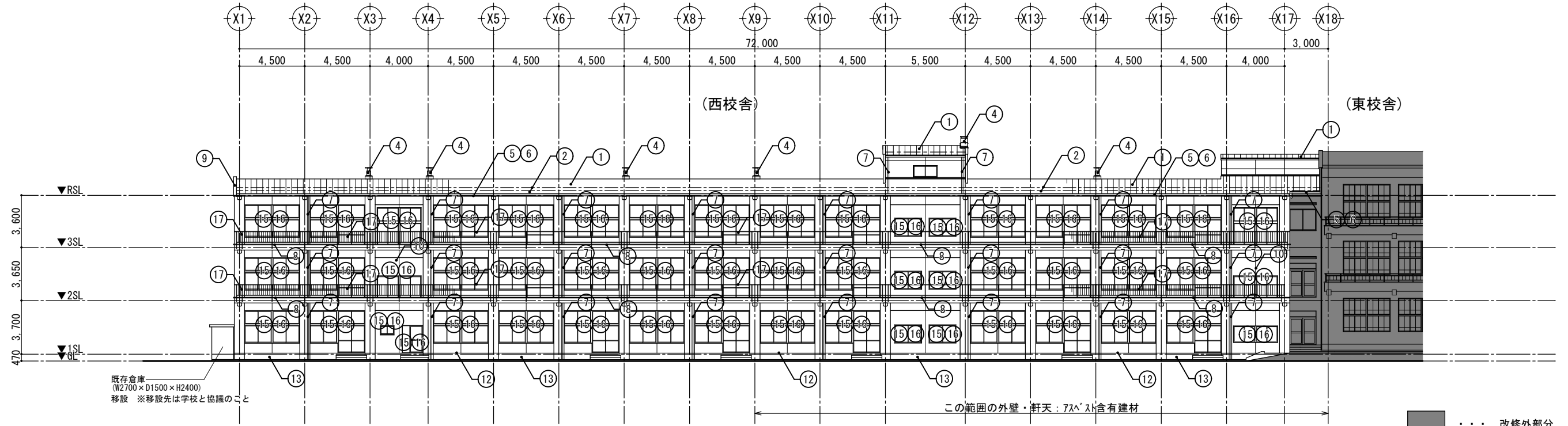


改修外部分

※ 特記無き外壁・柱・梁等の仕上は⑩とする

既存南面立面図

躯体まで撤去部分
(カッター切離し)
・躯体新設部分は差筋を残す

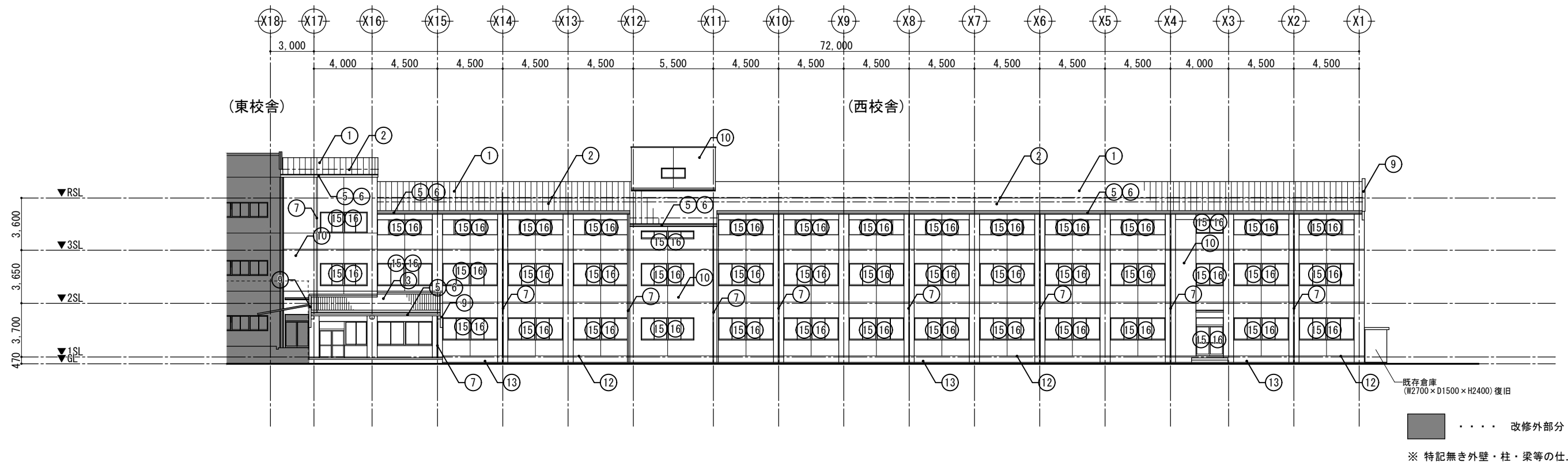


改修外部分

※ 特記無き外壁・柱・梁等の仕上は⑩とする

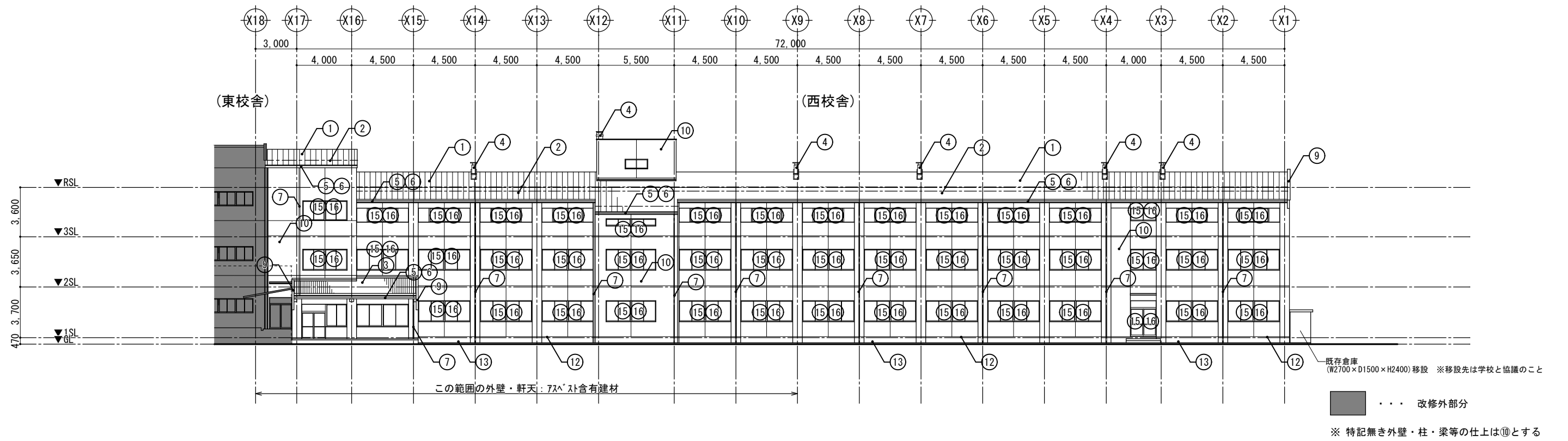
改修北面立面図

RC躯体新設部分

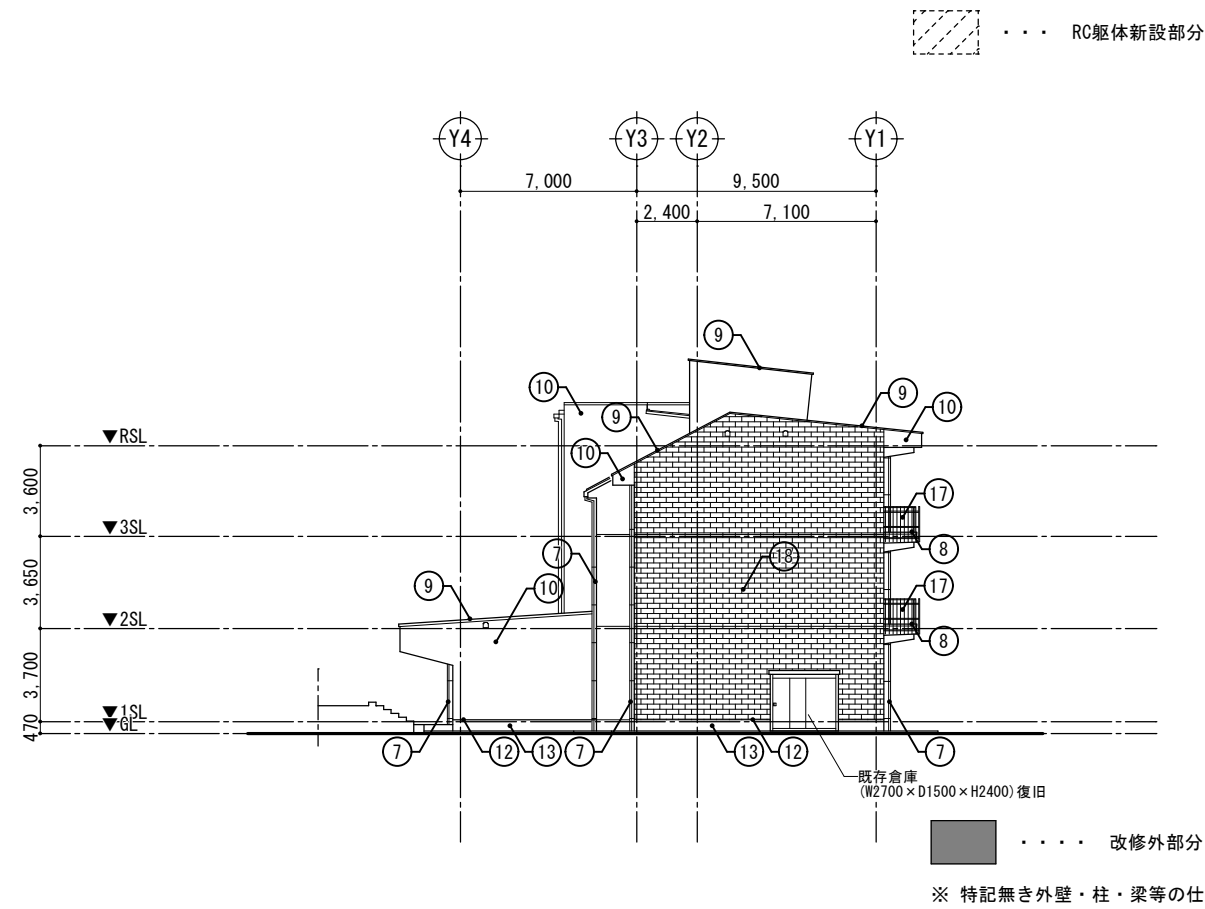


既存北面立面図

躯体まで撤去部分
(カッター切離し)
・躯体新設部分は差筋を残す



改修西面立面図

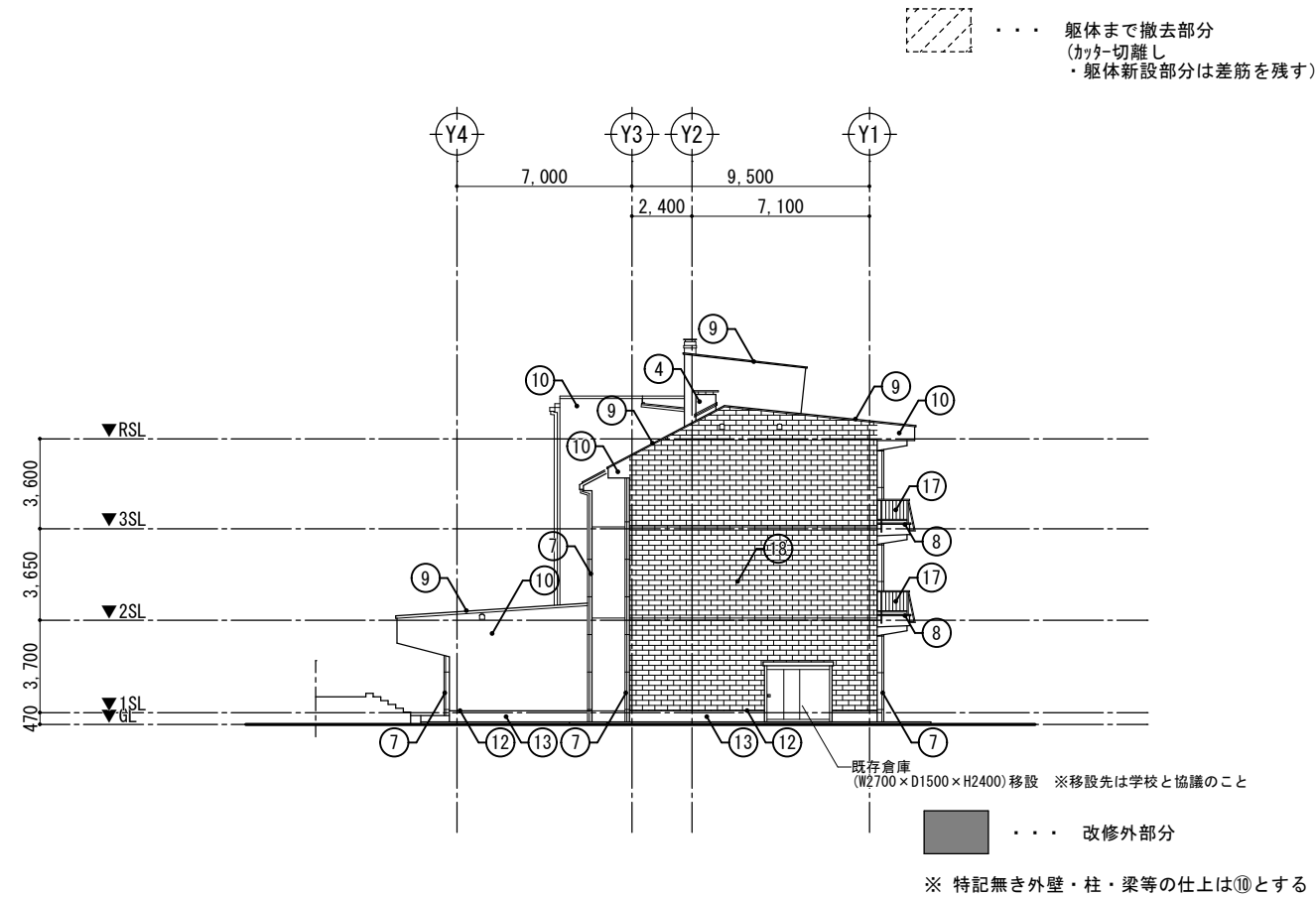


【改修仕上】

材質名	
1	屋根：GL鋼板 t0.4 瓦棒葺き
2	屋根：雪止め/L-50×50×4 2段 溶融亜鉛メッキ
3	屋根：GL鋼板 t0.6 H=88 ハレ 締折板葺き
4	*
5	軒樋：GL鋼板 t1.0 加工
6	軒受：溶融亜鉛メッキ製 受金物 FB4.5×50加工 @450
7	縦樋：アルミ製既製品 114φ ステンレス支持金物 @1,000 固定
8	ハルコニ笠木：アルミ製 既製品
9	笠木：アルミ製 既製品
10	外壁：可とう系改修塗材E塗布、X9-X18通りの範囲：高圧洗浄の上、外壁材薄塗材E 可とう形改修塗材E塗布
11	外壁：一部躯体新設 可とう系塗材E塗布
12	外壁：打継目地コーキング/弾性シーリング
13	基礎：可とう系改修用塗材E塗布
14	基礎：一部 躯体撤去部/珪藻土補修 可とう系改修用塗材E塗布
15	外部開口部：アルミサッシ(カバー工法)
16	外部開口部周囲：弾性シーリング
17	手摺：ハルコニ/アルミ製 既製品
18	外壁：窯業系サイディング(2丁掛タイル柄)

※ 外壁廻り打継目地・伸縮目地・他材取合部分は弾性シーリング撤去の上、打ち替えとする。

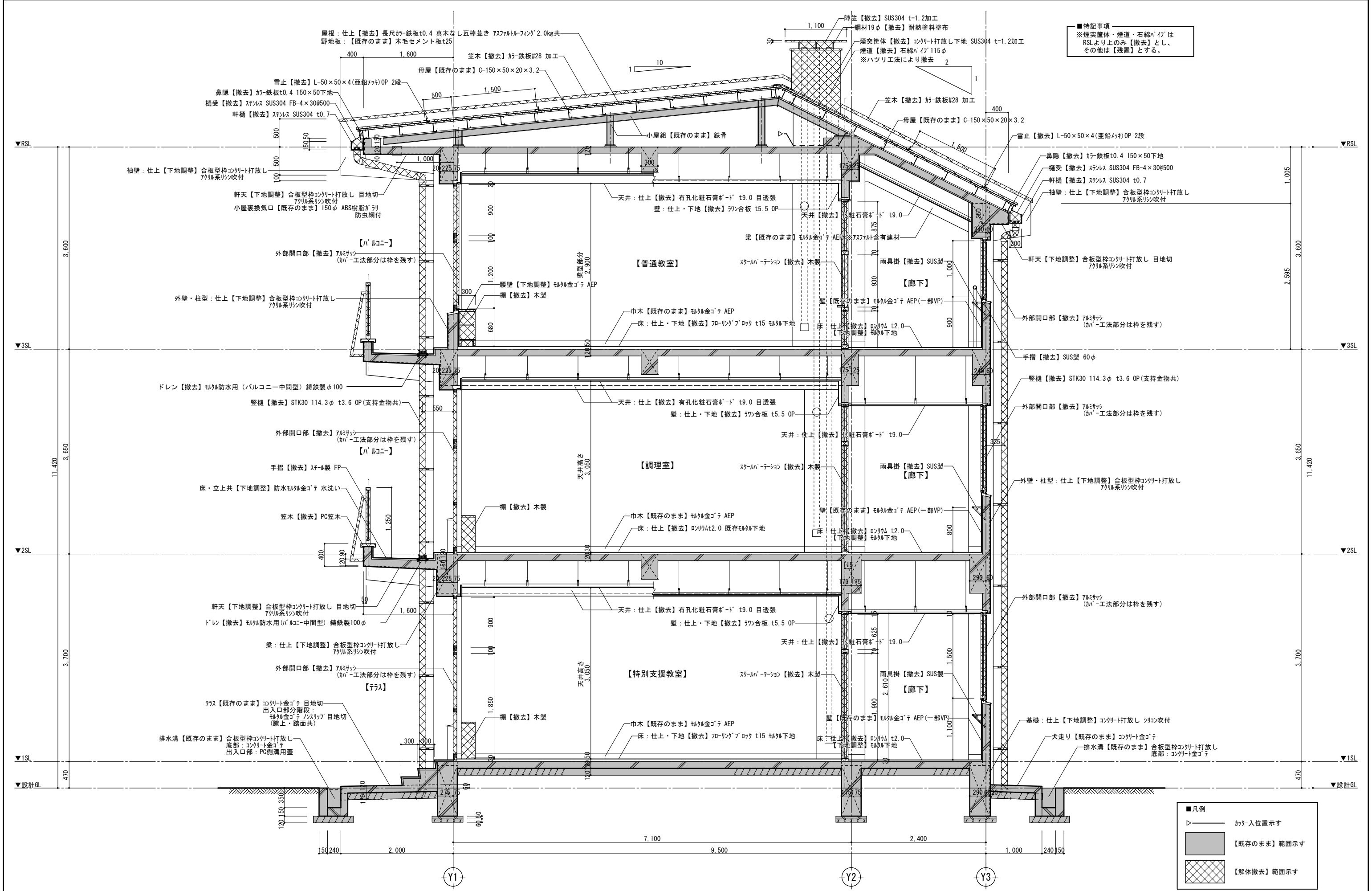
既存西面立面図



【既存仕上】

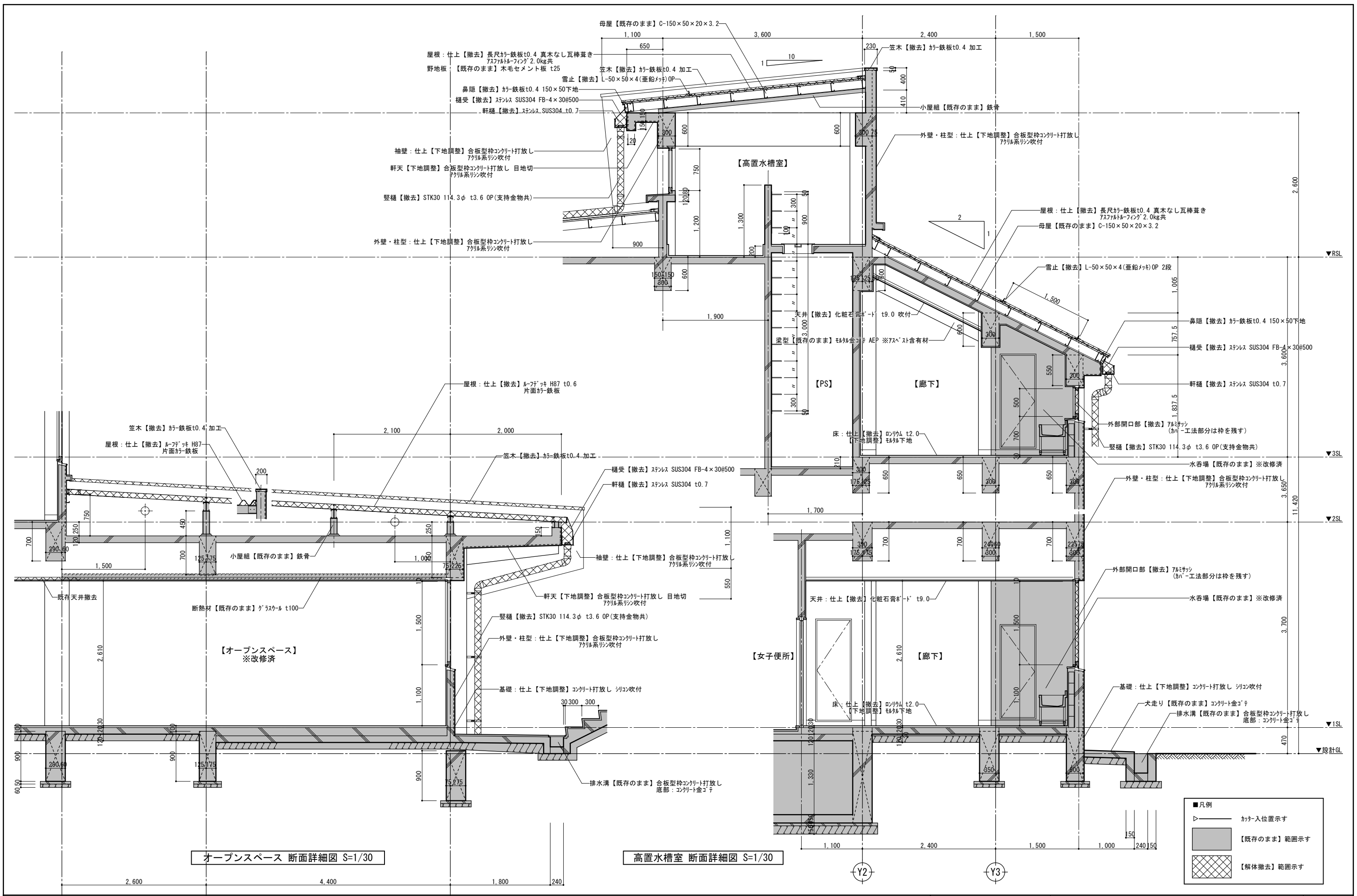
材質名		
1	屋根：片面が-鉄板50.4 心木なし瓦棒葺き	仕上撤去
2	屋根：雪止め/L-50×50×4(亜鉛メッキ) OP 2級	仕上・下地撤去
3	屋根：片面が-鉄板 ルーフデッキ H=87	仕上撤去
4	煙突陣笠：ステンレス SUS304 t1.2+筐体共	撤去
5	軒樋：ステンレス SUS304 t0.7	仕上・下地撤去
6	軒受：ステンレス SUS304 FB-4×30 @500	仕上・下地撤去
7	縦樋：STK-30 114.3 t3.6 OP	仕上・下地撤去
8	ハルコニ笠木：ハルコニ/プレキャストコンクリート	仕上撤去
9	笠木：が-鉄板 t0.28 加工	仕上・下地撤去
10	外壁：合板型枠コンクリート打放し 目地切 アクリル系シリコン吹付	下地調整
11	外壁：一部 カッター入のうえ撤去	躯体撤去/仕上・下地撤去
12	外壁：打継目地コーキング/デ'オール系	仕上・下地撤去
13	基礎：コンクリート打放し シリコン吹付	下地調整
14	基礎：一部 躯体撤去	仕上・下地撤去
15	外部開口部：アルミサッシ(カバー工法部分は枠を残す)	仕上・下地撤去
16	外部開口部周囲：弾性シーリング	仕上・下地撤去
17	手摺：ハルコニ/スチール製 OP	仕上・下地撤去
18	外壁：窯業系サイディング(2丁掛タイル柄)	既存のまま

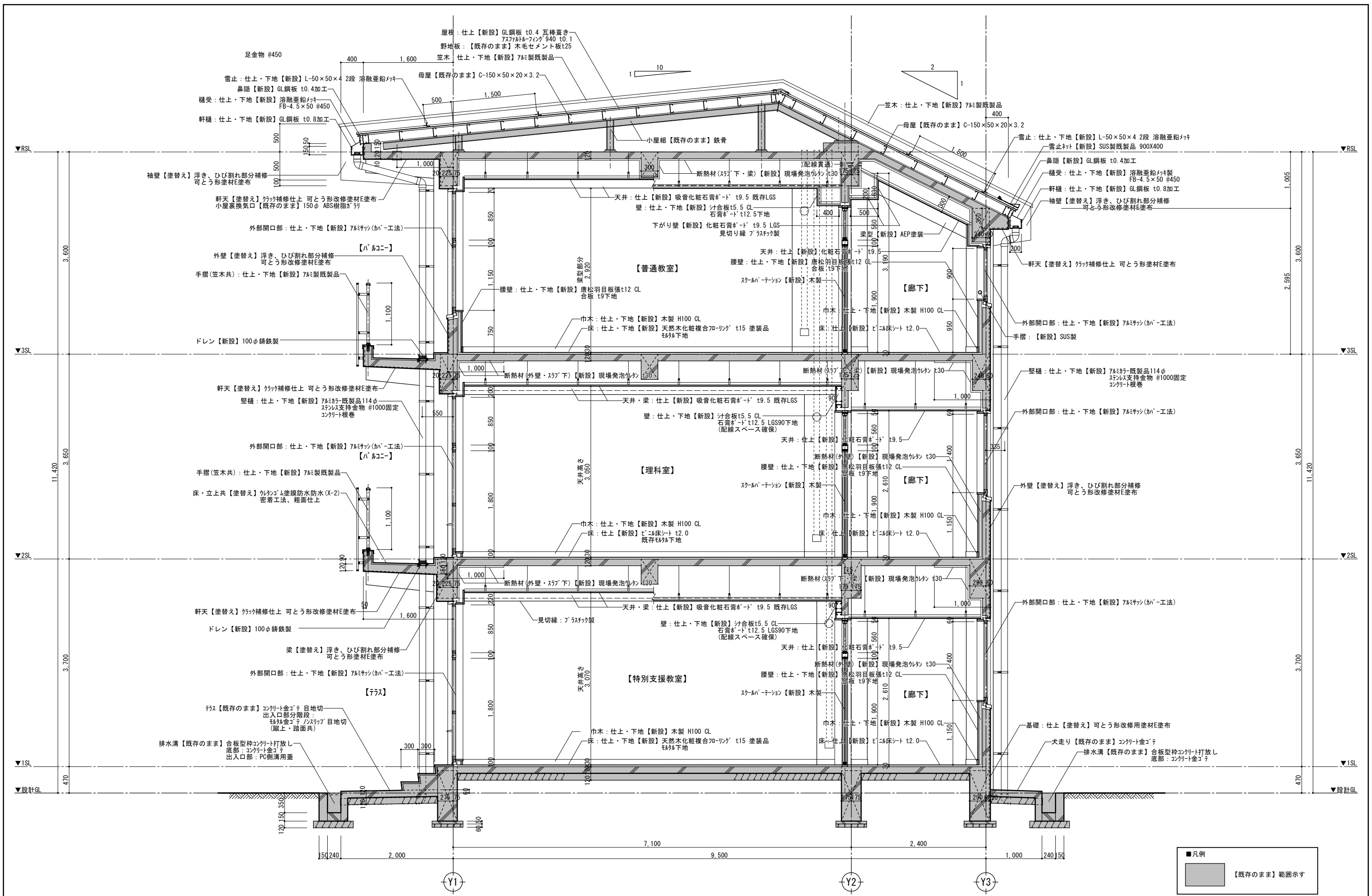
※ 通り芯X9~X18の外壁及び軒天：仕上吹付材の下地珪藻土含有建材(ハレ#3)
 ※ アスベスト除去工法については、湿潤化及び隔離養生と同等以上の効果を有する工法(集塵装置付の工具を使用する工法)により行うこと



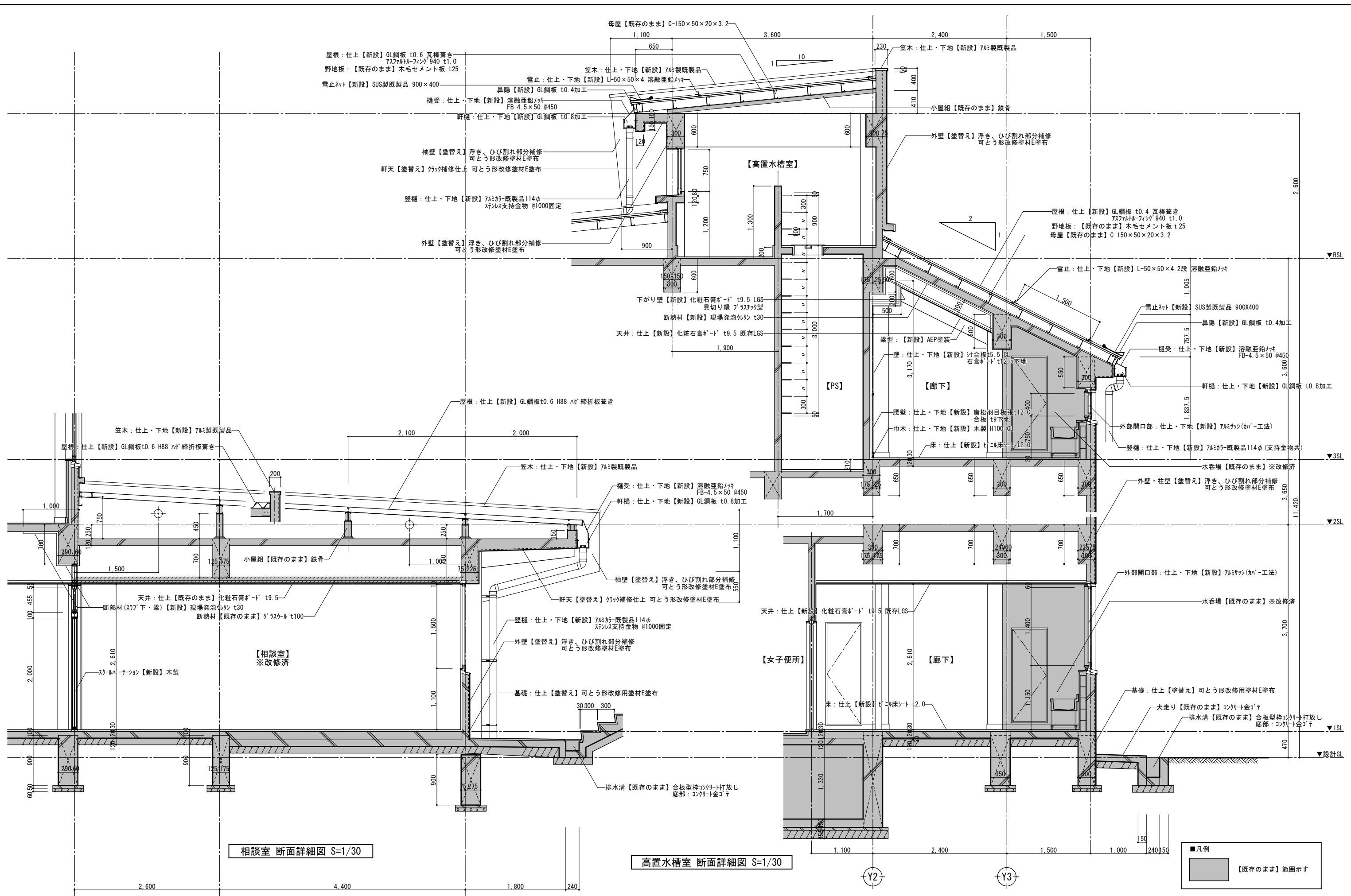
■特記事項
 ※煙突躯体・煙道・石綿パイプはRSLより上のみ【撤去】とし、その他は【残置】とする。

- 凡例
- ▷ かつ入位置示す
 - 【既存のまま】範囲示す
 - ▨ 【解体撤去】範囲示す





■凡例
 [] 既存のまま 範囲示す



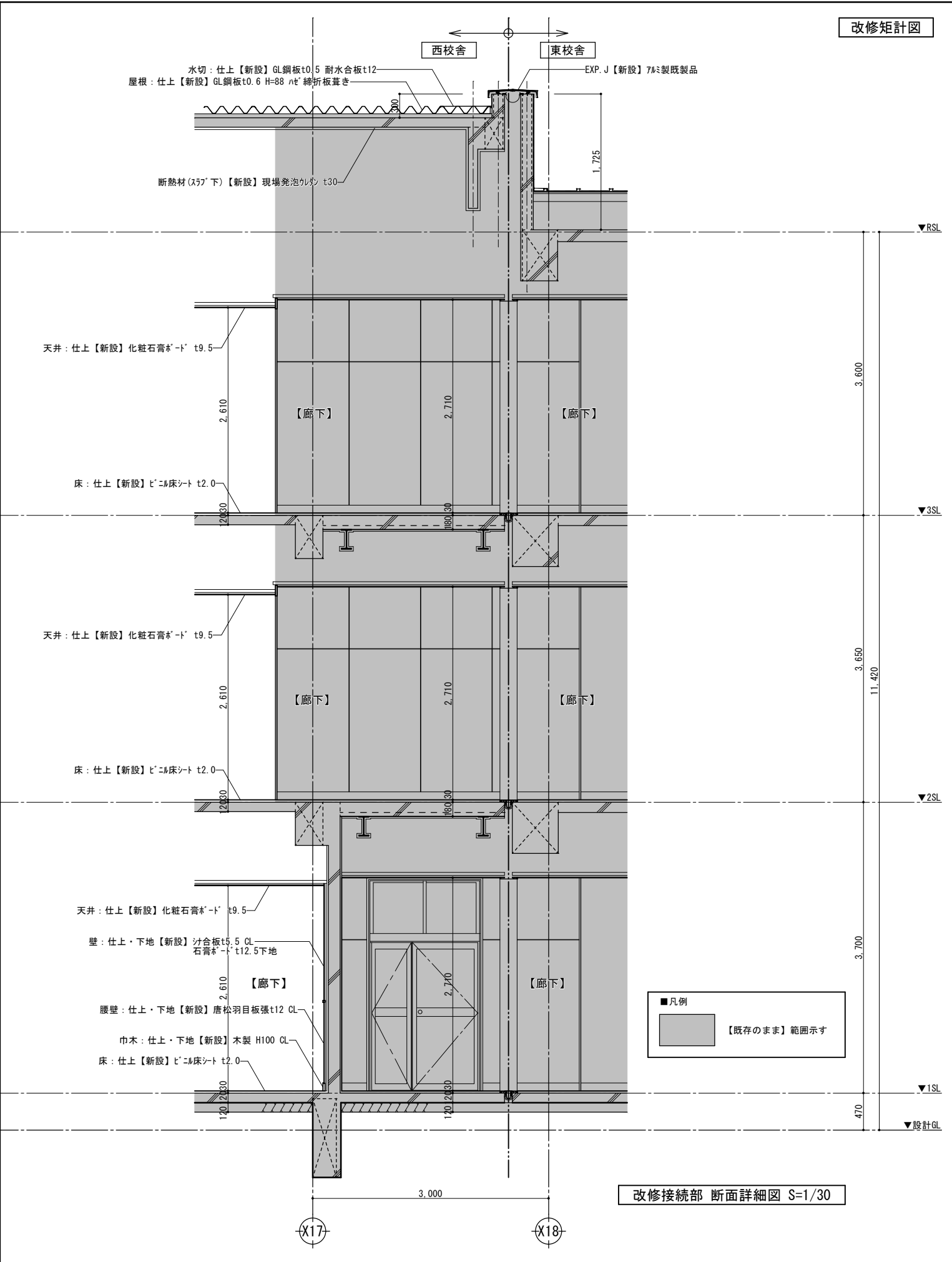
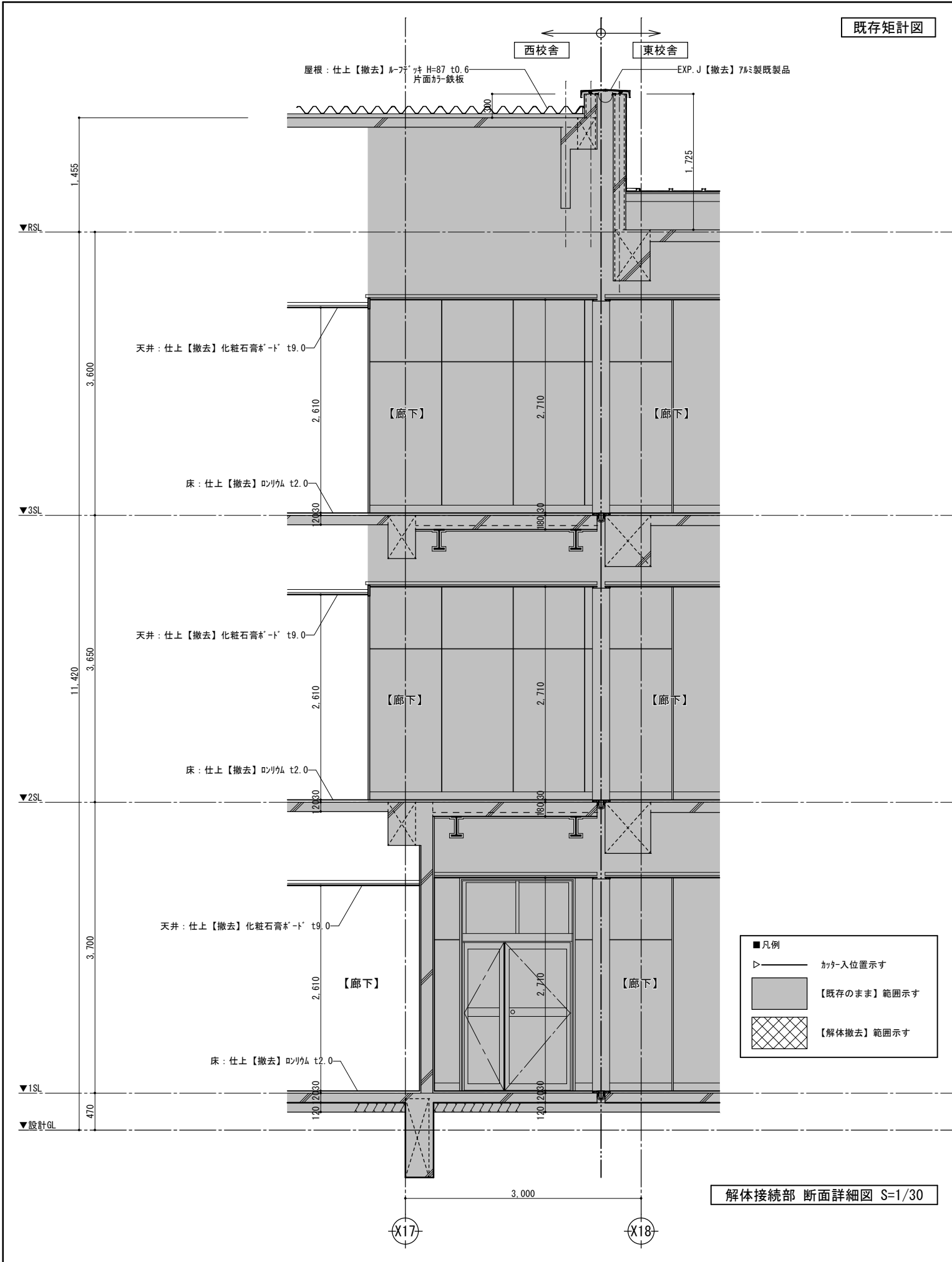
相談室 断面詳細図 S=1/30

高置水槽室 断面詳細図 S=1/30

■凡例
 【既存のまま】範囲示す

既存矩計図

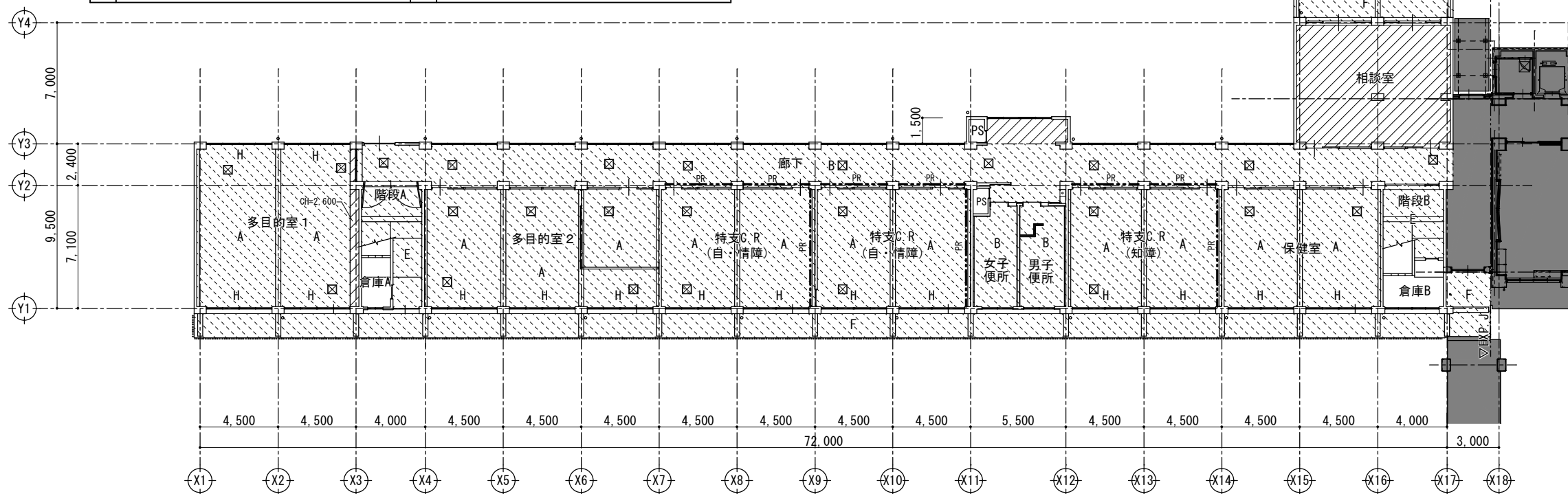
改修矩計図



改修1階天井伏図

【改修仕上凡例】

A	吸音化粧石膏ボード t9.5	H	カーテンレール・カーテン共新設
B	化粧石膏ボード t9.5	☒	天井点検口
C	岩綿吸音板 t9.0 石膏ボード t9.5 LGS	PR	ビクチャレール
D	*		教室内は壁に取付け、廊下はスクリーン・天井上枠に取付け
E	AEP塗装		
F	クラック補修仕上 可とう形改修塗材E塗布		
G	*		



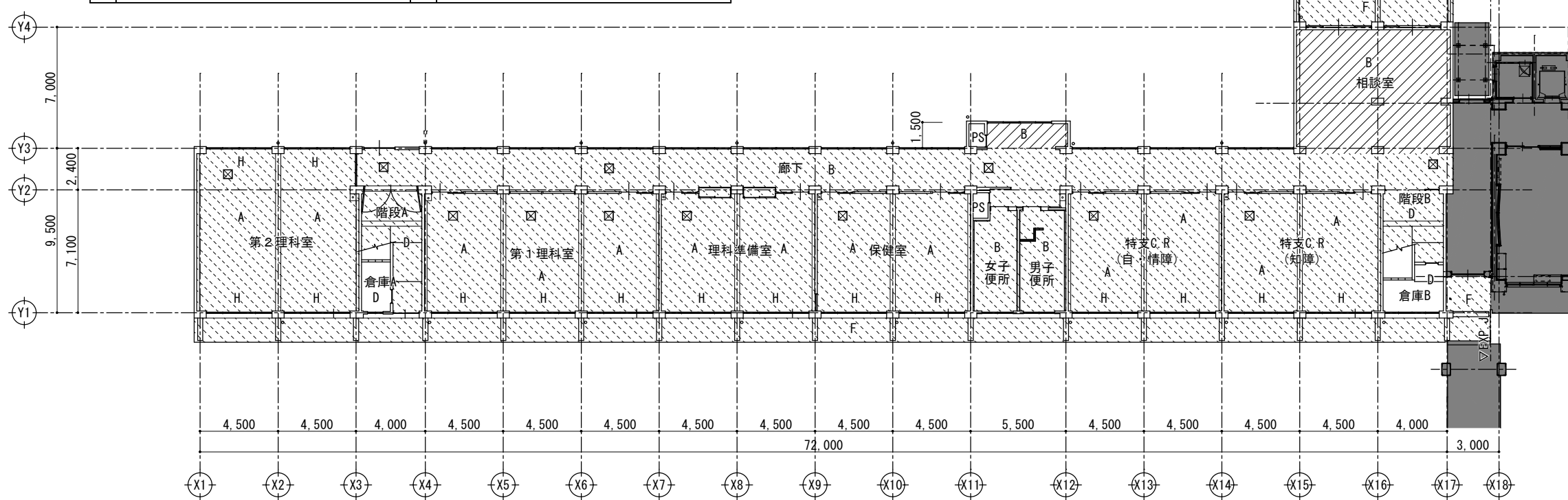
■凡例

- 改修外部分
- 【既存のまま】範囲を示す
- 仕上【新設】範囲を示す

既存1階天井伏図

【既存仕上凡例】

A	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張	H	カーテンレール・カーテン共撤去
B	化粧石膏ボード t9.0	☒	天井点検口撤去
C	吸音珞ス t9.0 ※アスベスト含有建材(レベル3)		
D	合板型枠コンクリート打放し		
E	珞金ゴテ AEP ※アスベスト含有建材(レベル3)		
F	合板型枠コンクリート打放し 目地切 珞系リソ吹付		
G	小屋裏表し		



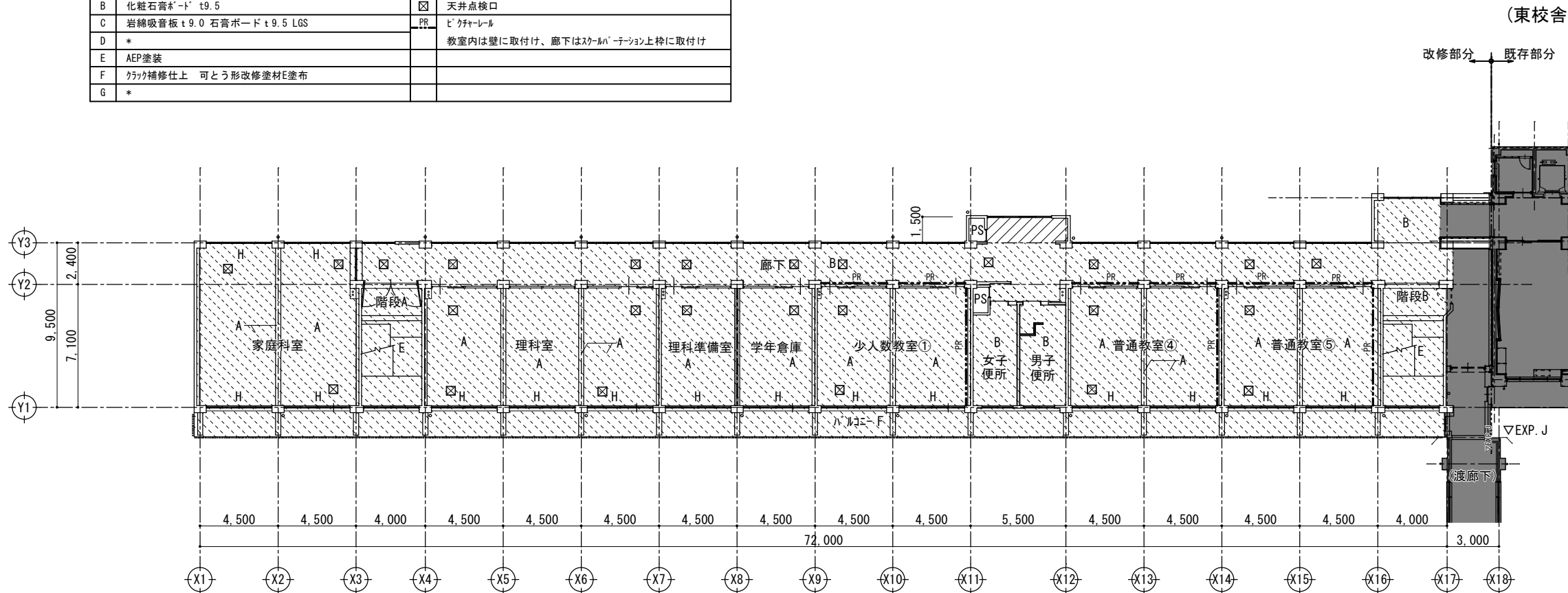
■凡例

- 改修外部分
- 【既存のまま】範囲を示す
- 仕上【撤去】範囲を示す

改修2階天井伏図

【改修仕上凡例】

A	吸音化粧石膏ボード t9.5	H	カーテンレール・カーテン共新設
B	化粧石膏ボード t9.5	☒	天井点検口
C	岩綿吸音板 t9.0 石膏ボード t9.5 LGS	PR	ビクチャレール
D	*		教室内は壁に取付け、廊下はスクリーン・カーテン上枠に取付け
E	AEP塗装		
F	クラック補修仕上 可とう形改修塗材E塗布		
G	*		



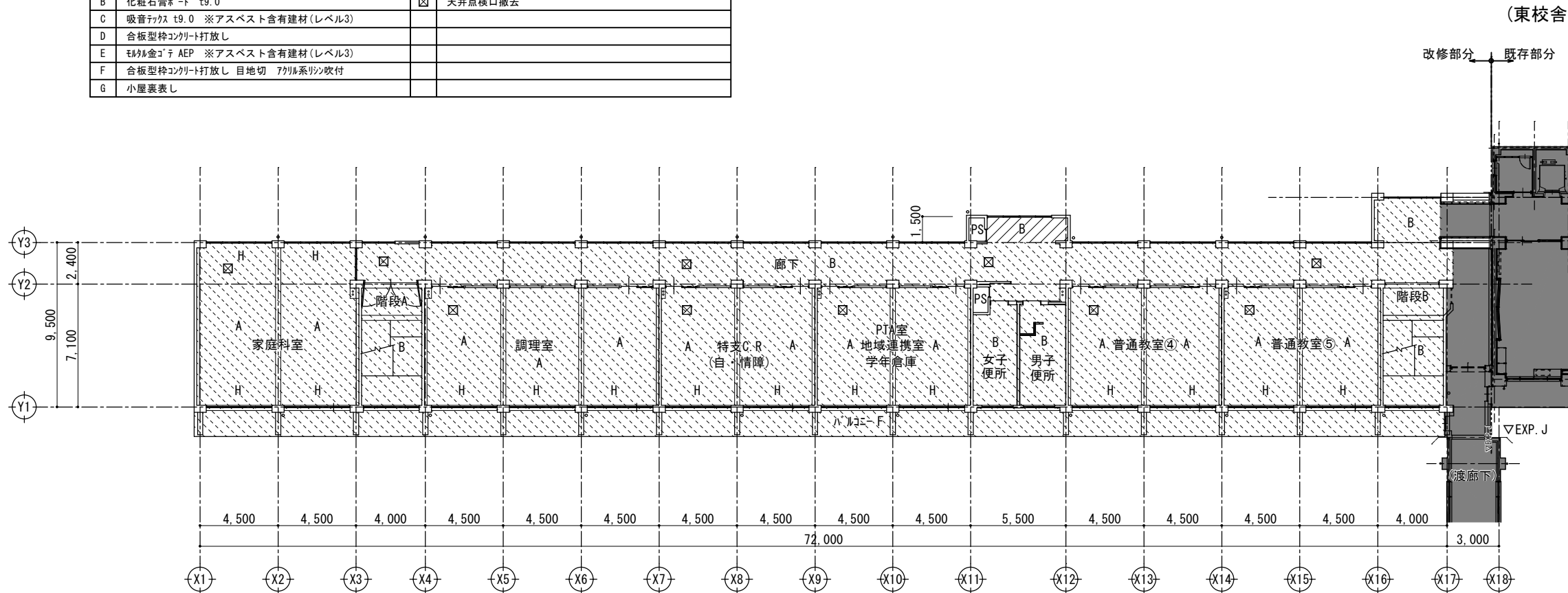
■凡例

- 改修外部分
- 【既存のまま】範囲を示す
- 仕上【新設】範囲を示す

既存2階天井伏図

【既存仕上凡例】

A	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張	H	カーテンレール・カーテン共撤去
B	化粧石膏ボード t9.0	☒	天井点検口撤去
C	吸音珞ス t9.0 ※アスベスト含有建材(レベル3)		
D	合板型枠コンクリート打放し		
E	珞金ゴテ AEP ※アスベスト含有建材(レベル3)		
F	合板型枠コンクリート打放し 目地切 アクリル系リソ吹付		
G	小屋裏表し		



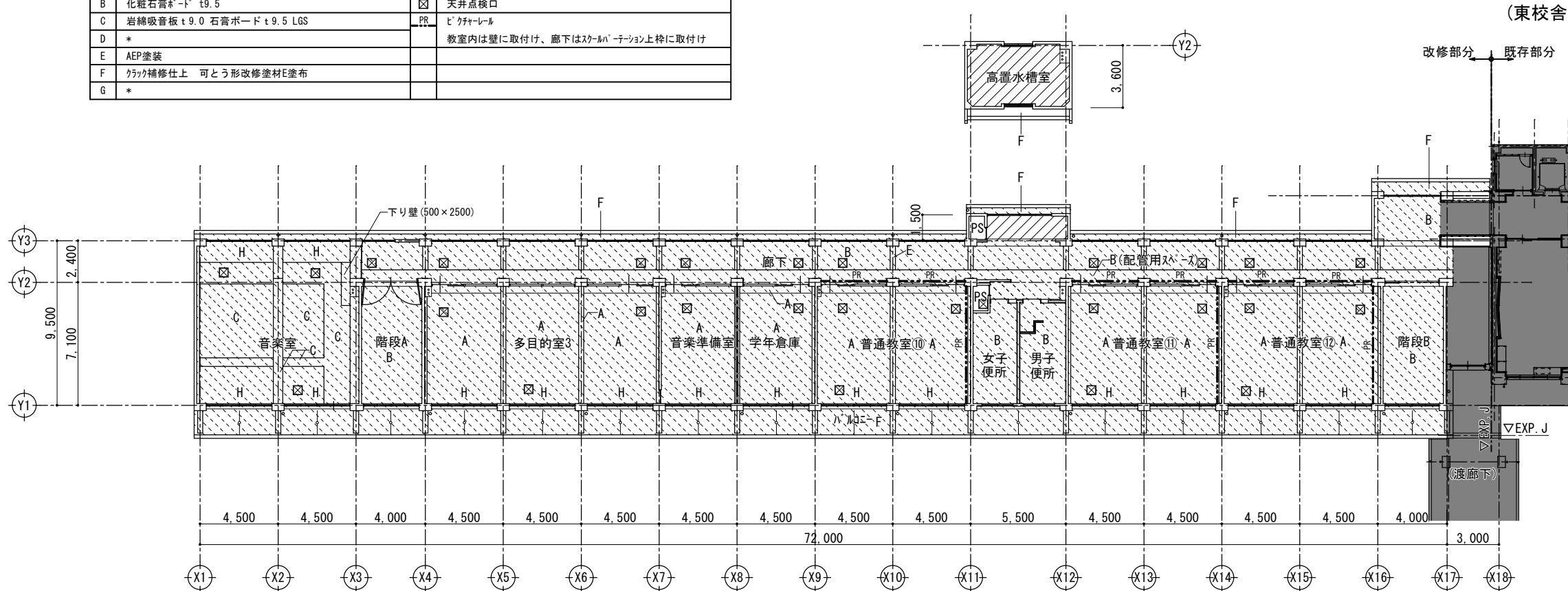
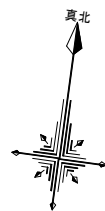
■凡例

- 改修外部分
- 【既存のまま】範囲を示す
- 仕上【撤去】範囲を示す

改修3階天井伏図

【改修仕上凡例】

A	吸音化粧石膏ボード t9.5	H	カーテンレール・カーテン共新設
B	化粧石膏ボード t9.5	☒	天井点検口
C	岩綿吸音板 t9.0 石膏ボード t9.5 LGS	PR	ビクチャレール
D	*		教室内は壁に取付け、廊下はスクリーン・天井上枠に取付け
E	AEP塗装		
F	クラック補修仕上 可とう形改修塗材E塗布		
G	*		



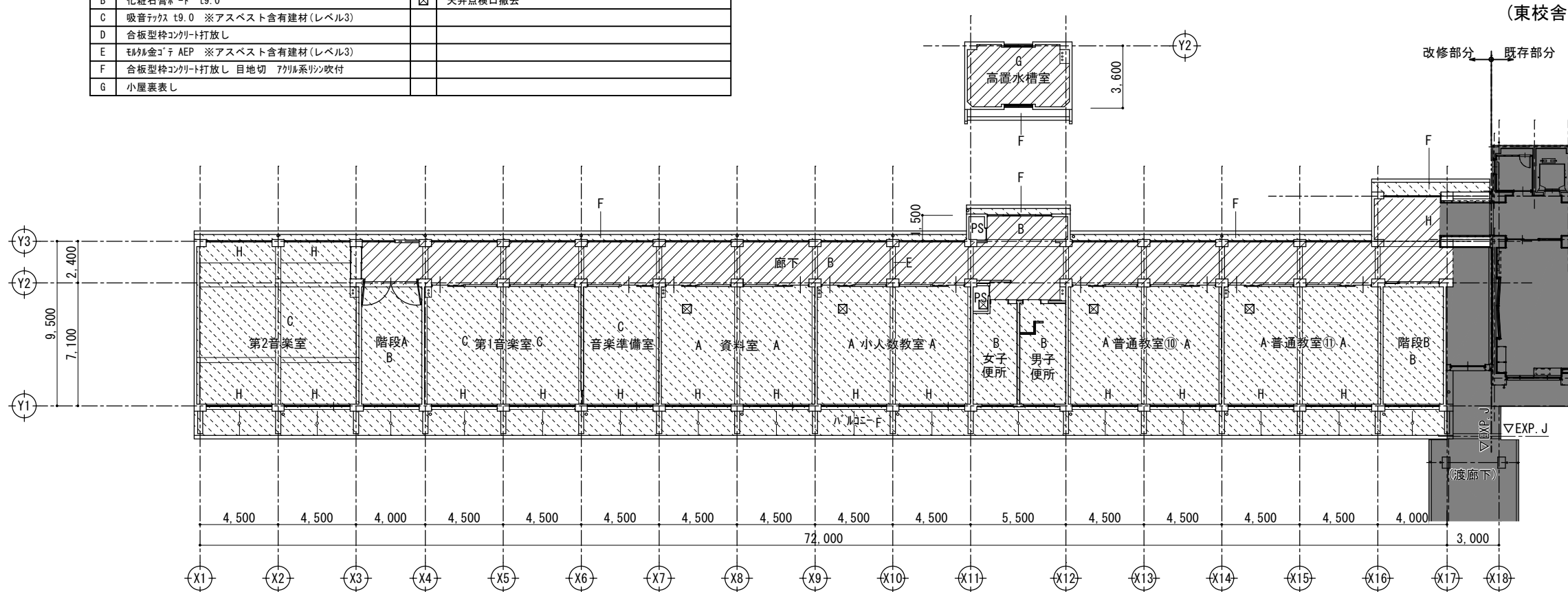
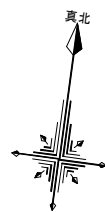
■凡例

- 改修外部分
- 【既存のまま】範囲を示す
- 仕上【新設】範囲を示す

既存3階天井伏図

【既存仕上凡例】

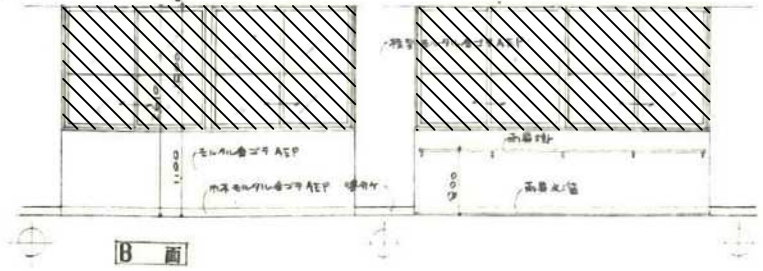
A	有孔化粧石膏ボード t9.0 目透張	H	カーテンレール・カーテン共撤去
B	化粧石膏ボード t9.0	☒	天井点検口撤去
C	吸音グラス t9.0 ※アスベスト含有建材(レベル3)		
D	合板型枠コンクリート打放し		
E	珪藻土 AEP ※アスベスト含有建材(レベル3)		
F	合板型枠コンクリート打放し 目地切 7カラーシリコン吹付		
G	小屋裏裏返し		



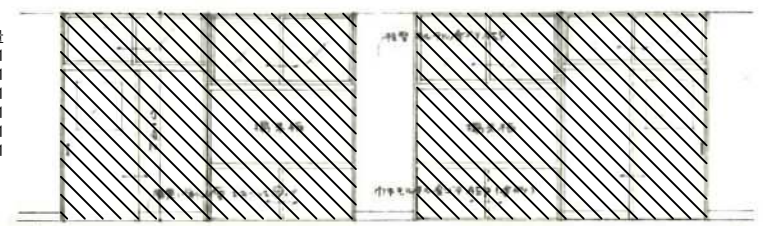
■凡例

- 改修外部分
- 【既存のまま】範囲を示す
- 仕上【撤去】範囲を示す

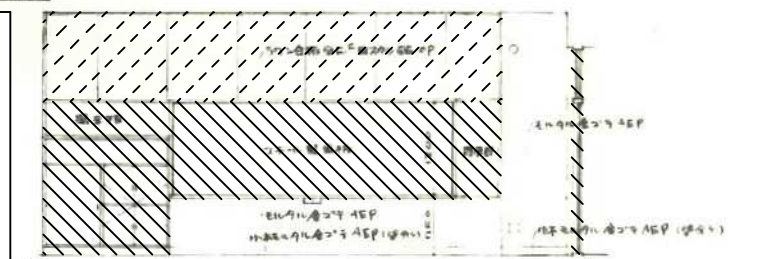
地下展開図 1:50



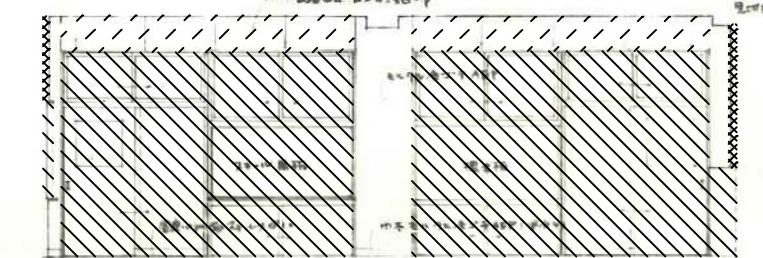
B面



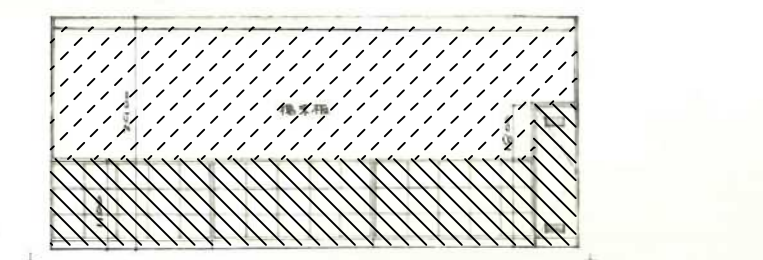
D面



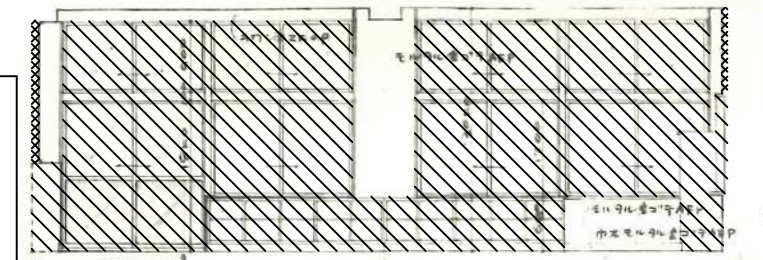
A面



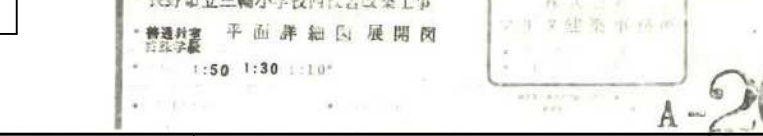
B面



C面



D面



【撤去家具リスト】

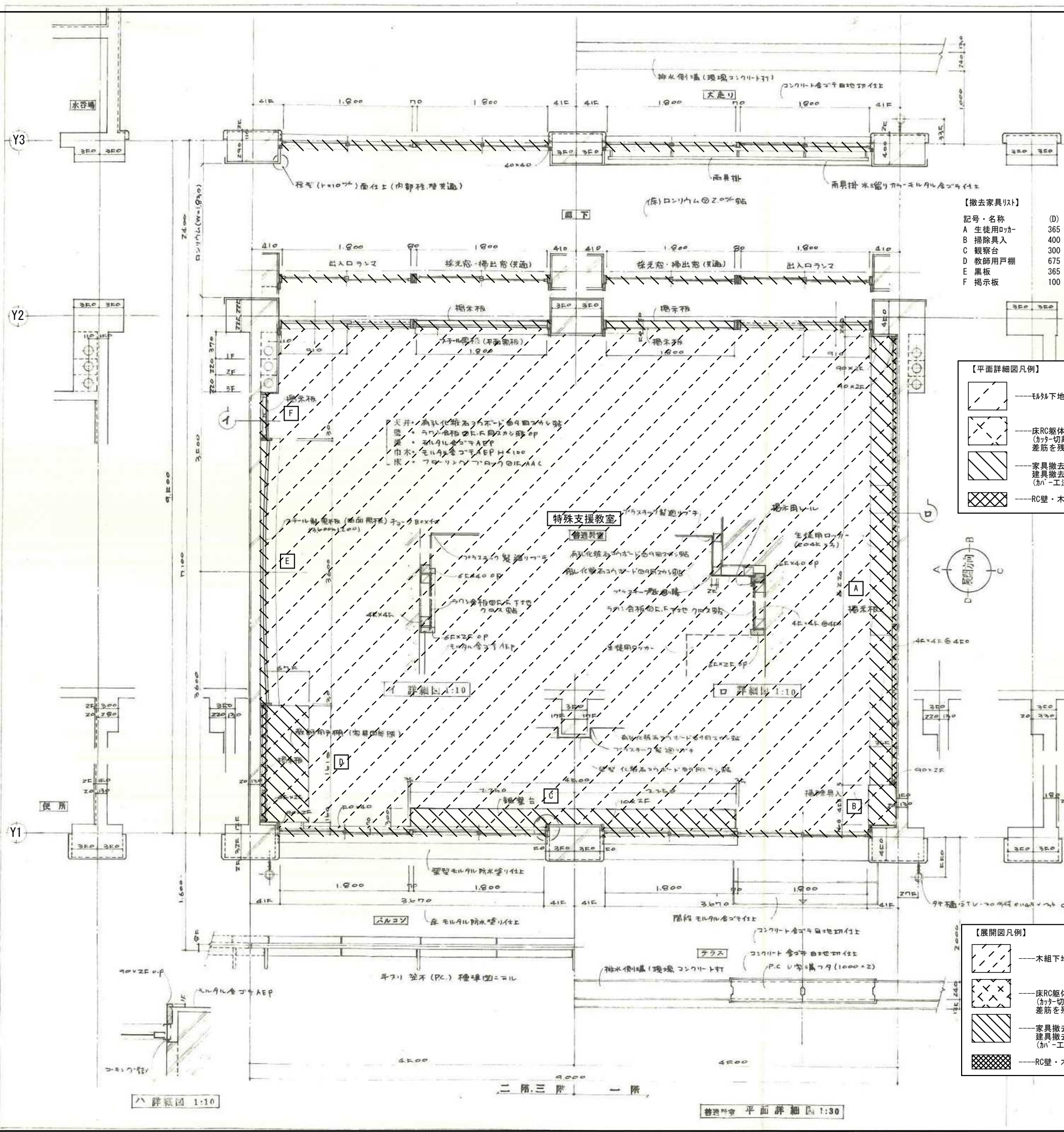
記号・名称	(D)	(W)	(H)	数量
A 生徒用ロッカ	365	6220	1100	1
B 掃除用具入	400	455	1800	1
C 観察台	300	4500	680	1
D 教師用戸棚	675	1610	1600	1
E 黒板	365	3600	1200	1
F 掲示板	100	650	1200	1

【平面詳細図凡例】

- 引下り地下共撤去部分
- 床RC躯体共撤去部分 (カッター切断し、躯体新設部分は差筋を残す)
- 家具撤去部分 (建具撤去部分、木製額縁共 (加工工法部分は必要な枠を残す))
- RC壁・木軸壁撤去部分

【展開図凡例】

- 木組下地かかし壁共撤去部分
- 床RC躯体共撤去部分 (カッター切断し、躯体新設部分は差筋を残す)
- 家具撤去部分 (建具撤去部分、木製額縁共 (加工工法部分は必要な枠を残す))
- RC壁・木軸壁撤去部分



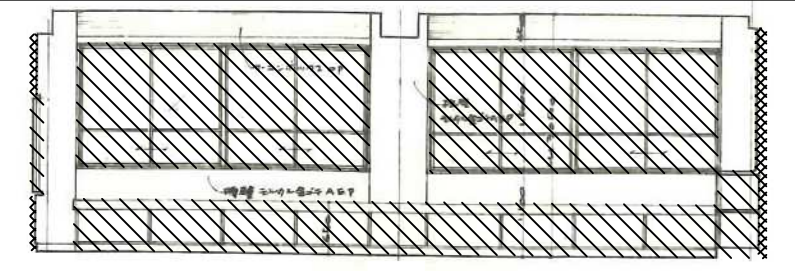
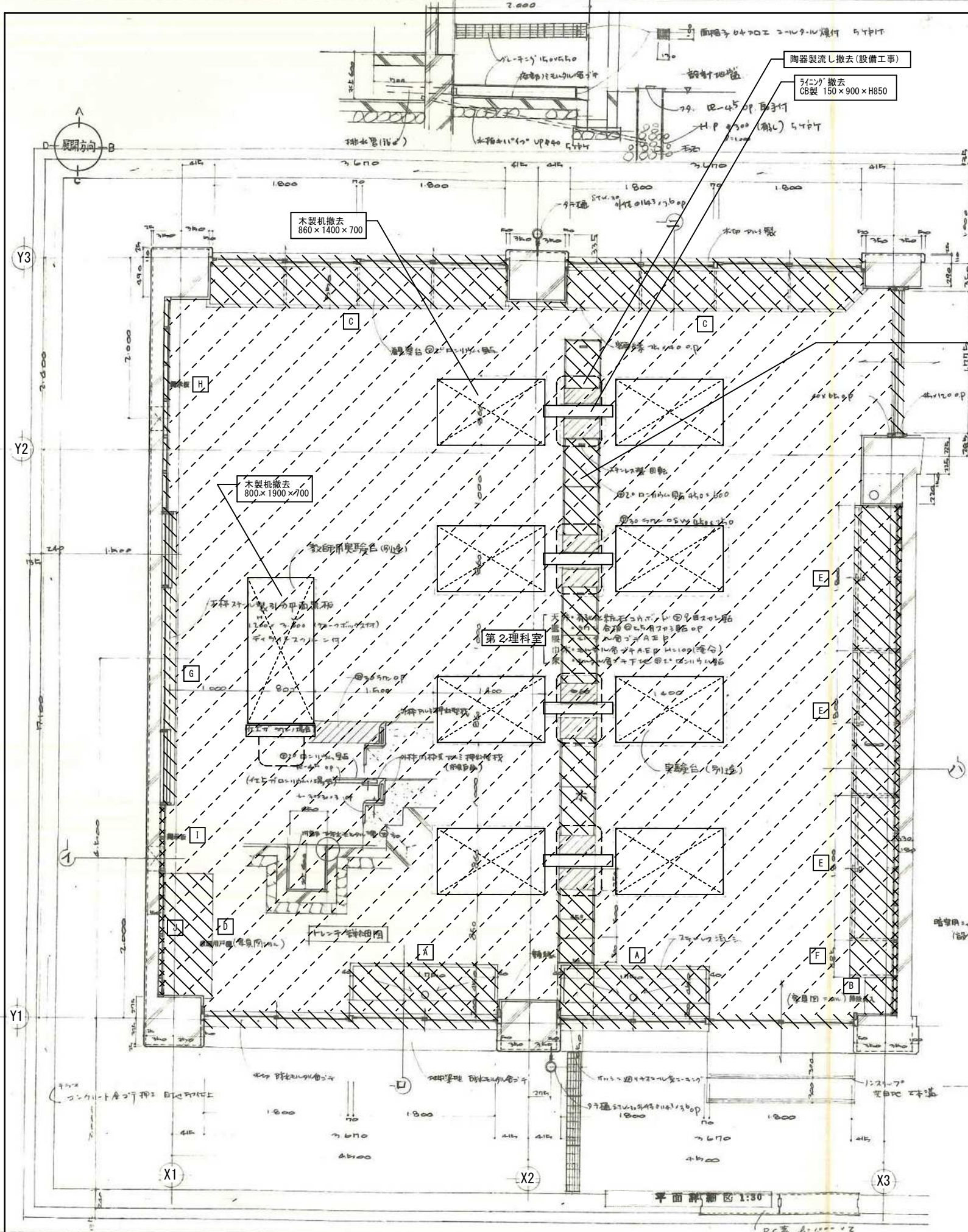
ハ詳細図 1:10

普通教室 平面詳細図 1:30



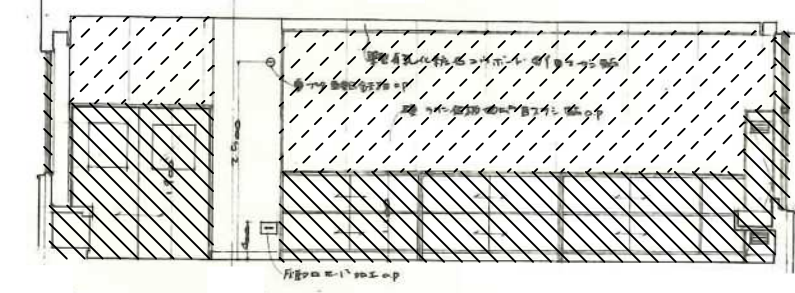
DAIICHI SEKKEI
 一般建築士事務所 (長野) K第 68255号
 長野市大字西尾張部256番地4
 管理建築士 佐藤 信行
 一般建築士 第78378号

国補 三輪小学校 西校舎長寿命化改修建築工事
 撤去図 (1)
 普通教室・特別支援教室
 平詳・展開図
 A1:1/30-50
 A3:1/60-100
 R5.8.24
 免注図

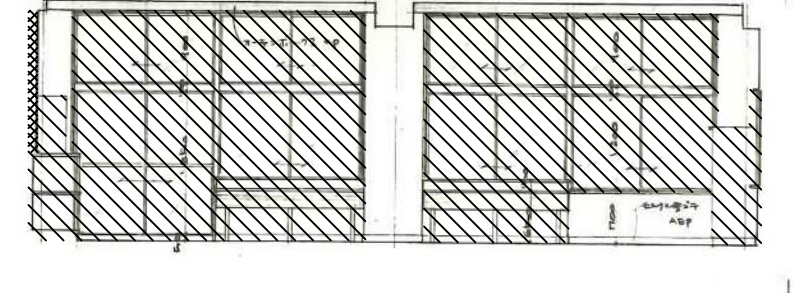


理科室A展開図 1:50

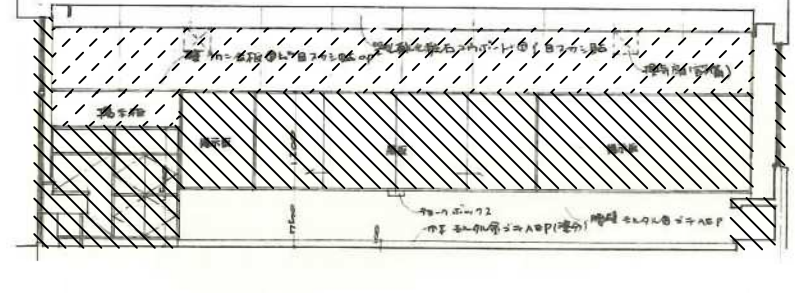
A面



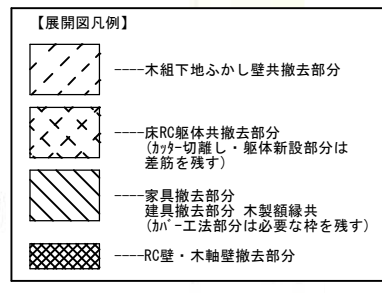
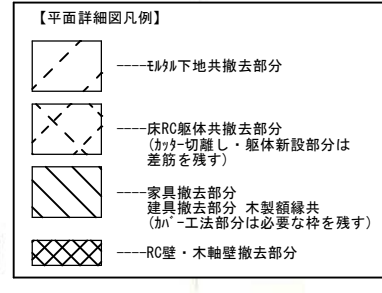
B面



C面

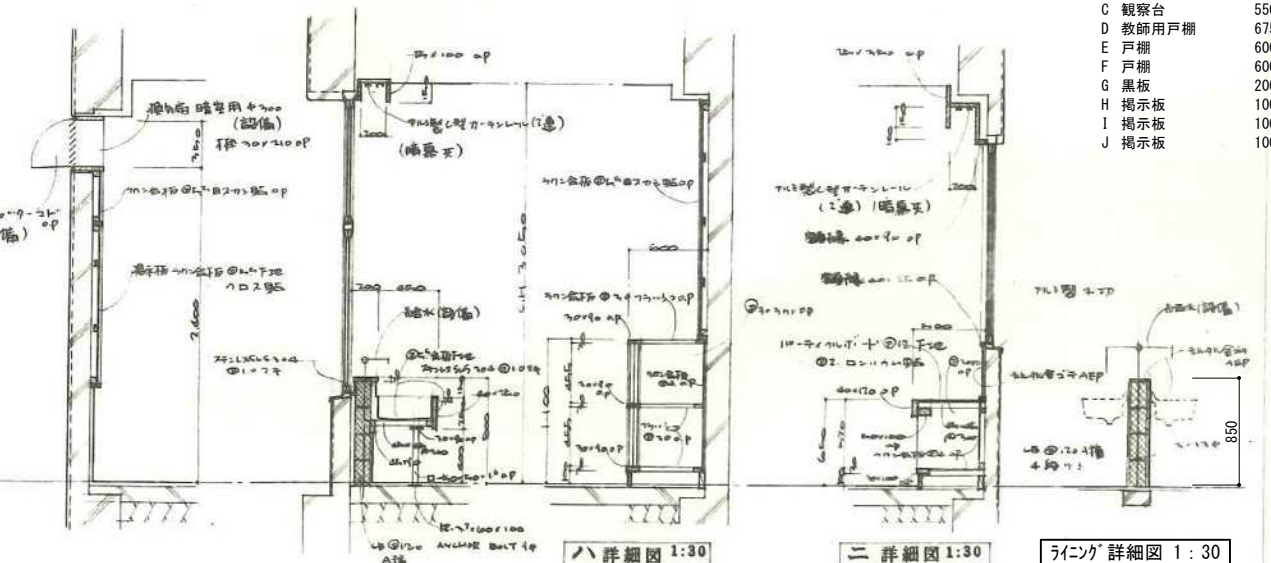


D面



【撤去家具リスト】

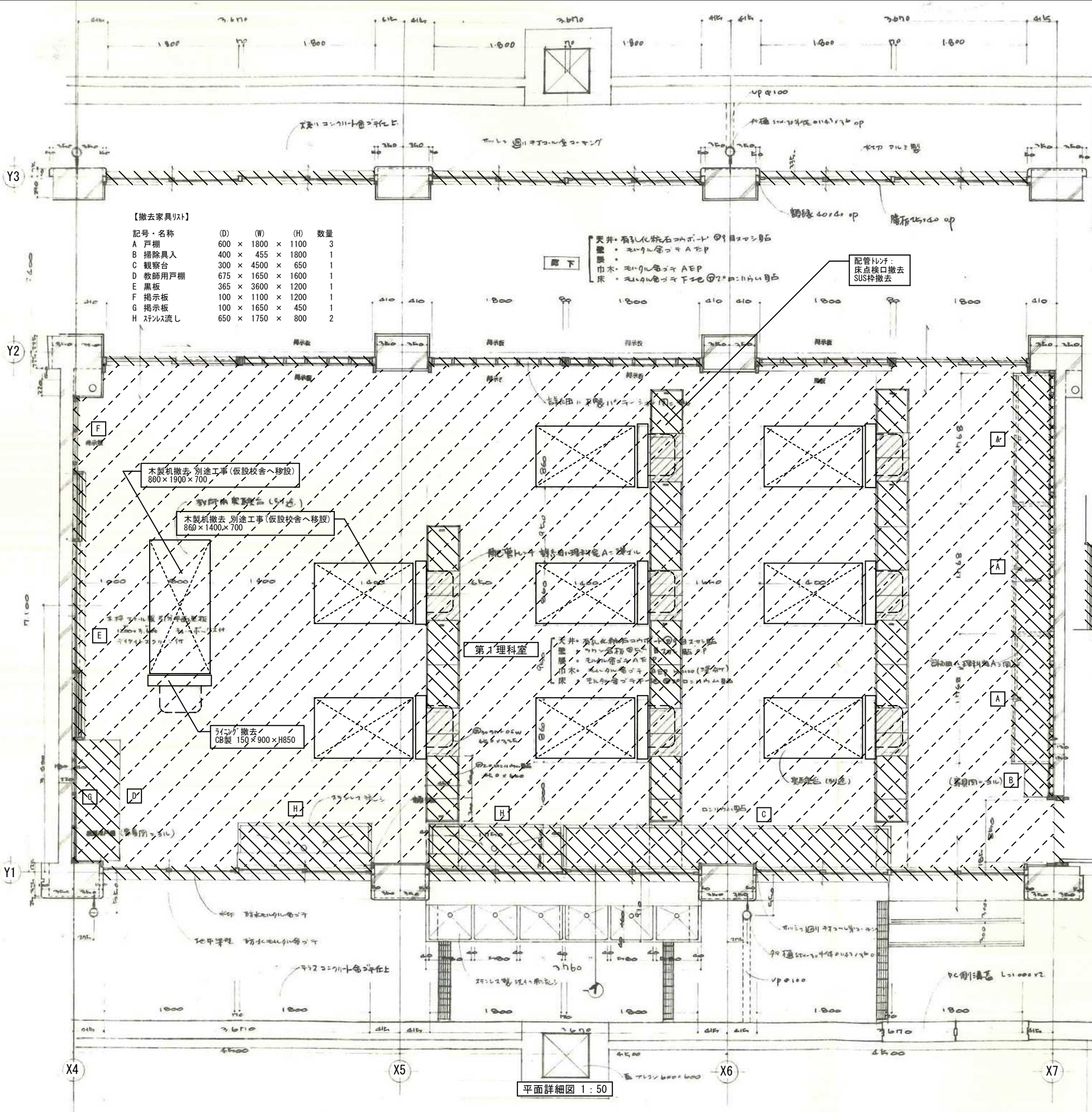
記号・名称	(D)	(W)	(H)	数量
A スリッパ流し	650 × 1750 × 800			2
B 掃除具入	400 × 455 × 1800			1
C 観察台	550 × 3700 × 650			2
D 教師用戸棚	675 × 1610 × 1500			1
E 戸棚	600 × 1800 × 1100			3
F 戸棚	600 × 485 × 1100			1
G 黒板	200 × 3600 × 1200			1
H 掲示板	100 × 2700 × 1200			1
I 掲示板	100 × 1000 × 1200			1
J 掲示板	100 × 1610 × 500			1



I 詳細図 1:30 II 詳細図 1:30 ライング 詳細図 1:30

長野市立三輪小学校西校舎改築工事
理科室A詳細図
1:50 1:30

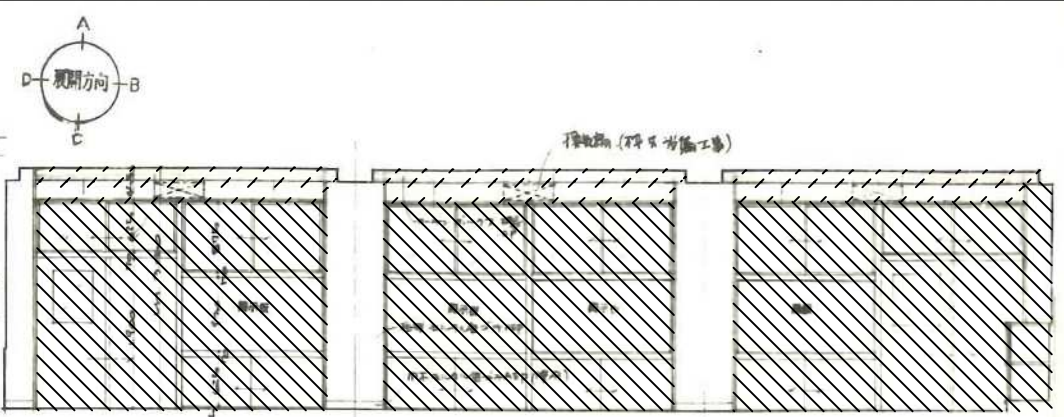




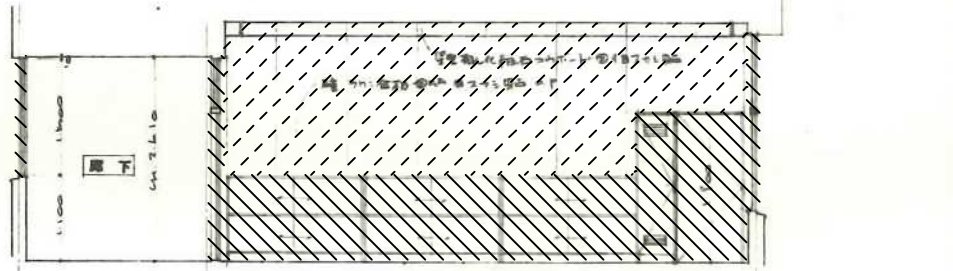
【撤去家具リスト】

記号・名称	(D)	(W)	(H)	数量
A 戸棚	600	1800	1100	3
B 掃除具入	400	455	1800	1
C 観察台	300	4500	650	1
D 教師用戸棚	675	1650	1600	1
E 黒板	365	3600	1200	1
F 掲示板	100	1100	1200	1
G 掲示板	100	1650	450	1
H ステンシル	650	1750	800	2

天井: 穿孔化粧石膏ボード 9月20日現在
 壁: モルタル面コテ AEP
 巾木: モルタル面コテ AEP
 床: モルタル面コテ下地 9月20日現在



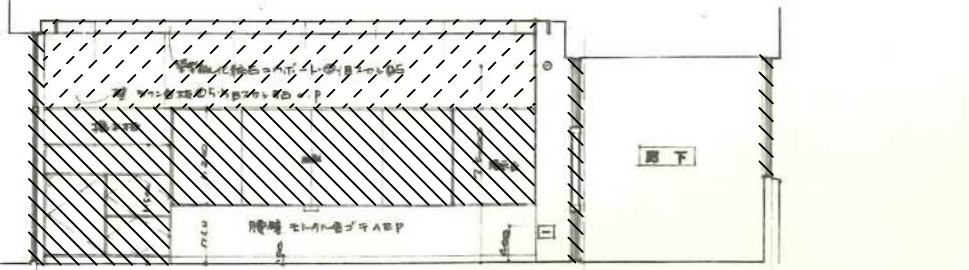
展開図 1:50



B面



C面



D面

【展開図凡例】

	木組下地ふかし壁共撤去部分
	床RC躯体共撤去部分 (カッター切断し、躯体新設部分は差筋を残す)
	家具撤去部分 建具撤去部分 木製額縁共 (加工工法部分は必要な枠を残す)
	RC壁・木軸壁撤去部分

【平面詳細図凡例】

	モルタル下地共撤去部分
	床RC躯体共撤去部分 (カッター切断し、躯体新設部分は差筋を残す)
	家具撤去部分 建具撤去部分 木製額縁共 (加工工法部分は必要な枠を残す)
	RC壁・木軸壁撤去部分

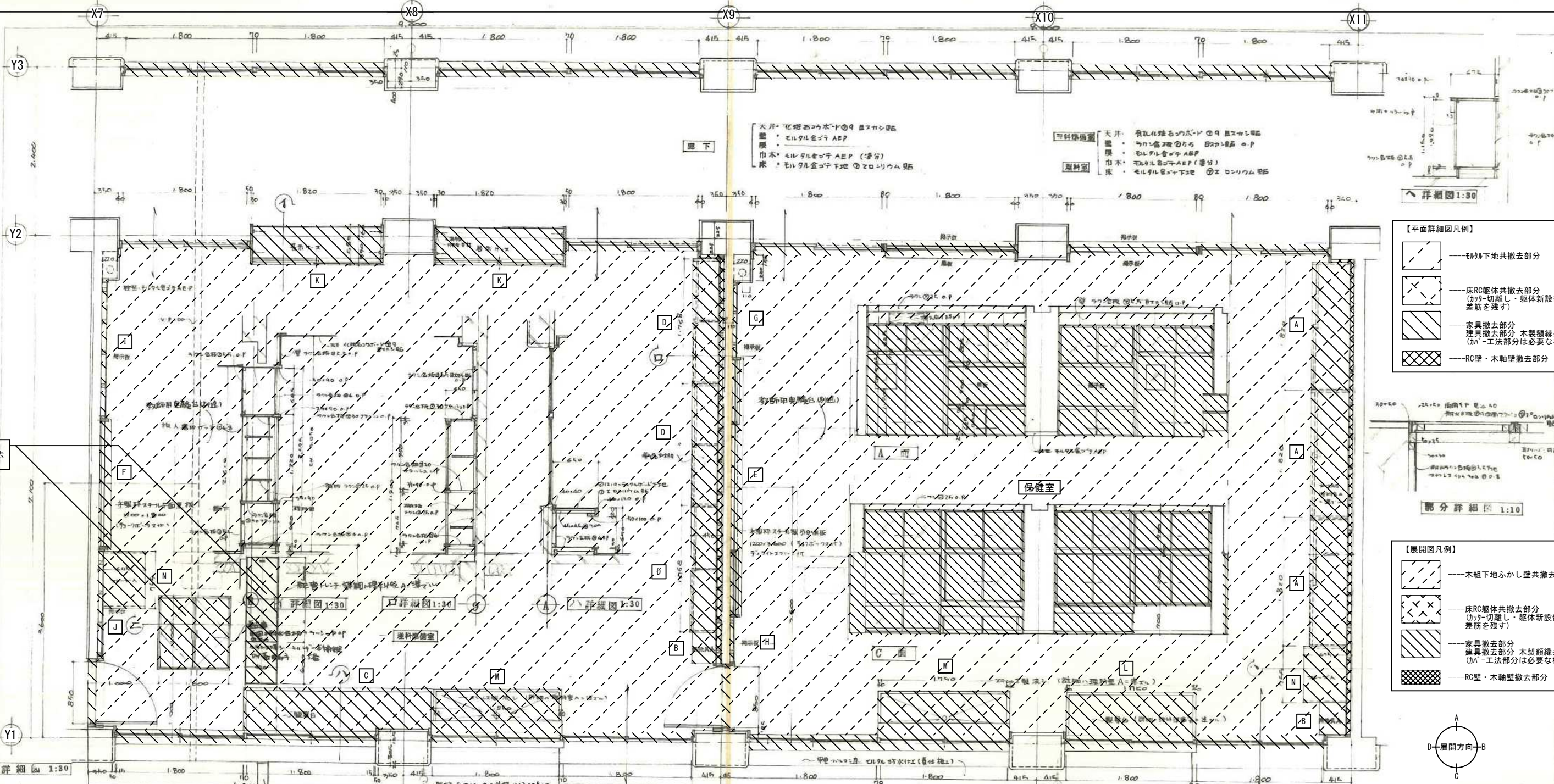
平面詳細図 1:50

長野市立三輪小学校校舎改修工事
 理科室 B 詳細図
 1:50 1:30



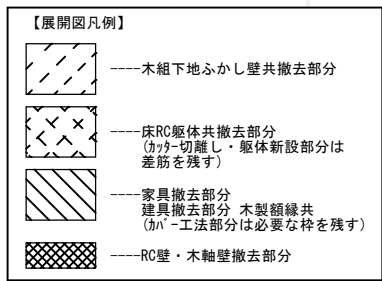
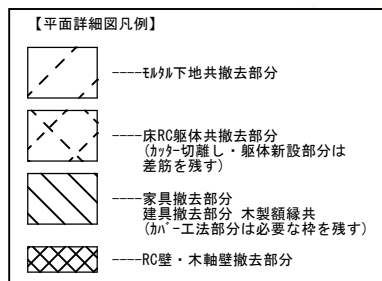
DAIICHI SEKKEI
 一般建築士事務所 (長野) K第08255号
 長野市大字西尾張部256番地4
 管理建築士 佐藤 信行
 一般建築士 第78378号

国補 三輪小学校 西校舎長寿命化改修建築工事
 撤去図 (3)
 1階 第1理科室
 平詳・展開図
 A1:1/30-50
 A3:1/60-100
 R5.8.24
 免注図



【天井】化粧石膏ボードの9割は撤去
 残：モルタル塗りのAEP
 床：モルタル塗りのAEP(部分)
 床：モルタル塗りの下地とコンクリート床

【材料】天井：化粧石膏ボードの9割は撤去
 残：モルタル塗りのAEP
 床：モルタル塗りのAEP(部分)
 床：モルタル塗りの下地とコンクリート床



配管トレンチ：床点検口撤去 SUS枠撤去

平面詳細図 1:30

平面詳細図 1:30

平面詳細図 1:30

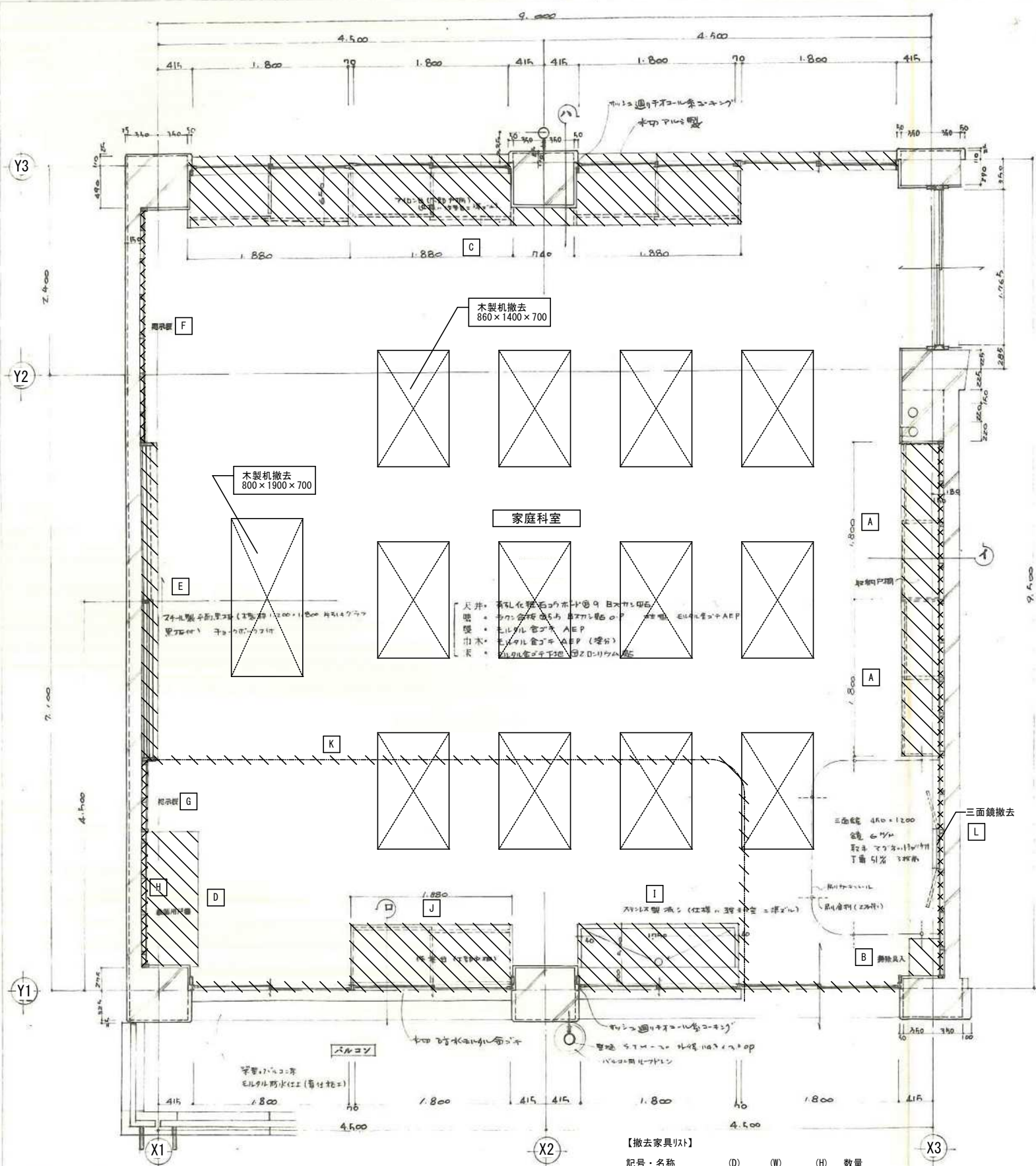
平面詳細図 1:30

展開図 1:50

【撤去家具リスト】

記号・名称	(D)	(W)	(H)	数量	記号・名称	(D)	(W)	(H)	数量
A 戸棚	600	1800	1100	3	J 掲示板	100	1600	1200	1
B 掃除具入	400	455	1800	2	K 展示ブース	550	1820	2610	2
C 観察台	300	2650	650	1	L 観察台	650	1830	650	1
D 備品戸棚	450	1768	1900	3	M ステンシル流し	650	1830	800	2
E 黒板	150	3600	1200	1	N ストブ入れ	675	755	1160	2
F 黒板	150	1800	1200	1					
G 掲示板	100	1100	1200	1					
H 掲示板	100	700	1200	1					
I 掲示板	100	1800	1200	1					



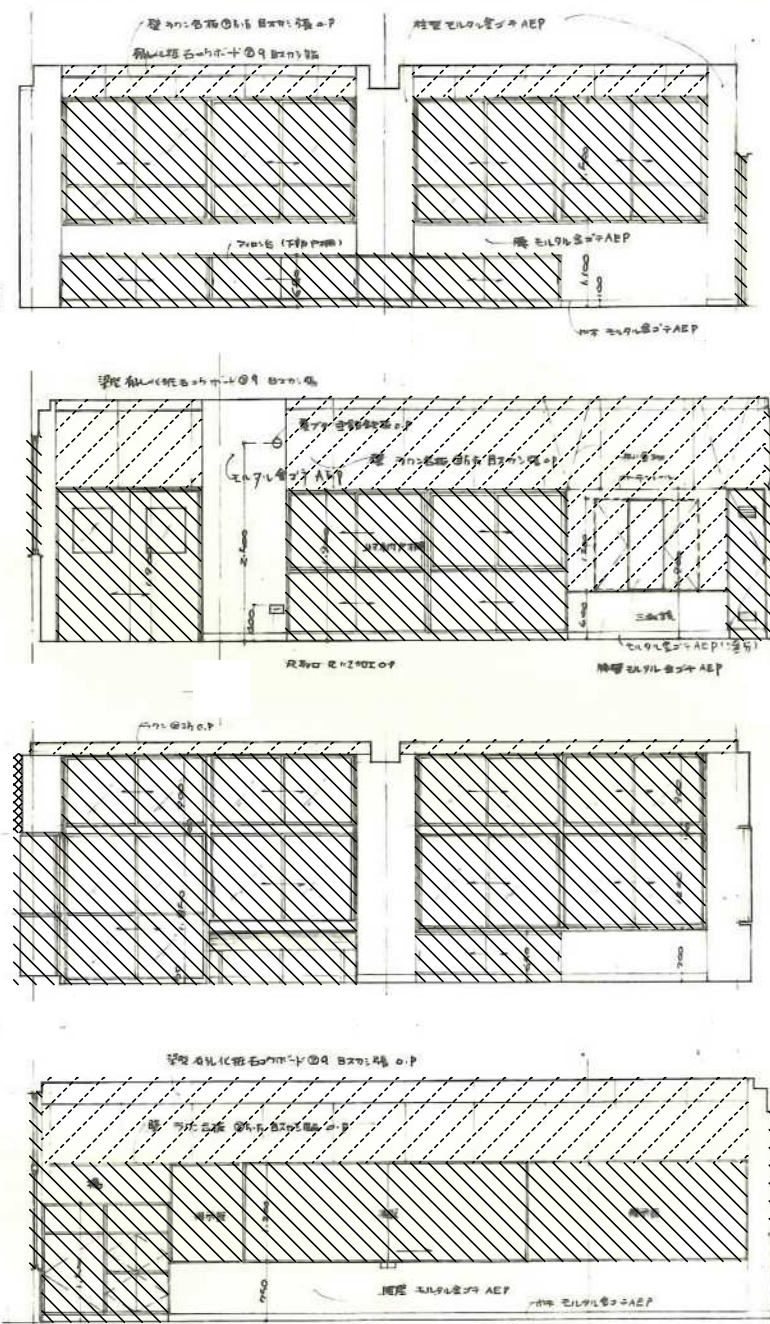


被服教室 平面詳細図 1:30

【撤去家具リスト】

記号・名称	(D)	(W)	(H)	数量
A 収納戸棚	500 × 1800 × 1900			2
B 掃除具入	400 × 455 × 1800			1
C ティン台	650 × 6380 × 650			1
D 教師用戸棚	675 × 1610 × 1600			1
E 黒板	365 × 3600 × 1200			1
F 掲示板	100 × 2800 × 1200			1
G 掲示板	100 × 900 × 1200			1
H 掲示板	100 × 1610 × 500			1
I ステン流し	650 × 1880 × 650			1
J 作業台	650 × 1830 × 650			1
K 吊かたん	2500 × 7000 × 1200			1
L 三面鏡	* × 450 × 1200			1

被服教室 展開図 1:50



A面

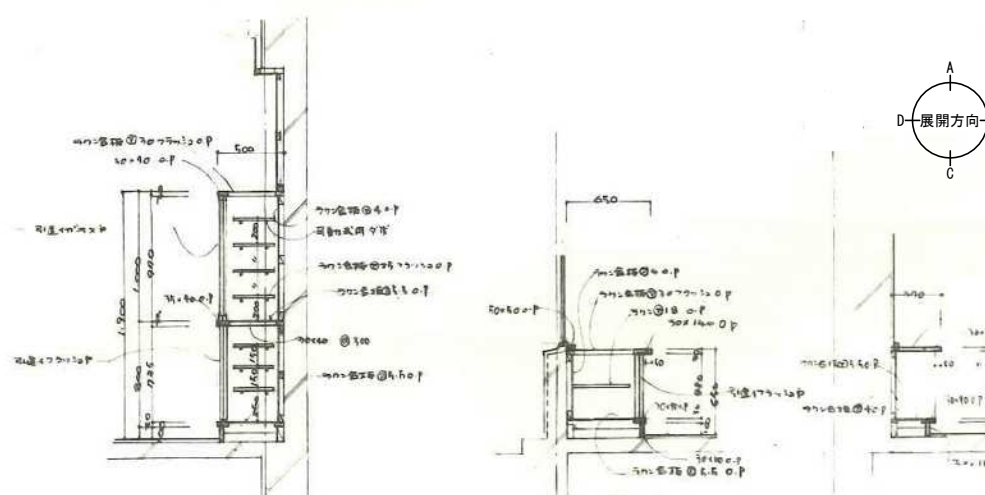
B面

C面

D面

- 【平面詳細図凡例】
- 床下地共撤去部分
 - 床RC躯体共撤去部分 (カッター切離し・躯体新設部分は差筋を残す)
 - 家具撤去部分 建具撤去部分 木製額縁共 (加工部分は必要な枠を残す)
 - RC壁・木軸壁撤去部分

- 【展開図凡例】
- 木組下地ふかし壁共撤去部分
 - 床RC躯体共撤去部分 (カッター切離し・躯体新設部分は差筋を残す)
 - 家具撤去部分 建具撤去部分 木製額縁共 (加工部分は必要な枠を残す)
 - RC壁・木軸壁撤去部分



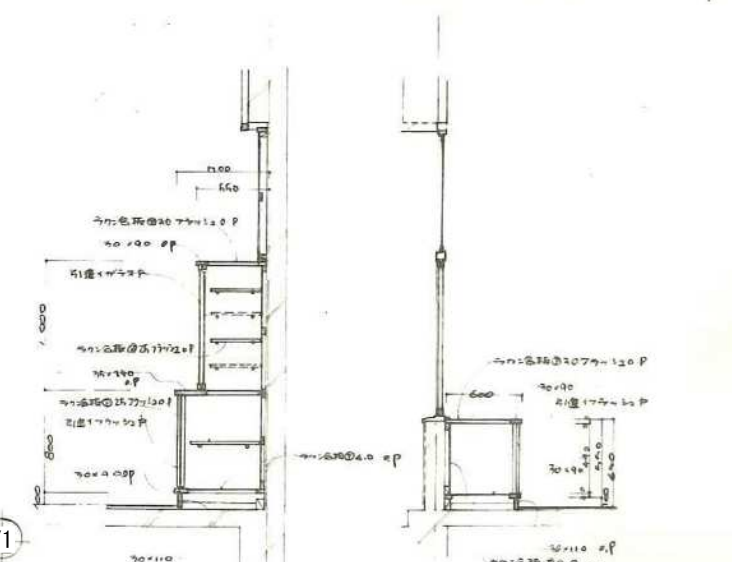
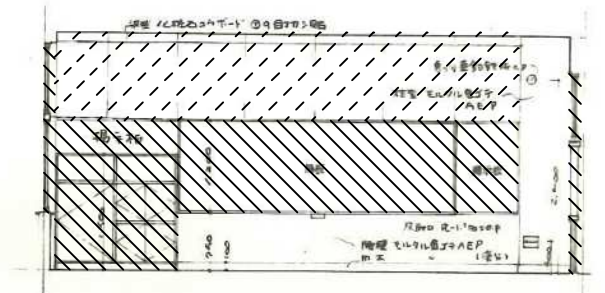
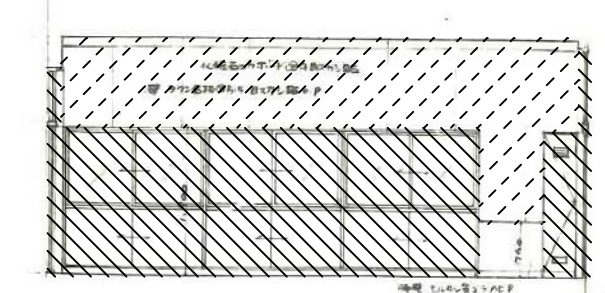
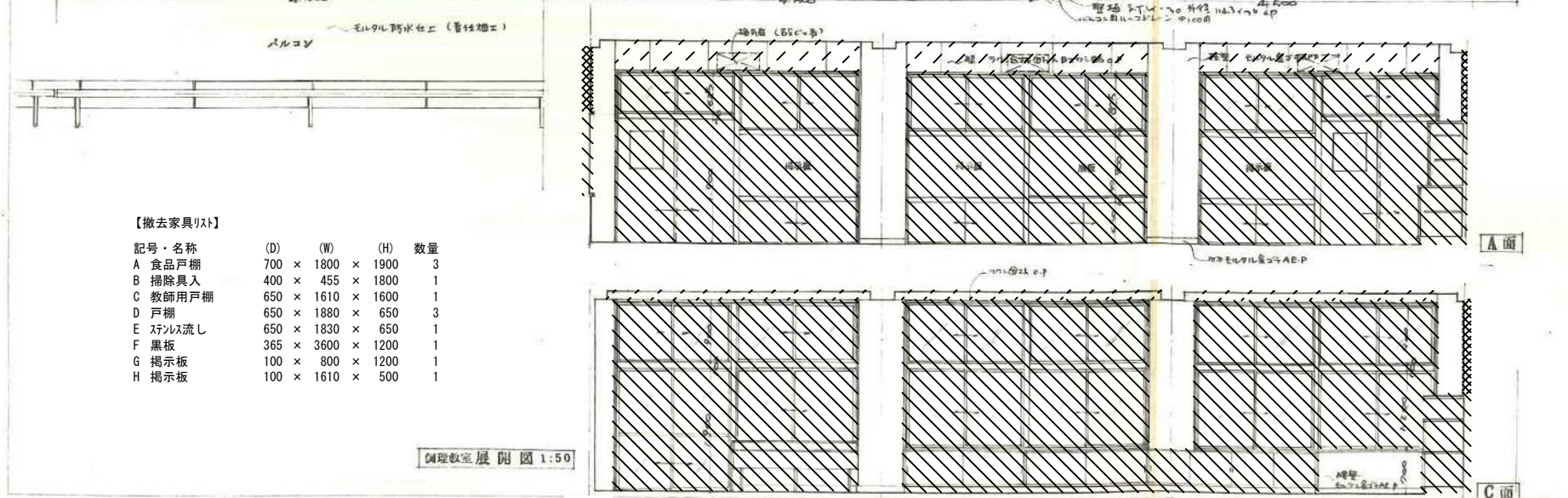
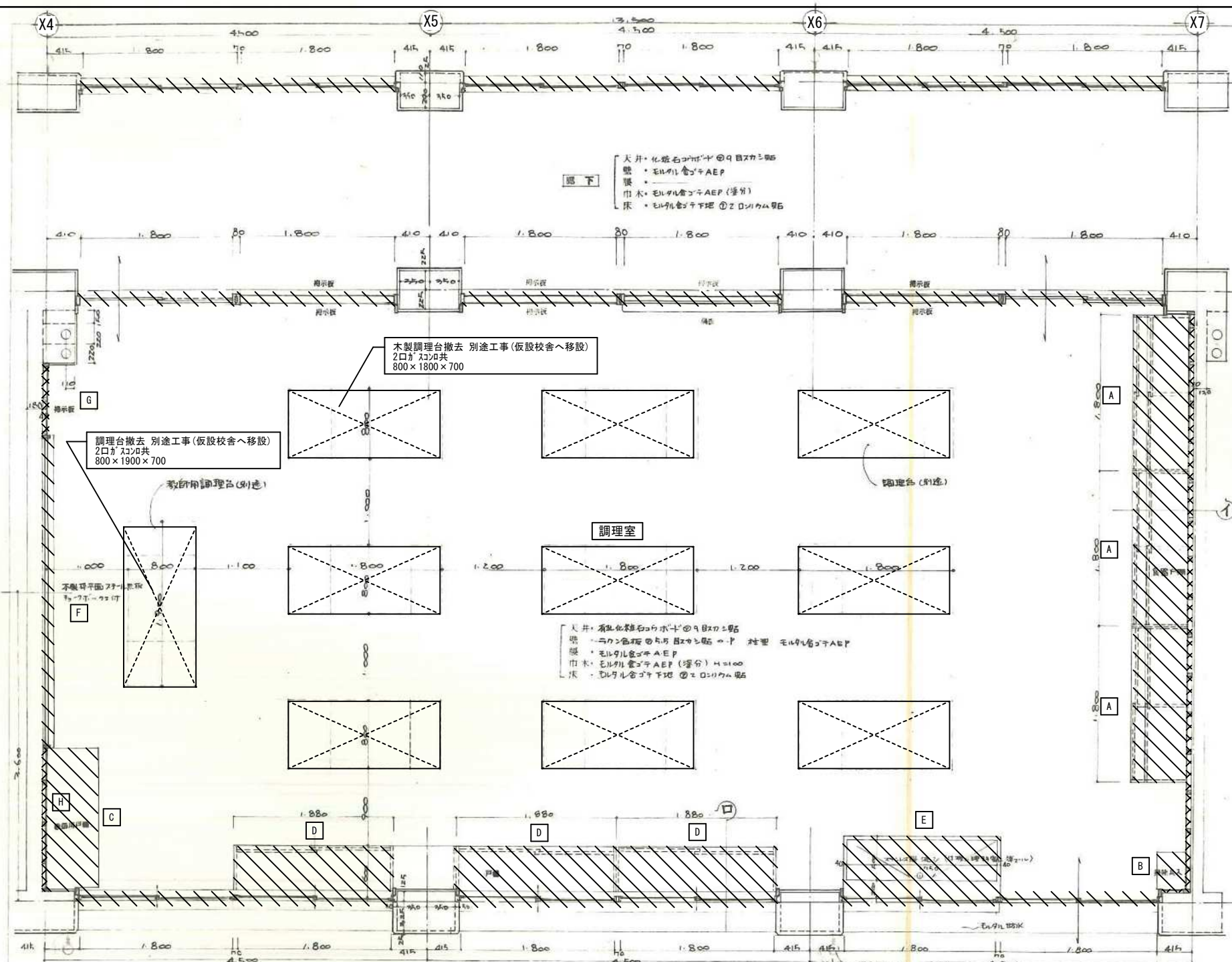
I詳細図 1:30

J詳細図 1:30

長野市立三輪小学校西校舎改築工事
被服教室 詳細図
1:30 1:50

△詳細図 1:30





Y1 詳細図 1:30

Y2 詳細図 1:30



【展開図凡例】

- 木組下地ふかし壁共撤去部分
- 床RC躯体共撤去部分 (加付切離し・躯体新設部分は差筋を残す)
- 家具撤去部分 (家具撤去部分 木製鎖縁共 (加付工法部分は必要な枠を残す))
- RC壁・木軸壁撤去部分

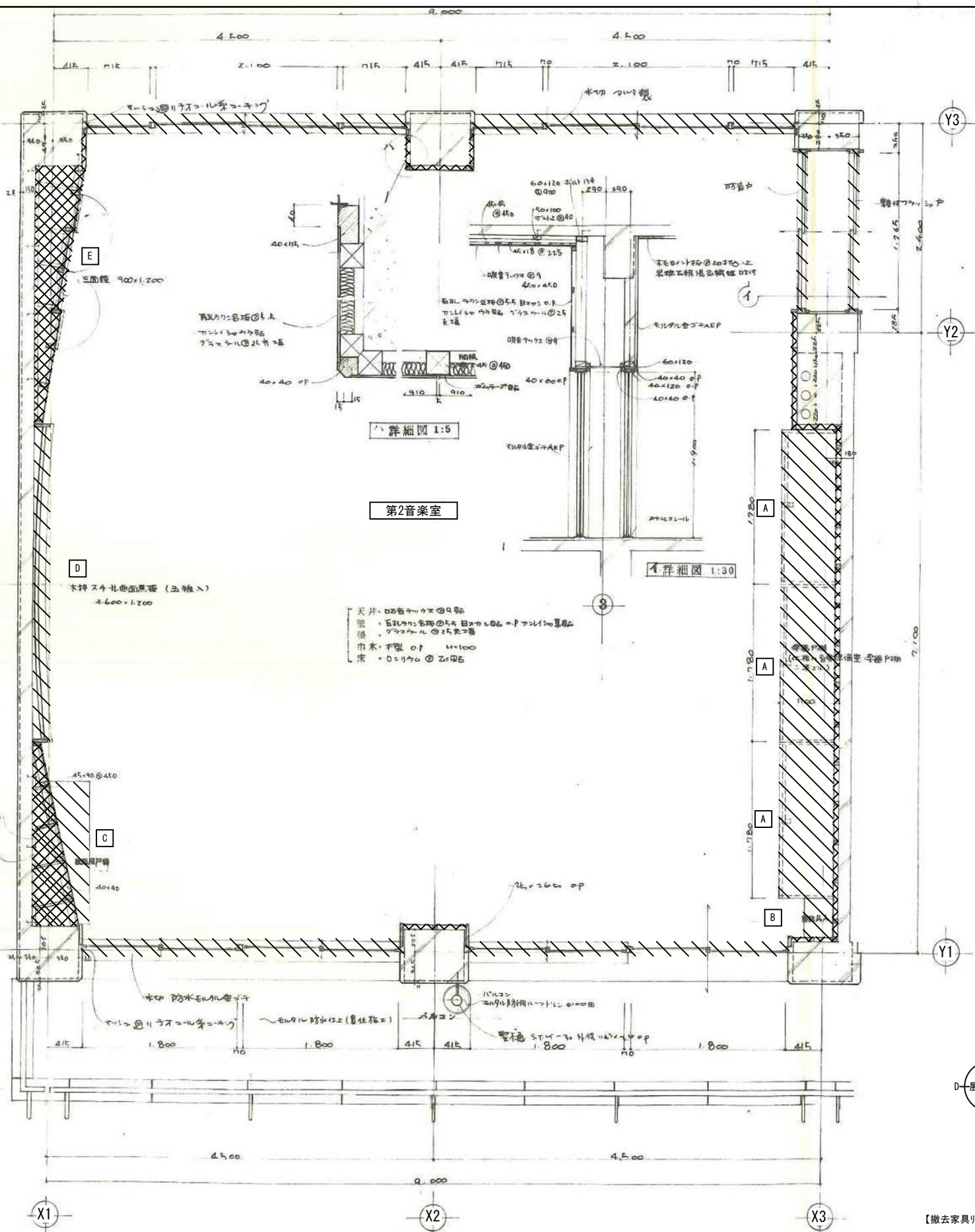
【平面詳細図凡例】

- 木組下地共撤去部分
- 床RC躯体共撤去部分 (加付切離し・躯体新設部分は差筋を残す)
- 家具撤去部分 (家具撤去部分 木製鎖縁共 (加付工法部分は必要な枠を残す))
- RC壁・木軸壁撤去部分

長野市立三輪小学校 西校舎長寿命化改修建築工事
 調理室 詳細図
 1:50 1:30

- 【平面詳細図凡例】
- 床RC躯体共撤去部分
 - 床RC躯体共撤去部分 (かつ切離し・躯体新設部分は差筋を残す)
 - 家具撤去部分 建具撤去部分 木製額縁共 (加工法部分は必要な枠を残す)
 - RC壁・木軸壁撤去部分

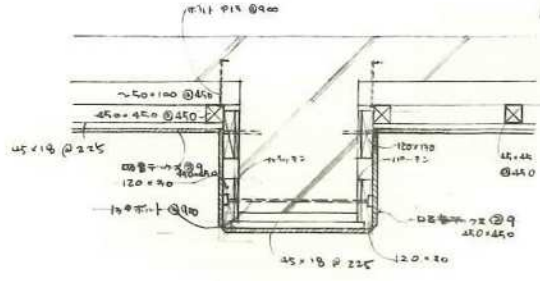
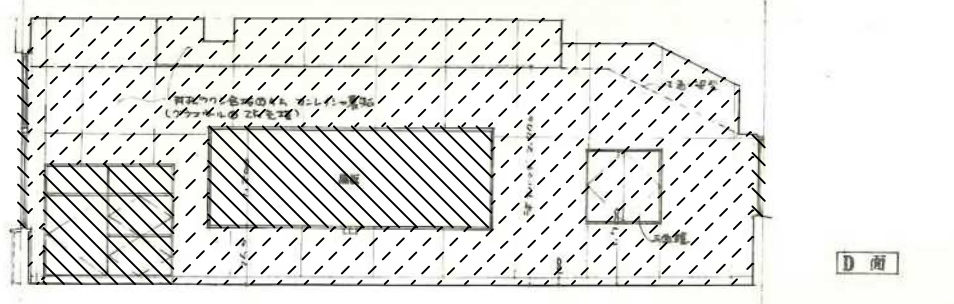
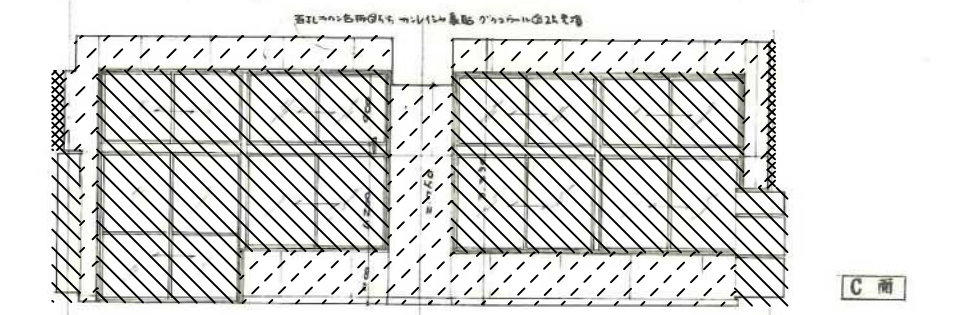
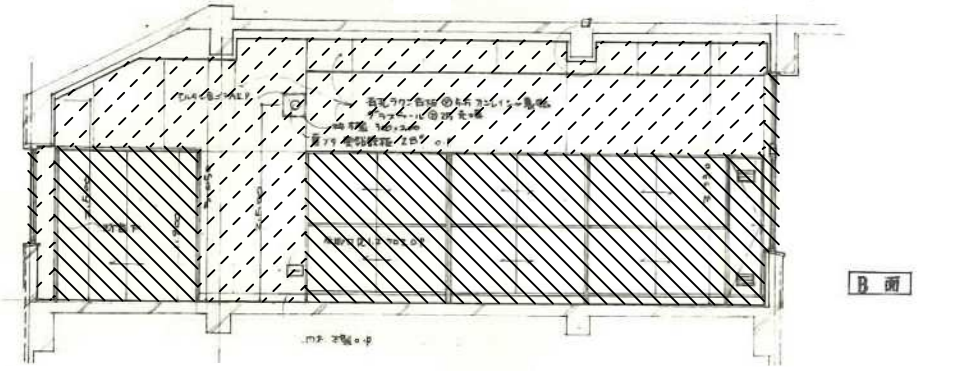
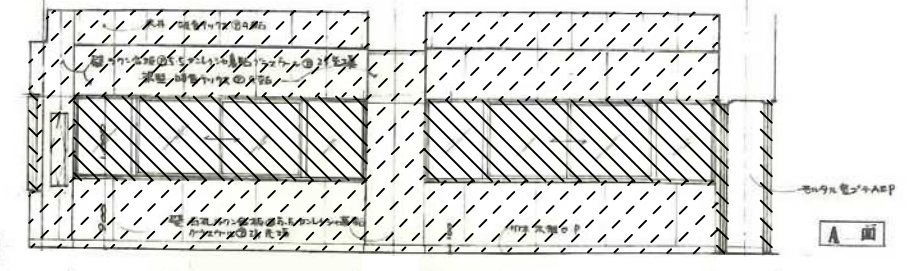
- 【展開図凡例】
- 木組下地ふかし壁共撤去部分
 - 床RC躯体共撤去部分 (かつ切離し・躯体新設部分は差筋を残す)
 - 家具撤去部分 建具撤去部分 木製額縁共 (加工法部分は必要な枠を残す)
 - RC壁・木軸壁撤去部分



第2音楽室

天井: 吸音天井 900x900
 壁: 木組下地ふかし壁 25mm厚
 床: 木製フローリング 18mm厚
 床下: 砕石 100mm厚

音楽室A 展開図 1:50



【撤去家具リスト】

記号・名称	(D)	(W)	(H)	数量
A 楽器戸棚	700	1780	1900	3
B 掃除具入	400	455	1800	1
C 教師戸棚	675	1610	1600	1
D 黒板	150	3600	1200	1
E 三面鏡	*	900	1200	1

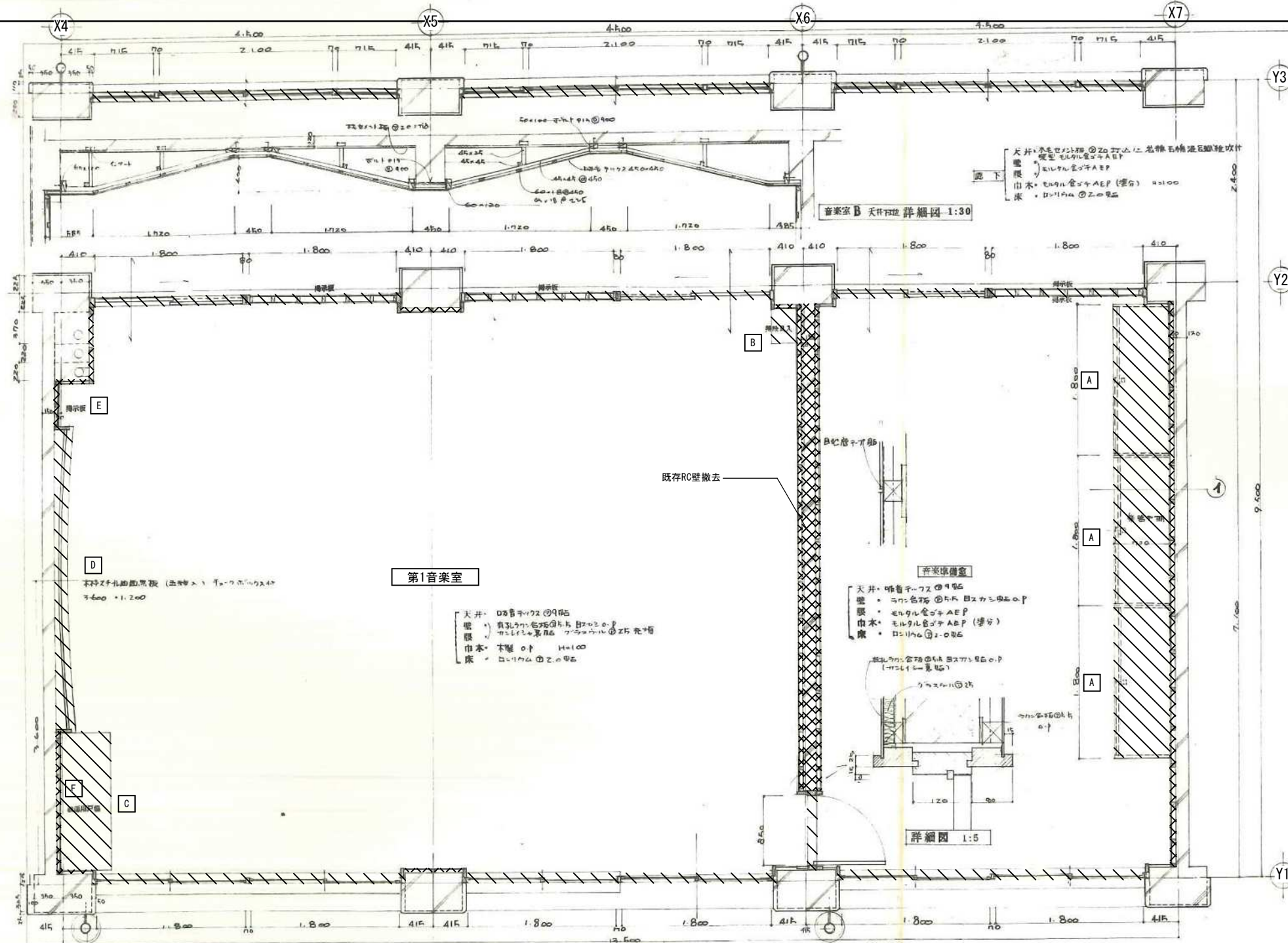
長野市立三輪小学校西校舎寿命化改修建築工事
 音楽室A 詳細図
 1:30 1:50 1:10
 1:5

音楽室A 平面詳細図 1:30



DAIICHI SEKKEI
 一般建築士事務所 (長野) K第08255号
 長野市大字西尾張部256番地4
 管理建築士 佐藤 信行

国補 三輪小学校 西校舎寿命化改修建築工事
 撤去図 (7)
 3階 第2音楽室
 平詳・展開図
 A1:1/30-50
 A3:1/60-100
 R5.8.24
 免注図



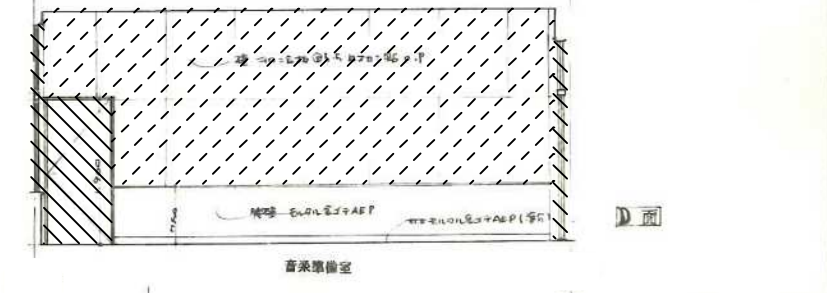
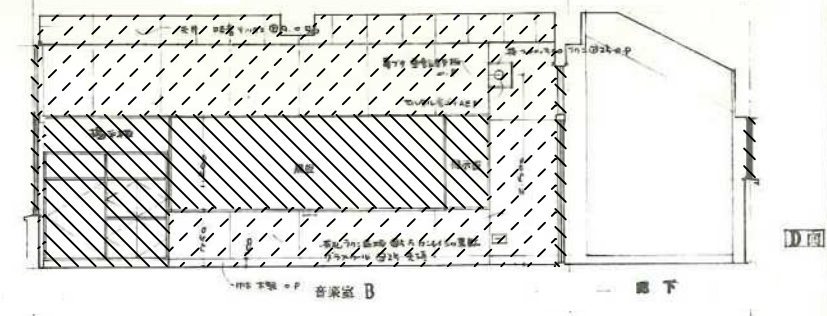
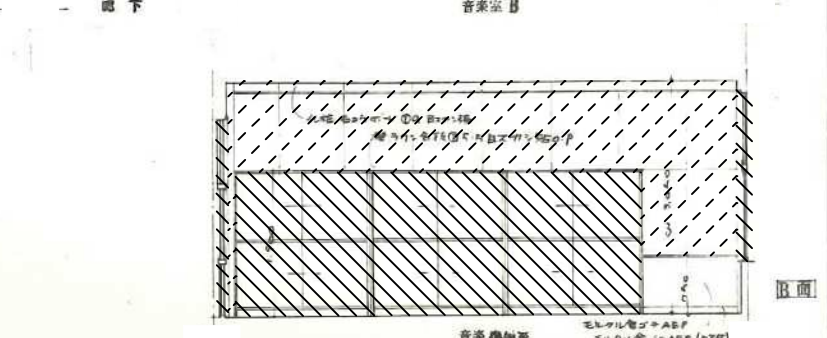
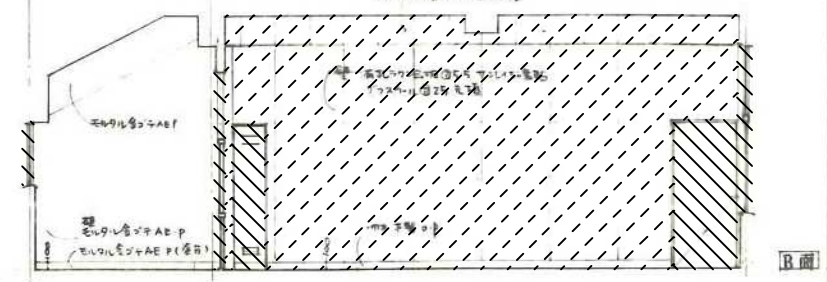
第1音楽室

天井・吹抜け720×900
 壁・モルタル塗りAEF
 床・モルタル塗りAEF(厚さ)
 床・D-1176②2.000

音楽準備室

天井・吹抜け720×900
 壁・モルタル塗りAEF
 床・モルタル塗りAEF(厚さ)
 床・D-1176②2.000

詳細図 1:5



【撤去家具リスト】

記号・名称	(D)	(W)	(H)	数量
A 楽器戸棚	700	1800	1900	3
B 掃除用具	400	455	1800	1
C 教師用戸棚	675	1610	1600	1
D 黒板	150	3600	1200	1
E 掲示板	100	600	1200	1
F 掲示板	100	1610	500	1

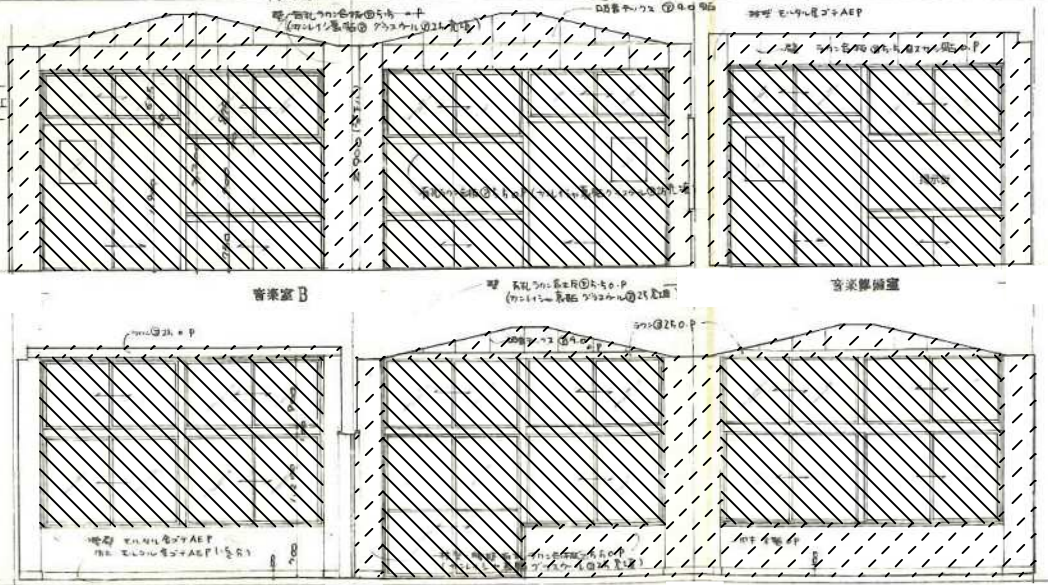
【平面詳細図凡例】

- 木組下地ふかし壁共撤去部分
- 床RC躯体共撤去部分 (カッター切離し・躯体新設部分は差筋を残す)
- 家具撤去部分 (建具撤去部分 木製額縁共 (加) 工法部分は必要な枠を残す)
- RC壁・木軸壁撤去部分

【展開図凡例】

- 木組下地ふかし壁共撤去部分
- 床RC躯体共撤去部分 (カッター切離し・躯体新設部分は差筋を残す)
- 家具撤去部分 (建具撤去部分 木製額縁共 (加) 工法部分は必要な枠を残す)
- RC壁・木軸壁撤去部分

音楽室音楽準備室展開図 1:50



1 詳細図 1:30

音楽室 音楽準備室 詳細図 1:30 1:50 1:5

